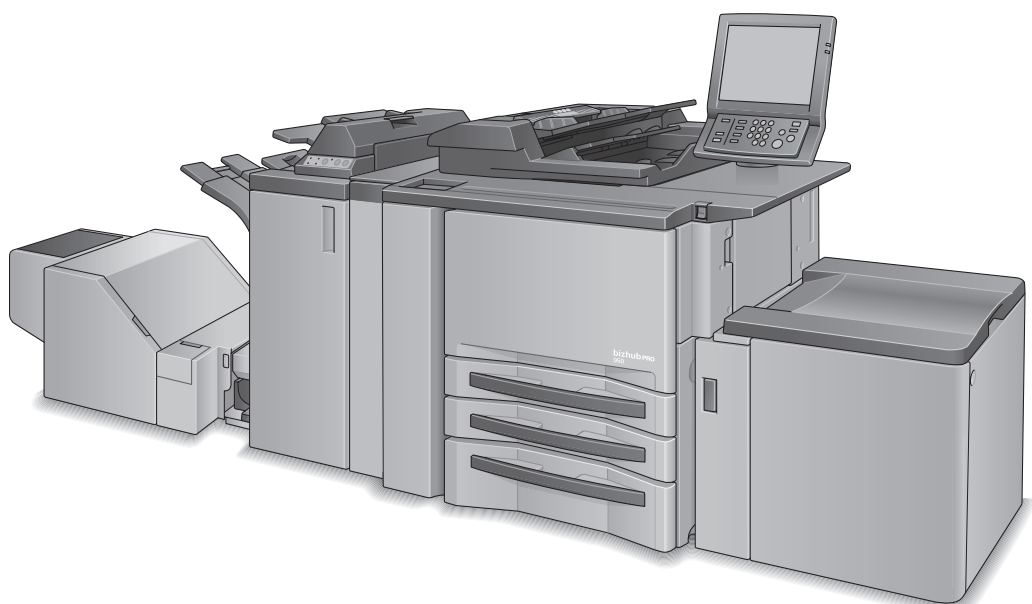


bizhub PRO 950

ユーザーズガイド POD管理者編



第1章	本書の概要
第2章	用紙設定
第3章	調整
第4章	コントローラー設定
第5章	設定メニュー画面での設定
第6章	ウィークリータイマー設定
第7章	ユーザー認証/部門管理
第8章	ネットワーク設定
第9章	セキュリティ設定
第10章	Web Utilities設定
第11章	PageScope Web Connection設定
付録	
索引	

はじめに

このたびは、bizhub PRO 950(デジタル式電子写真複写機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 950の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態できれいなコピーをおとりいただくために、このユーザーズガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社の商標です。

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社

免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

第 1 章 本書の概要

マニュアル体系について	1-2
機械状態画面での設定	1-3
〔用紙設定〕	1-3
〔不定形サイズ登録〕	1-3
〔調整〕	1-4
〔コントローラー設定〕	1-4
設定メニュー画面での設定	1-5
ブラウザ操作での設定	1-6
Web Utilities	1-6
PageScope Web Connection	1-7

第 2 章 用紙設定

用紙設定の概要	2-2
用紙設定の設定項目	2-2
用紙種類の仕様	2-3
用紙条件を登録する	2-5
用紙条件を削除する	2-9
トレイにサイズ、用紙条件を設定する	2-11
トレイに設定した用紙条件を変更する	2-17
ポストインサーターの検知サイズを変更する	2-22
不定形サイズを登録・編集 / 削除する	2-23
不定形サイズを登録・編集する	2-23
登録した不定形サイズを削除する	2-25

第 3 章 調整

調整の概要	3-2
調整項目一覧	3-2
01 フィニッシャー調整	3-5
01 中とじストッパー位置調整	3-5
02 中折りストッパー位置調整	3-6
03 断裁ストッパー位置調整	3-7
04 パンチ穴位置調整 > 01 パンチキット縦位置調整	3-8
04 パンチ穴位置調整 > 02 パンチキット横位置調整	3-10
04 パンチ穴位置調整 > 03 パンチユニット縦位置調整	3-12
04 パンチ穴位置調整 > 04 パンチユニット横位置調整	3-14
05 Z 折り位置調整 > 01 第 1 折り調整	3-16
05 Z 折り位置調整 > 02 第 2 折り調整	3-18
06 3 つ折り位置調整	3-20
07 平とじ機ステープルピッチ調整	3-22
08 中とじ 2 点ステープルピッチ調整	3-23

02 タイミング調整	3-24
01 プリンター表面先端タイミング調整	3-24
02 プリンター裏面先端タイミング調整	3-25
03 プリンターレジストループ量調整	3-26
04 プリンタープレレジストループ量調整	3-27
05 プリンター先端イレース調整	3-28
07 スキャナー / ガラス先端タイミング調整	3-29
08 スキャナー / ADF 先端タイミング調整	3-30
09 スキャナー / ADF レジストループ量調整	3-31
03 片寄り調整	3-32
01 プリンター片寄り調整	3-32
02 スキャナー / ガラス片寄り調整	3-33
03 スキャナー / ADF 片寄り調整	3-34

第4章 コントローラー設定

コントローラー設定の概要	4-2
コントローラー設定一覧	4-2
01 レポートタイプ	4-6
02 プリンター設定	4-7
03 ポート別出力設定	4-11
04 スプール設定	4-12
05 I/F タイムアウト	4-13
06 Plug-in Form Password	4-14
07 スキャン設定	4-15
08 管理者設定	4-16

第5章 設定メニュー画面での設定

設定メニュー画面での設定の概要	5-2
設定メニュー画面を表示させる	5-2
設定メニュー画面設定一覧	5-4
01 環境設定	5-14
01 言語設定	5-14
02 単位系設定	5-15
03 ブザー設定 > 01 ブザー ON/OFF、音量設定	5-16
03 ブザー設定 > 02 停止時ブザー設定	5-17
04 1SHOT メッセージ表示時間	5-18
05 デフォルト画面設定	5-19
06 オートリセット設定	5-20
07 キー応答時間	5-21
08 ユーザーパスワード変更	5-22
09 ファンクションキー設定	5-23

02 機能設定.....	5-25
01 給紙トレイ設定 >01 給紙トレイ自動選択	5-25
01 給紙トレイ設定 >02ATS 許可	5-26
01 給紙トレイ設定 >03 自動用紙種類	5-27
02 個別機能切替え	5-28
03 濃度設定 >01 原稿画質の濃度シフト	5-30
03 濃度設定 >02 登録濃度設定	5-31
03 濃度設定 >03 写真モード濃度選択	5-32
03 濃度設定 >04 画像濃度選択	5-33
04 登録倍率設定	5-34
05 タンデム設定	5-35
06 ユーザー指定紙選択	5-38
03 コピー設定	5-39
01 リセット設定 >01 初期設定	5-39
01 リセット設定 >02 リセット機能任意設定	5-41
01 リセット設定 >03 キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル	5-42
02 個別機能切替え設定	5-43
04 スキャン設定	5-45
01 デフォルト送信先設定	5-45
02 個別機能切替え設定	5-46
05 タッチパネル調整	5-48
06 管理者設定 >01 環境設定	5-49
01 パワーセーブ設定	5-49
02 日時設定	5-50
04 管理リストプリント	5-51
05 ユーザー操作禁止設定	5-54
06 エキスパート調整 >01 原稿読取り領域設定	5-56
06 エキスパート調整 >02 ADF 枠消し設定	5-57
06 エキスパート調整 >03 原稿外消去	5-58
07 サイズ設定	5-59
08 任意スタンプ設定	5-60
06 管理者設定 >02 管理者／本体登録	5-64
01 管理者登録	5-64
06 管理者設定 >05 コピー／プリンター設定	5-65
01 ジョブオフセット動作	5-65
02 連続プリント (プリンター)	5-66
03 小冊子時のページ印字位置	5-67
04 プリント前定着予備回転設定	5-68
05 自動画像回転	5-69
06 割込み停止方法	5-70
07 コピー予約の操作性	5-71
08 トレイ引抜きによる読込み禁止	5-72
09 連続プリント (コピー)	5-73
10 原稿ガラス 1 枚排紙方法	5-74
11 1 枚送り自動設定	5-75

06 管理者設定 >06 システム連携	5-76
01 ユーザー発信	5-76
06 管理者設定 >08 スキャン送信先登録	5-77
01 宛先編集／削除	5-77

第 6 章 ウィークリータイマー設定

06 管理者設定 > 06 環境設定 > 03 ウィークリータイマー設定	6-2
03 ウィークリータイマー設定 >01 ウィークリータイマー使用設定	6-3
03 ウィークリータイマー設定 >02 タイマー予約時刻設定	6-4
03 ウィークリータイマー設定 >03 動作日設定	6-6
03 ウィークリータイマー設定 >04 昼休みオフ機能設定	6-7
03 ウィークリータイマー設定 >05 時間外使用パスワード設定	6-8

第 7 章 ユーザー認証／部門管理

06 管理者設定 >03 ユーザー認証／部門管理	7-2
01 認証方式 >01 認証設定	7-3
01 認証方式 >02 部門管理設定	7-5
02 部門管理	7-7
03 ユーザー認証設定	7-10
04 未登録ユーザー／部門出力設定	7-13

第 8 章 ネットワーク設定

06 管理者設定 >04 ネットワーク設定	8-2
01 本体 NIC 設定 > 01 TCP/IP 設定	8-2
02 コントローラー NIC 設定	8-3

第 9 章 セキュリティー設定

06 管理者設定 >07 セキュリティー設定	9-2
01 管理者パスワード	9-2
02HDD 管理設定 >01 フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
02HDD 管理設定 >02 HDD 保存データ自動削除期間設定	9-5
02HDD 管理設定 >03 HDD ロックパスワード変更	9-6
02HDD 管理設定 >04 一時データ上書き削除	9-7
02 HDD 管理設定 > 05 全データ上書き削除	9-8
03 セキュリティー強化モード	9-9

第 10 章 Web Utilities 設定

Web Utilities について	10-2
部門管理データの編集	10-3
部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3
登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定	10-11
ネットワークスキャナーの設定	10-14
設定データを転送する	10-19
ボックスの編集	10-25
ジョブ履歴を表示する	10-29
ジョブ履歴機能をオン / オフする	10-29
ジョブ履歴一覧を表示する	10-31

第 11 章 PageScope Web Connection 設定

PageScope Web Connection について	11-2
システム環境	11-2
Web ブラウザの設定	11-3
アクセスのしかた	11-4
管理者モード画面の構成	11-6
〔メンテナンス〕タブ	11-7
カウンター	11-7
ROM バージョン	11-7
インポート / エクスポート	11-8
状態通知設定	11-9
本体登録	11-10
サポート情報	11-11
初期化>ネットワーク設定クリア	11-12
〔セキュリティ〕タブ	11-13
認証設定	11-13
ユーザー登録	11-13
部門登録	11-15
SSL/TLS 設定> SSL/TLS 設定	11-17
SSL/TLS 設定> 証明書無効時処理	11-22
自動ログアウト	11-23
管理者パスワード設定	11-23
〔ボックス〕タブ	11-24
〔プリンター設定〕タブ	11-25
デフォルト設定	11-25
ジョブスプール設定	11-27
インターフェース設定	11-28
ポート別出力設定	11-28

〔スキャナ〕 タブ.....	11-29
E-mail 件名.....	11-29
E-mail 本文.....	11-30
スキャン設定.....	11-32
〔ネットワーク〕 タブ	11-33
TCP/IP 設定> TCP/IP 設定	11-33
TCP/IP 設定> IP フィルタリング.....	11-34
TCP/IP 設定> IPsec 設定	11-35
時刻補正設定.....	11-37
E-mail 設定> E-mail 受信 (POP).....	11-38
E-mail 設定> E-mail 送信 (SMTP)	11-39
LDAP 設定> LDAP 設定	11-40
LDAP 設定> LDAP サーバー登録	11-41
IPP 設定	11-43
FTP 設定> FTP 送信設定.....	11-44
FTP 設定> FTP サーバー設定.....	11-45
SNMP 設定	11-45
SMB 設定> WINS 設定	11-46
SMB 設定> クライアント設定	11-47
SMB 設定> プリント設定	11-48
Web サービス設定> Web サービス設定	11-49
Web サービス設定> プリント設定	11-50
Web サービス設定> スキャン設定	11-51
Bonjour 設定.....	11-52
NetWare 設定> NetWare 設定.....	11-53
NetWare 設定> NetWare 状態.....	11-54
AppleTalk 設定	11-55
OpenAPI 設定.....	11-56
TCP Socket 設定	11-56
JSP 設定.....	11-57

付 録

文字入力のしかた	付録 -1
文字入力画面 (英記号).....	付録 -2
文字入力画面 (かな漢字).....	付録 -3
文字入力画面 (カタカナ).....	付録 -4
「デバイス」項目でインポート / エクスポートができる設定項目一覧	付録 -5
「カウンター」でエクスポートができる設定項目一覧	付録 -11
「ユーザー登録」でインポート / エクスポートができる設定項目一覧	付録 -12
フォントについて	付録 -13
用語集	付録 -21

索 引

本書の概要

第1章

本書の記載内容の概要について説明します。

マニュアル体系について	1-2
機械状態画面での設定	1-3
■ [用紙設定]	1-3
■ [不定形サイズ登録]	1-3
■ [調整]	1-4
■ [コントローラー設定]	1-4
設定メニュー画面での設定	1-5
ブラウザ操作での設定	1-6
■ Web Utilities	1-6
■ PageScope Web Connection	1-7

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー編） 印刷物 ユーザーズガイド CD

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱いの注意事項、電源の入れ方/切り方、用紙補給のしかた、紙づまりのなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピー操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（POD管理者編）＜本書＞ 印刷物 ユーザーズガイド CD

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編） 印刷物 ユーザーズガイド CD

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（セキュリティ編） 印刷物 ユーザーズガイド CD

セキュリティ機能について記載しています。

セキュリティ強化機能の使い方、セキュリティ強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ 商標/ライセンス ユーザーズガイド CD

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

■ ユーザーズガイド（プリンター編） ユーザーズガイド CD

プリンター機能の操作について記載しています。

PCLドライバー、Adobe PSドライバー、PageScope Web Connectionのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（PostScript3 Plug-inドライバー編） ユーザーズガイド CD

プリンター機能の操作について記載しています。

Plug-inドライバーのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ クイックガイド（プリンター編） 印刷物

ユーザーズガイド（プリンター編）のインストール部分を抜粋しています。

安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編「第1章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

機械状態画面での設定

機械状態画面の下部には〔用紙設定〕、〔不定形サイズ登録〕、〔調整〕、〔コントローラ設定〕のボタンがあります。



■〔用紙設定〕

〔用紙設定〕を押すと、用紙設定画面が表示されます。



コピー画面にも〔用紙設定〕ボタンがあり、同様のトレイ設定ができます。機械状態画面の〔用紙設定〕は、その他に用紙条件の登録、削除、オプションのポストインサーターを装着している場合は、その上段、下段給紙トレイの検知サイズの変更ができます。〔閉じる〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔不定形サイズ登録〕

〔不定形サイズ登録〕を押すと、不定形サイズ登録画面が表示されます。



トレイ設定で不定形サイズを設定するとき、ここで登録した不定形サイズを呼び出すことができます。使用頻度の高い不定形サイズを登録しておくとう便利です。〔閉じる〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔調整〕

〔調整〕を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



オプションのフィニッシャーを装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。また、本体の出力および原稿スキャンの調整が可能です。
〔終了〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔コントローラー設定〕

〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定メニュー画面が表示されます。



コントローラーの設定ができます。
〔機械状態〕タブを押すと、機械状態画面にもどります。

設定メニュー画面での設定

操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押すと、設定メニュー画面が表示されます。



設定メニュー画面には、一般ユーザーが設定可能な項目と、管理者パスワードを入力しなければ設定できないようにする管理者設定項目があります。

詳しく説明します

管理者設定項目は、初期設定では一般ユーザーも設定できるようになっています。

機械管理者をお選びになり、管理者のみが管理者設定を設定できるようにすることをお勧めします。管理者パスワードの設定はサービスが行いますので、お申し出ください。

第5章では、設定メニュー画面で設定する下記以外の項目について説明します。

第6章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ウィークリータイマー設定に関する説明をします。

第7章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ユーザー認証/部門管理に関する説明をします。

第8章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ネットワーク設定に関する説明をします。

第9章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、セキュリティー設定に関する説明をします。

設定メニュー画面の〔終了〕ボタン

〔終了〕を押すと、操作パネルの【設定メニュー/カウンター】を押す前の画面にもどります。

設定メニュー画面で設定不可にできる項目

下記の項目を設定メニュー画面で設定できないようにできます。サービスにお問い合わせください。

- 設定メニュー>05タッチパネル調整
- 設定メニュー>01環境設定>05デフォルト画面設定>ジョブリスト*

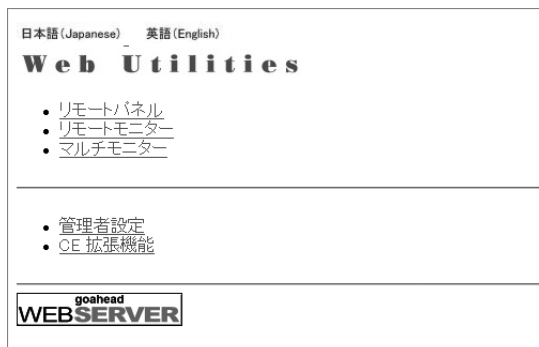
詳しく説明します

*： デフォルト画面にジョブリスト画面を設定できないようにできるのは、オプションのRC-501を装備している機械のみです。

ブラウザ操作での設定

本機がローカルネットワークでPCとつながっているとき、そのPCのブラウザソフトを使って本体およびイメージコントローラーの管理・設定ができます。

■ Web Utilities



本機がネットワークでつながっているとき、PCのブラウザを使って下記の項目の操作ができます。

1 部門管理データ編集

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定をPC上で行います。

2 リモートパネル・リモートモニター・マルチモニター設定

ブラウザを使って本機を操作したり、本機の状態を監視します。

3 ネットワークスキャナー設定

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録をPC上で行います。

4 設定データのインポート/エクスポート

ブラウザを使って本機にある設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

5 ボックス編集

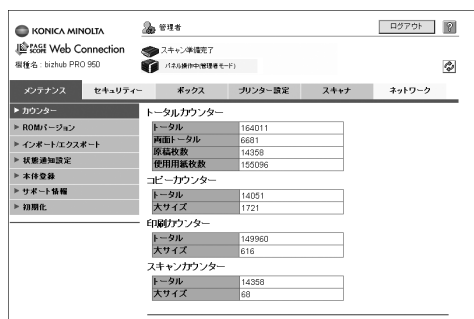
ブラウザを使って本機のHDDに作成保存されたボックスやファイルの名前を変更したり、ファイルの先頭ページのサムネイルを表示します。

6 ジョブ履歴ページ

ブラウザを使って本体の出力履歴を表示します。

詳しくは、第10章Web Utilities設定をごらんください。

■ PageScope Web Connection



PageScope Web Connection は、本機イメージコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス監理用のユーティリティプログラムです。このユーティリティは、ブラウザを通じて本機のプリンター、スキャナー、ネットワークのステータスを表示したり、デフォルトやネットワークの設定を変更することができます。

詳しくは、第11章 PageScope Web Connection 設定をごらんください。

用紙設定

第2章

各トレイに設定する用紙設定の内容および設定方法を説明します

用紙設定の概要	2-2
■ 用紙設定の設定項目	2-2
■ 用紙種類の仕様	2-3
用紙条件を登録する	2-5
用紙条件を削除する	2-9
トレイにサイズ、用紙条件を設定する	2-11
トレイに設定した用紙条件を変更する	2-17
ポストインサーターの検知サイズを変更する	2-22
不定形サイズを登録・編集/削除する	2-23
■ 不定形サイズを登録・編集する	2-23
■ 登録した不定形サイズを削除する	2-25

用紙設定の概要

本機は用紙条件として、用紙名称、サイズ、用紙種類、坪量、表裏調整、チャート調整、パンチ穴の有無、色紙を設定し、それぞれの用紙の特性に応じたプリントを行います。

機械状態画面の用紙設定

上記の用紙条件は、事前に登録できます。また、登録した用紙条件の編集と削除を行うことができます。

機械状態画面およびコピー画面の用紙設定

各トレイに設定を呼び出し、用紙条件を変更します。また、変更した用紙条件を新たに登録することができます。

ここでは、用紙設定項目の説明と機械状態画面の用紙設定手順を説明します。

■ 用紙設定の設定項目

用紙種類

上質紙、普通紙、ラフ紙、ユーザー紙、未印字挿入紙の5種類から1つを選択します。

用紙名称

全角で6文字、半角で12文字まで入力

坪量

下記の11種類から1つを選択します。

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1) 40-49g/m ² | 2) 50-61g/m ² | 3) 62-71g/m ² | 4) 72-80g/m ² |
| 5) 81-91g/m ² | 6) 92-105g/m ² | 7) 106-130g/m ² | 8) 131-161g/m ² |
| 9) 162-216g/m ² | 10) 217-244g/m ² | 11) 245-300g/m ² | |



用紙種類の仕様および用紙種類と坪量との関係についてはp. 2-3をご覧ください。

色紙

白色、透明、黄色、桃色、青色、緑色から1つを選択します。

パンチ穴

パンチ穴あり、パンチ穴なしから1つを選択します。

表裏調整

両面コピー時、表面と裏面の画像印字位置を合わせるため、オモテ、ウラに対してそれぞれタテ倍率、ヨコ倍率、上下/左右のイメージシフト量を設定します。

タテ倍率：-9～+9 (0.05%/step)

ヨコ倍率：-9～+9 (0.1%/step)

イメージシフト上下：-99～+99mm (0.1mm/step)

イメージシフト左右：-99～+99mm (0.1mm/step)



表裏調整は、用紙の種類、用紙の銘柄、保管場所の温湿度差により、収縮率が異なるため、用紙を変えるごとまたは毎日行うことをお勧めします。

裏面のヨコ倍率は、管理者設定の共通設定により調整できます。

チャート調整

チャートを出力して表裏調整を行います。

設定範囲：0.0～99.9

サイズ

下記の4つから1つを選択します。

- 1) 定形サイズ
- 2) 不定形サイズ
- 3) ワイド紙
- 4) インデックス紙（定形／不定形）



郵政はがきを用紙設定のサイズ設定に追加することができます。
サービスにお問い合わせください。

■ 用紙種類の仕様

用紙表面のなめらかさなどによって5種類に分類します。

上質紙

上質紙は、オフセット印刷で一般的に使用されている非塗工印刷用紙です。白色度が高く、様々な用途に用いられています。上質紙をセットするトレイは「上質紙」に設定します。

普通紙

普通紙は、複写機で用いられる「PPC用紙」と言われているコピー用紙で、通常再生紙を使用していないものをいいます。モノクロコピーに使用される普通紙や再生紙をセットするトレイは「普通紙」に設定します。

ラフ紙

ラフ紙は表面が凸凹していて、定着性の悪い用紙です。上質紙の中でも書籍用紙、コットンペーパー、エンボス紙などはラフ紙に含まれます。

ユーザー紙

本機で設定できる紙種以外に使用したい場合、これに設定します。サービスにお問い合わせください。

未印字挿入紙

未印字挿入紙は、用紙表面のなめらかさによる分類ではなく、本機でプリントせず通紙するだけの紙をセットするトレイに設定します。

インターシート白紙表紙／白紙挿入、OHP 白紙合紙の機能を使うときに、既に印刷されていて本機でコピーしない紙や白紙の状態で使用する紙をセットするトレイには「未印字挿入紙」と設定します。

用紙の重さ：坪量 (g/m²) と連量 (kg) の換算表
(四六判／A列本判／B列本判／菊判)

坪量 (g/m ²)	連量 (kg) (四六判)	連量 (kg) (A列本判)	連量 (kg) (B列本判)	連量 (kg) (菊判)
40.0	34.4	21.8	33.3	23.7
50.0	43.0	27.2	41.6	29.6
52.3	45.0	28.5	43.5	31.0
58.2	50.0	31.7	48.4	34.5
64.0	55.0	34.9	53.2	37.9
69.8	60.0	38.0	58.0	41.4
81.4	70.0	44.4	67.7	48.3
93.0	80.0	50.7	77.4	55.1
104.7	90.0	57.0	87.1	62.0
116.3	100.0	63.4	96.7	68.9
127.9	110.0	69.7	106.4	75.8
139.6	120.0	76.1	116.1	82.7
151.2	130.0	82.4	125.8	89.6
157.0	135.0	85.6	130.6	93.1
162.8	140.0	88.7	135.4	96.5
174.5	150.0	95.1	145.1	103.4
186.1	160.0	101.4	154.8	110.3
197.7	170.0	107.7	164.4	117.2
209.3	180.0	114.1	174.1	124.1
221.0	190.0	120.4	183.8	131.0
232.6	200.0	126.8	193.5	137.9
244.2	210.0	133.1	203.1	144.8
255.9	220.0	139.4	212.8	151.7
267.5	230.0	145.8	222.5	158.6
279.1	240.0	152.1	232.2	165.4
290.8	250.0	158.4	241.8	172.3
300.0	258.0	163.5	249.5	177.8

ペーパーの厚みを表す単位として、坪量 (g/m²) と連量 (kg) があり、製紙メーカーにより使用している単位が異なります。

坪量 (g/m²) : 1m²の用紙1枚の質量をグラムで表した単位。

連量 (kg) : 所定サイズ of 用紙 (四六判では、788mmx1,091mm) 1000枚の質量をキログラムで表した単位。

用紙条件を登録する

使用する用紙種類に応じて用紙条件を設定し登録する手順を説明します。



用紙サイズは用紙条件として登録しません。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙設定〕を押します。



2. 〔用紙条件登録〕を押します。



3. 登録するボタンを押して選択します。

登録名が表示されていない登録ボタンを選択すると、新規に登録されます。

登録名が表示されている登録ボタンを選択すると、登録済みの用紙条件を編集できます。



用紙条件設定画面が表示されます。

4. 用紙条件設定画面の〔用紙種類〕を押します。



5. 任意のボタンを押して用紙種類を選択します。



詳しく説明します

用紙種類の仕様はp. 2-3をごらんください。

6. [OK] を押します。
 選択した用紙種類を設定しない場合は、[キャンセル] を押します。
 7. 用紙条件設定画面の〔用紙名称〕を押します。
 8. 登録する用紙名称を入力します。



詳しく説明します

入力の方法は付録の「文字入力のしかた」をごらんください。

9. [OK] を押します。
新たに入力した用紙名称を設定しない場合は、[キャンセル] を押します。
10. 用紙条件設定画面の[坪量]を押します。
11. 任意のボタンを押して坪量を選択します。



19. 用紙条件設定画面の〔表裏調整〕を押します。
20. 表裏調整をします。



- (1) 表裏調整画面の〔オモテ面〕または〔ウラ面〕を押して設定するプリント面を選択します。
- (2) 調整する項目 (〔タテ倍〕、〔ヨコ倍〕、〔上下〕、〔左右〕) を押して選択します。
- (3) 〔+↔-〕を押して調整値の＋を選択します。
- (4) テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意の数値を表示させます。

詳しく説明します

- ・調整値の設定範囲に関してはp. 2-2をごらんください。
- ・用紙条件の登録時はチャート調整はできません。チャート調整は、p. 2-3をごらんください。

21. 〔OK〕を押します。
元の設定にもどしたいときは、〔キャンセル〕を押します。初期設定値にもどすときは〔リセット〕を押します。
22. 用紙条件設定画面の〔OK〕を押します。
設定した条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。用紙設定画面にもどります。
23. 用紙設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

用紙条件を削除する

登録した用紙条件を削除する手順を説明します。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙設定〕を押します。



2. 〔用紙条件削除〕を押します。



3. 用紙条件画面の〔次頁〕または〔前頁〕を押して登録されている用紙条件のリストから削除する用紙条件ボタンを押して選択します。
4. 用紙条件画面の〔OK〕を押します。削除確認のポップアップメニューが表示されます。



5. 削除するときは〔はい〕、削除しないときは〔いいえ〕を押します。



用紙条件画面にもどります。

複数の用紙条件を削除するときは、手順**3**～**5**を繰り返します。

6. 用紙条件画面の〔OK〕を押します。
用紙設定画面にもどります。
7. 用紙設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

トレイにサイズ、用紙条件を設定する

トレイごとにサイズの設定、登録した用紙条件の選択の設定をします。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙設定〕を押します。



2. 〔トレイ設定〕を押します。



3. 設定するトレイボタン（〔トレイ1〕～〔トレイ4〕または〔手差し〕）を押し、〔サイズ設定〕を押します。



サイズ設定画面が表示されます。

4. 以下、それぞれの設定方法に従ってください。

〔定形サイズ〕を選択：

- (1) 選択したトレイに定形サイズ用の紙をセットする場合は、〔定形サイズ〕を押して選択します。



- (2) 選択したトレイに下記のサイズの用紙をセットする場合は〔検知サイズ設定〕を押してサイズ設定画面を表示させます。
 (3) 希望するサイズのボタンを押して選択します。



詳しく説明します

〔5.5x8.5□〕を設定すると、A5□のかわりに5.5x8.5□を自動検知します。同様に〔8.5x11□〕を設定するとA4□のかわりに8.5x11□、〔8x13□〕／〔8.12x13.2□〕／〔8.25x13□〕／〔8.5x13□〕を設定すると8.5x14□のかわりに8x13□／8.12x13.2□／8.25x13□／8.5x13□、〔9x11□〕を設定すると、8.5x11□のかわりに9x11□を自動検知します。

- (4) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
 (5) サイズ設定画面の〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
 (6) 5項 (p. 2-16) に進みます。

〔不定形サイズ〕を選択：

- (1) 選択したトレイに不定形サイズ用の紙をセットする場合は、〔不定形サイズ〕を押して選択します。



- (2) 用紙のタテ／ヨコのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
最小100mmx140mm～最大314mmx460mmまでです。
- (3) 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
- (4) 登録済みの不定形サイズを呼び出す場合は、〔サイズ読出し〕を押して、不定形サイズ読み出し画面で表示させます。
- (5) 〔▼〕〔▲〕を押して任意の登録ボタンを表示させ、登録No. ボタンを押して反転させ、〔OK〕を押します。



- (6) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
- (7) 5項 (p. 2-16) に進みます。

詳しく説明します

不定形サイズの最小サイズを変更することができます。詳しくは、サービスにお問い合わせください。

〔ワイド紙〕を選択：

- (1) 選択したトレイにワイド紙の用紙をセットする場合は、〔ワイド紙〕を押して選択します。



- (2) 希望するワイド紙のサイズボタンを押して選択します。
 (3) 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
 (4) ワイド紙のサイズを任意に設定する場合は、〔サイズ入力〕を押してサイズ入力画面を表示させます。
 (5) 用紙のタテのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2)項で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大314mmです。



- (6) 用紙のヨコのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2)項で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大460mmです。



ワイド紙を設定するときは必ずワイド紙のサイズ入力を行ってください。初期設定のサイズは、ワイド紙の寸法になっていません。

- (7) サイズ選択画面に戻るときは、〔サイズ選択〕を押します。
 (8) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面に戻ります。
 (9) 5項 (p. 2-16) に進みます。

〔インデックス紙〕を選択：

- (1) 選択したトレイにインデックス紙の用紙をセットする場合は、〔インデックス紙〕を押して選択します。



- (2) 希望するインデックス紙の定形サイズボタンを押して選択します。
 (3) インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、〔不定形サイズ〕を押してサイズ入力画面を表示させます。



- (4) 用紙のタテ／ヨコ／インデックス幅のサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
 (5) 〔インデックス数入力〕を押してインデックス数入力画面を表示させ、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押してインデックス数を入力します。1～15まで設定できます。



- (6) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
 (7) サイズ設定画面の〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
 (8) 5項 (p. 2-16) に進みます。

- 5. トレイ設定画面の〔用紙条件選択〕を押します。**



6. 用紙条件選択画面の「次頁」または「前頁」を押して登録されている用紙条件のリストから希望する用紙条件ボタンを押して選択します。



7. 用紙条件選択画面の〔OK〕を押します。設定した条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
8. 用紙設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

トレイに設定した用紙条件を変更する

各トレイに設定したサイズの設定変更は、設定手順と同じです。p. 2-11～p. 2-16をご覧ください。

各トレイに設定した用紙条件を元に変更したい場合は下記の手順に従って行ってください。



詳しく説明します

表裏調整は、用紙の種類、用紙の銘柄、保管場所の温湿度により、収縮率が異なるため、用紙を変えるごとまたは毎日行うことをお勧めします。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙設定〕を押します。



2. 〔トレイ設定〕を押します。



3. 〔設定変更〕を押します。



設定画面が表示されます。

4. 変更したい用紙条件のボタンを押します。



5. 変更方法は用紙条件の登録と同じです。p. 2-5～p. 2-8をごらんください。



チャートを出力して表裏調整を行う場合は、**6項**をごらんください。

トレイに設定した用紙条件を変更する(つづき)

6. チャートを出力して表裏調整を行う場合は、トレイ設定画面の〔表裏調整〕を押します。下記の手順で調整値を設定します。

(1) 表裏調整画面の〔オモテ面〕または〔ウラ面〕を押して設定するプリント面を選択し、〔チャート調整〕を押します。



(2) 〔印刷モードへ〕を押します。コピー画面が表示されます。



(3) 〔スタート〕を押し、チャートを出力します。

オモテ面を選択:

スケールで各ポイント間を測定します。画面テンキーから数値を入力します。

測定ポイント: (1)~(8)

調整範囲: 0.0~300.0、1ステップ=0.1mm

ウラ面を選択:



表面と裏面のズレを測定します。

測定ポイント: (1)~(4)

調整範囲: X方向-99.9 (左) ~+99.9 (右)、Y方向-99.9 (上) ~+99.9 (下)、1ステップ=0.1mm

- (4) [調整開始] を押します。
- (5) 希望する調整結果が得られるまで(2)～(4)を繰り返します。
- (6) 調整が終了したら [閉じる] を押します。
7. それぞれの画面の [OK] を押します。設定した条件を使用しないときは [キャンセル] を押します。トレイ設定画面にもどります。
8. 変更した用紙条件を登録したい場合は、トレイ設定画面の [設定登録] を押します。登録しない場合は、**12**項に進みます。



用紙条件登録ボタン画面が表示されます。

9. 任意の登録ボタンを押して選択します。
登録名が表示されていない登録ボタンを選択すると、新規に登録されます。
登録名が表示されている登録ボタンを選択すると、登録済みの用紙条件を編集できます。



10. 任意の名称を入力します。



 詳しく説明します

既存の名称がある場合はその名称が表示されます。変更したいときは新たに入力します。入力の方法は付録の「文字入力のしかた」をごらんください。

11. [OK] を押します。元の設定にもどす場合は [キャンセル] を押します。
12. 用紙条件登録ボタン画面の [OK] を押します。登録しない場合は [キャンセル] を押します。トレイ設定画面にもどります。
13. [閉じる] を押します。用紙設定画面にもどります。
14. [閉じる] を押します。機械状態画面にもどります。

ポストインサーターの検知サイズを変更する

ポストインサーターの上段／下段トレイが検知するサイズを下記のように切替えることができます。

上段トレイ： A5□/5.5"x8.5"□、A4□/8.5"x11□、8.5"x11"□/9"x11"□

下段トレイ： A5□/5.5"x8.5"□、A4□/8.5"x11□、8.5"x11"□/9"x11"□、8.5"x14"□/
8.5"x13"□/8.25"x13"□/8.12"x13.2"□/8.5"x13"□/SPA4□

手順

1. 機械状態画面の〔用紙設定〕を押します。



- 2. [PI上段検知サイズ設定] または [PI下段検知サイズ設定] を押します。**



- 3. 任意のサイズボタンを押して検知サイズを切替えます。**



4. [OK] を押します。設定変更しない場合は [キャンセル] を押します。
5. 用紙設定画面の [閉じる] を押します。機械状態画面にもどります。

不定形サイズを登録・編集/削除する

用紙の不定形サイズを登録・編集/削除する手段を説明します。



用紙設定＞サイズ設定＞不定形サイズで不定形サイズをトレイに設定することができますが、設定した不定形サイズを登録することはできません。

■ 不定形サイズを登録・編集する

手順

1. 機械状態画面の〔不定形サイズ登録〕を押します。



不定形サイズ登録画面が表示されます。

2. 登録・編集する登録No.ボタンを押して反転させ、〔追加/編集〕を押します。
登録名が表示されている登録No.ボタンを選択すると、登録済みのサイズを編集できます。



3. タテ/ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは〔▲〕、〔▼〕を押して、任意のサイズを入力します。



このとき入力出来る範囲は、タテ 100 mm～314 mm、ヨコ 140 mm～460 mmです。(最小タテ 100 mm x ヨコ 140 mm～最大タテ 314 mm～ヨコ 460 mm)

4. 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像転写基準位置を設定します。
5. 〔設定〕を押します。
名前入力画面が表示されます。
6. 名前を入力して〔OK〕を押します。



7. 〔閉じる〕を押します。

手順

-

-

-
- この不正なサイズを削除します
よろしいですか?
- はい いいえ

- 不定形サイズを登録・編集/削除する

調整

第3章

オプションのフィニッシャーおよび本体の出力、原稿スキンの拡張性について説明します。

調整の概要.....	3-2
■ 調整項目一覧	3-2
01 フィニッシャー調整	3-5
■ 01中とじストッパー位置調整	3-5
■ 02中折りストッパー位置調整	3-6
■ 03断裁ストッパー位置調整	3-7
■ 04パンチ穴位置調整>01パンチキット縦位置調整	3-8
■ 04パンチ穴位置調整>02パンチキット横位置調整	3-10
■ 04パンチ穴位置調整>03パンチユニット縦位置調整	3-12
■ 04パンチ穴位置調整>04パンチユニット横位置調整	3-14
■ 05 Z折り位置調整>01第1折り調整	3-16
■ 05 Z折り位置調整>02第2折り調整	3-18
■ 06 3つ折り位置調整	3-20
■ 07平とじ機ステープルピッチ調整	3-22
■ 08中とじ2点ステープルピッチ調整	3-23
02 タイミング調整	3-24
■ 01プリンター表面先端タイミング調整	3-24
■ 02プリンター裏面先端タイミング調整	3-25
■ 03プリンターレジストループ量調整	3-26
■ 04プリンタープレレジストループ量調整	3-27
■ 05プリンター先端イレース調整	3-28
■ 07スキャナー /ガラス先端タイミング調整	3-29
■ 08スキャナー /ADF先端タイミング調整	3-30
■ 09スキャナー /ADFレジストループ量調整	3-31
03 片寄り調整	3-32
■ 01プリンター片寄り調整	3-32
■ 02スキャナー /ガラス片寄り調整	3-33
■ 03スキャナー /ADF片寄り調整	3-34

調整の概要

機械状態画面の〔調整〕を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



オプションのフィニッシャーを装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。
本体の出力および原稿スキャンの調整ができます。

■ 調整項目一覧

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
01 フィニッシャー調整 フィニッシャー関連の調整を行います。		
01 中とじストッパー位置調整 フィニッシャー FS-611 の中とじ時のステーブル位置を調整します。	調整対象： A3□、B4□、A4□、SRA4□、 11x17□、8.5x14□、8.5x11□、 8K□、11x17W□、A3W□、B4W□、 A4W□、8.5x11W□、不定形 設定範囲： － 128 ～ + 127 (1 step = 0.1 mm)	
02 中折りストッパー位置調整 フィニッシャー FS-611 の中とじ / 中折りの折り位置を調整します。	調整対象： A3□、B4□、A4□、SRA4□、 11x17□、8.5x14□、8.5x11□、 8K□、11x17W□、A3W□、B4W□、 A4W□、8.5x11W□、不定形 設定範囲： － 128 ～ + 127 (1 step = 0.1 mm)	
03 断裁ストッパー位置調整 トリマーユニット TU-502 の断裁ストッパーの位置を調整します。	調整対象： A3□、B4□、A4□、SRA4□、 11x17□、8.5x14□、8.5x11□、 8K□、11x17W□、A3W□、B4W□、 A4W□、8.5x11W□、不定形 設定範囲： － 128 ～ + 127 (1 step = 0.1 mm)	

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
04 パンチ穴位置調整 パンチ穴の位置を調整します。		
01 パンチキット縦位置調整 フィニッシャーFS-528/FS-611 にパンチキットPK-503 が装着されている機械のパンチ穴縦位置を調整します。		調整対象： A3□、B4□、A4□、SRA4□、 11x17□、8.5x14□、8.5x11□、 B5□、9x11□、8.5x11□、5.5x8.5□、 A4□、A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、 8.12x13.2□、8x13□、8.25x13□、 8.5x13□、8K□、16K□ 設定範囲： - 50 ~ + 50 (1 step = 0.1 mm)
02 パンチキット横位置調整 フィニッシャーFS-528/FS-611 にパンチキットPK-503 が装着されている機械のパンチ穴横位置を調整します。		調整対象： 本体給紙、PI 給紙 設定範囲： - 50 ~ + 50 (1 step = 0.1 mm)
03 パンチユニット縦位置調整 Z 折りユニット ZU-607 のパンチ穴縦位置を調整します。		調整対象： A3□、B4□、A4□、SRA4□、 11x17□、8.5x14□、8.5x11□、 B5□、9x11□、8.5x11□、5.5x8.5□、 A4□、A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、 8.12x13.2□、8x13□、8.25x13□、 8.5x13□、8K□、16K□ 設定範囲： - 50 ~ + 50 (1 step = 0.1 mm)
04 パンチユニット横位置調整 Z 折りユニット ZU-607 のパンチ穴横位置を調整します。		調整対象：本体給紙のみ 設定範囲： - 50 ~ + 50 (1 step = 0.1 mm)
05 Z 折り位置調整 Z 折りユニット ZU-607 が装着されている機械の Z 折り位置を調整します。		
01 第 1 折り調整 Z 折りの第 1 折り位置を調整します。		調整対象： A3□、B4□、11x17□、8.5x14□、 8K□ 設定範囲： - 128 ~ + 127 (1 step = 0.1 mm)
02 第 2 折り調整 Z 折りの第 2 折り位置を調整します。		調整対象： A3□、B4□、11x17□、8.5x14□、 8K□ 設定範囲： - 128 ~ + 127 (1 step = 0.1 mm)
06 3 つ折り位置調整 フィニッシャー FS-611 の 3 つ折りの第 1 折り位置を調整します。		調整対象： A4□、8.5x11□ 設定範囲： - 128 ~ + 127 (1 step = 0.1 mm)
07 平とじ機ステーブルピッチ調整 フィニッシャー FS-528/FS-611 の平とじのステーブル間隔を調整します。		設定範囲： 128 ~ 160 (1 step = 1 mm)
08 中とじ 2 点ステーブルピッチ調整 フィニッシャー FS-611 の中とじのステーブル間隔を調整します。		設定範囲： 128 ~ 160 (1 step = 1 mm)

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
02 タイミング調整 プリントおよびスキャンのタイミングを調整します。	
01 プリンター表面先端タイミング調整 オモテ面プリントの先端タイミングを調整します。	調整対象： 全般、トレイ 1 オフセット、トレイ 2 オフセット、トレイ 3 オフセット、トレイ 4 オフセット、手差しオフセット 設定範囲： - 30 ～ + 30 (1 step = 0.1 mm)
02 プリンター裏面先端タイミング調整 ウラ面プリントの先端タイミングを調整します。	調整対象： トレイ 1 オフセット、トレイ 2 オフセット、トレイ 3 オフセット、トレイ 4 オフセット、手差しオフセット 設定範囲： - 30 ～ + 30 (1 step = 0.1 mm)
03 プリンターレジストループ量調整 レジストローラー部の用紙ループ量を調整して、用紙曲がり、しわ、またはレジスト部のジャムを調整します。	調整対象：トレイ表面、トレイ表面厚紙 設定範囲：- 5 ～ + 5 (1step = 2ms) 調整対象：手差し表面、裏面 LS460、手差し表面厚紙、裏面厚紙 LS460 設定範囲：- 10 ～ + 10 (1step = 2ms) 調整対象：裏面 LS290、裏面厚紙 LS290 設定範囲：- 10 ～ + 10 (1step = 4ms)
04 プリンタープレレジスト量調整 プレレジストローラー部の用紙ループ量を調整して、用紙曲がり、しわ、またはプレレジスト部のジャムを調整します。	調整対象： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 設定範囲： - 5 ～ + 5 (1 step = 1 ms)
05 プリンター先端イレース調整 画像先端の白抜け量を調整します。	設定範囲： - 20 ～ + 40 (1 step = 0.1 mm)
07 スキャナー / ガラス先端タイミング調整 原稿ガラスから原稿をスキャンするときの先端タイミングを調整します。	設定範囲： - 40 ～ + 40 (1 step = 0.1 mm)
08 スキャナー / ADF 先端タイミング調整 ADF で原稿をスキャンするときの先端タイミングを調整します。	調整対象：表面、裏面 設定範囲： - 50 ～ + 50 (1 step = 0.1 mm)
09 スキャナー / ADF レジストループ量調整 ADF のレジストローラー部の原稿ループ量を調整して、曲がり、しわ、またはレジスト部の原稿ジャムを調整します。	調整対象：表面、裏面 設定範囲： - 10 ～ + 10 (1 step = 0.5 mm)
03 片寄り調整 画像の片寄りを調整します。	
01 プリンター片寄り調整 紙送り方向に対する画像の片寄りを調整します。	設定範囲： - 64 ～ + 63 (1 step = 0.1 mm)
02 スキャナー / ガラス片寄り調整 原稿ガラスで原稿スキャンしたとき、スキャン走査方向の画像片寄りを調整します。	設定範囲： - 30 ～ + 30 (1 step = 0.1 mm)
03 スキャナー / ADF 片寄り調整 ADF でスキャンした画像の片寄りを調整します。	調整対象： Side 1：小、Side 2：小、Side 1：大、Side 2：大 設定範囲： - 30 ～ + 30 (1 step = 0.1 mm)

01 フィニッシャー調整

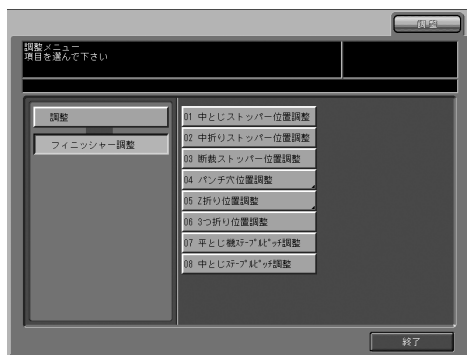
■ 01 中とじストッパー位置調整

調整機種：フィニッシャー FS-611

中とじ時のステーブル位置を調整します。

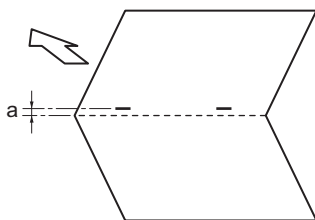


本調整は、必ず「02中折りストッパー位置調整」で折り位置を調整してから行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [01フィニッシャー調整]、[01中とじストッパー位置調整] を順に押します。
中とじストッパー位置調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の中折り位置と中とじ位置のズレaを確認します。
規格値a : $0 \pm 1 \text{ mm}$



8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
中とじストッパー位置調整画面にもどります。
9. [←→] を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-128（下へ）～+127（上へ）、1ステップ=0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。
11. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 02 中折りストッパー位置調整

調整機種：フィニッシャー FS-611
中とじ/中折りの折り位置を調整します。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 「01フィニッシャー調整」、 「02中折りストッパー位置調整」を順に押します。
中折りストッパー位置調整画面が表示されます。
3. 「次項目」、「前項目」を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. 「コピー」タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズ of 用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の端ズレaを確認します。
規格値a：0 ± 1 mm



8. 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。
中折りストッパー位置調整画面にもどります。
9. 「←→」を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。
設定範囲：－128～＋127、1ステップ＝0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。
11. 「前画面」を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 03 断裁ストッパー位置調整

調整機種：トリマーユニットTU-502

断裁量を調整します。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [01フィニッシャー調整]、[03断裁ストッパー位置調整] を順に押します。
断裁ストッパー位置調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズ of 用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の断裁量aを確認します。
規格値a：2 mm以上



8. 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。
断裁ストッパー位置調整画面にもどります。
9. [←→] を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。
設定範囲：－128（少なく）～＋127（大きく）、1ステップ＝0.1 mm



断裁量は2 mm以上にしてください。2 mmより少なくすると断裁不良を起こすことがあります。

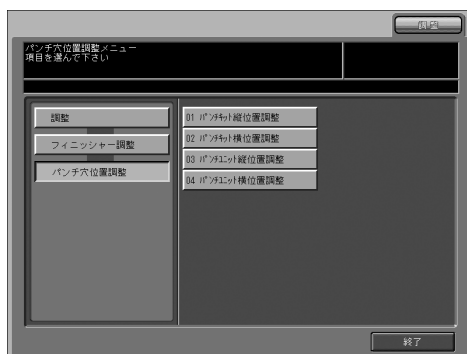
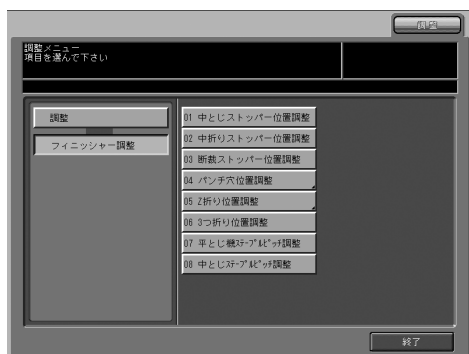
10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。
11. [前面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 04パンチ穴位置調整＞01パンチキット縦位置調整

調整機種：フィニッシャー FS-528/FS-611 に装着されているパンチキットPK-503
縦方向のパンチ穴位置を調整します。



Z折りユニットZU-607を装着している場合は、本体給紙からの調整はできません。
ポストインサーター下段に用紙をセットし、ポストインサーターのスタート/ストップボタンを押して出力します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01フィニッシャー調整〕、〔04パンチ穴位置調整〕、〔01パンチキット縦位置調整〕を順に押します。
パンチキット縦位置調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
Z折りユニットZU-607を装着している場合は、ポストインサーター下段に調整したいサイズの用紙をセットします。

6. 操作パネルの【スタート】を押します。

テストパターンが出力されます。

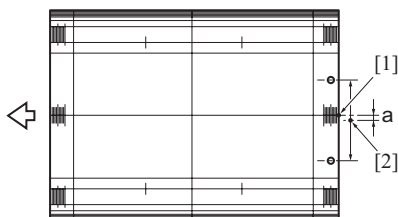
Z折りユニットZU-607を装着している場合は、ポストインサーターのスタート/ストップボタンを押します。このとき、テストパターンは出力されません。

7. 出力された用紙の縦方向のパンチ位置aを確認します。

規格値a: 0 ± 2 mm

[1]用紙の中心

[2]パンチ穴の中心

**8.** 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。

パンチキット縦位置調整画面にもどります。

9. [←→] を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。

設定範囲: -50 (手前へ) $\sim +50$ (奥へ)、1ステップ=0.1 mm

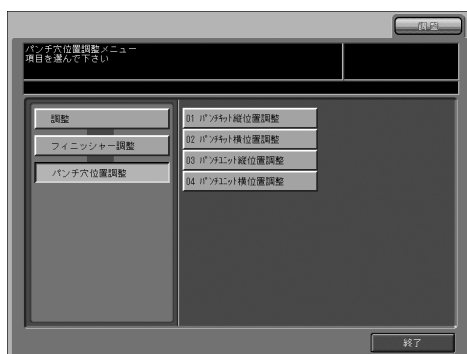
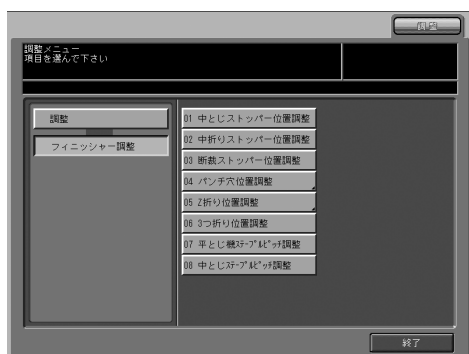
10. 規格値内になるまで、手順**3**～**9**を繰り返します。**11.** [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 04パンチ穴位置調整 > 02パンチキット横位置調整

調整機種：フィニッシャー FS-528/FS-611 に装着されているパンチキットPK-503
横方向のパンチ穴位置を調整します。



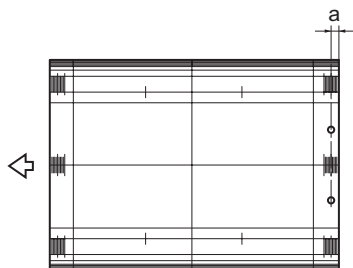
Z折りユニットZU-607を装着している場合は、本体給紙からの調整はできません。
パンチキット横位置調整画面で必ずPI給紙を選択してください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01フィニッシャー調整〕、〔04パンチ穴位置調整〕、〔02パンチキット横位置調整〕を順に押します。
パンチキット横位置調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、本体給紙またはPI給紙を選択します。
Z折りユニットZU-607を装着している場合は、必ずPI給紙を選択します。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. 本体トレイに用紙をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
ポストインサーターの場合は、下段トレイに用紙をセットし、ポストインサーターのスタート/ストップボタンを押します。
テストパターンが出力されます。

6. 出力された用紙の横方向のパンチ位置aを確認します。
規格値a：10.5 ± 5.0 mm



7. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
パンチキット横位置調整画面にもどります。
8. 〔+←→-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-50（短く）～+50（長く）、1ステップ=0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 04パンチ穴位置調整＞03パンチユニット縦位置調整

調整機種：Z折りユニットZU-607

縦方向のパンチ穴位置を調整します。



手順

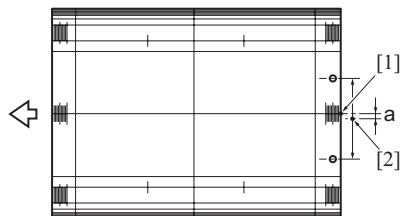
1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [01フィニッシャー調整]、[04パンチ穴位置調整]、[03パンチユニット縦位置調整]を順に押します。
パンチユニット縦位置調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目]を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー]タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。

7. 出力された用紙の縦方向のパンチ位置aを確認します。

規格値a : 0 ± 2 mm

[1] 用紙の中心

[2] パンチ穴の中心



8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。

パンチユニット縦位置調整画面にもどります。

9. [←→] を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。

設定範囲：-50（奥へ）～+50（手前へ）、1ステップ=0.1 mm

10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。

11. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 04パンチ穴位置調整 > 04パンチユニット横位置調整

調整機種：Z折りユニットZU-607

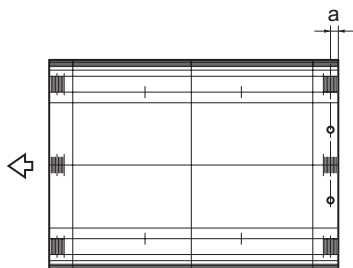
横方向のパンチ穴位置を調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. {01フィニッシャー調整}、{04パンチ穴位置調整}、{04パンチユニット横位置調整}を順に押します。
パンチユニット横位置調整画面が表示されます。
3. {コピー} タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. 任意のトレイボタンを押して選択します。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。

6. 出力された用紙の縦方向のパンチ位置aを確認します。
規格値a : 10.5 ± 5.0 mm



7. 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。
パンチユニット横位置調整画面にもどります。
8. [←→] を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。
設定範囲：－50（長く）～＋50（短く）、1ステップ＝0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

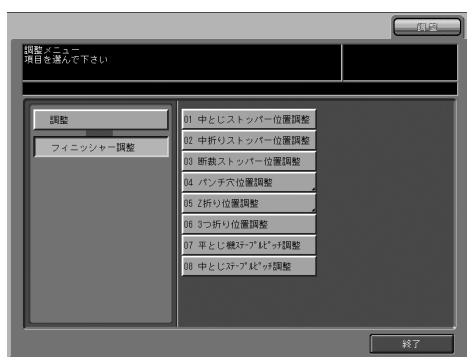
■ 05 Z折り位置調整 > 01 第1折り調整

調整機種：Z折りユニットZU-607

Z折りの第1折り位置を調整します。



Z折りの第1折り位置は用紙先端を基準とし、第2折り位置は第1折り位置を基準にします。第1折り、第2折りの両方を調整するときは、第1折りから調整してください。



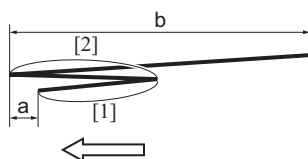
手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01フィニッシャー調整〕、〔05 Z折り位置調整〕、〔01 第1折り調整〕を順に押します。
第1折り調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。

7. 出力された用紙のaとbを確認します。規格値a : 3.5 ± 1.5 mm

規格値b : A3用紙 209 mm以下、B4用紙 181 mm以下

[1] 第1折り、[2] 第2折り)



 詳しく説明します

第2折り位置を調整したとき、規格値bの値は変わります。

8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。

第1折り調整画面にもどります。

9. 〔+←→-〕を押して調整値の＋ーを選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。

設定範囲：-128（大きく）～+127（小さく）、1ステップ=0.1 mm

10. 規格値内になるまで、手順**3～9**を繰り返します。**11.** 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

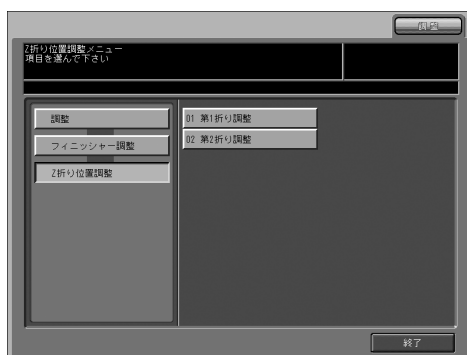
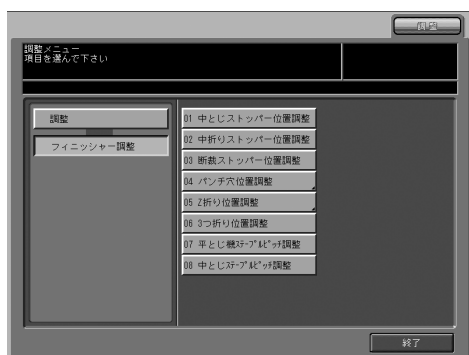
■ 05 Z折り位置調整 > 02 第2折り調整

調整機種：Z折りユニットZU-607

Z折りの第2折り位置を調整します。



Z折りの第1折り位置は用紙先端を基準とし、第2折り位置は第1折り位置を基準にします。第1折り、第2折りの両方を調整するときは、第1折りから調整してください。



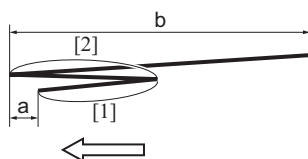
手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [01フィニッシャー調整]、[05 Z折り位置調整]、[02 第2折り調整] を順に押します。
第2折り調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。

7. 出力された用紙のaとbを確認します。規格値a : 3.5 ± 1.5 mm

規格値b : A3用紙 209 mm以下、B4用紙 181 mm以下

([1] 第1折り、[2] 第2折り)

**8.** 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。

第2折り調整画面にもどります。

9. [+←→-] を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。

設定範囲 : -128 (小さく) ~ +127 (大きく)、1ステップ = 0.1 mm

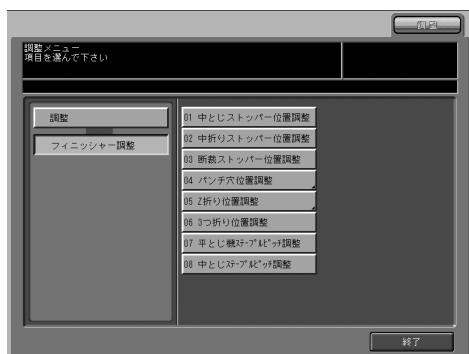
10. 規格値内になるまで、手順**3**~**9**を繰り返します。**11.** [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 06 3つ折り位置調整

調整機種：フィニッシャー FS-611
3つ折りの第1折り位置を調整します。

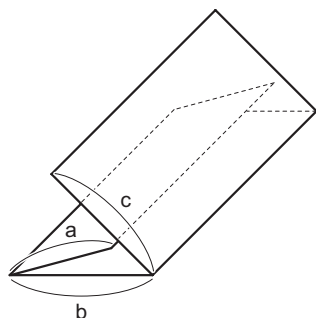
詳しく説明します

第2折り位置はサービスが調整します。調整が必要な場合は、サービスにお申し出ください。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 「01フィニッシャー調整」、 「06 3つ折り位置調整」を順に押します。
3つ折り位置調整画面が表示されます。
3. 「次項目」、「前項目」を押して、調整したい用紙サイズをメッセージ表示部に表示させます。
4. 「コピー」タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. トレイに調整したいサイズ of 用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙のaを確認します。
規格値a：A4□ 用紙93±2 mm、8.5" x 11"□ 用紙86.4±2mm以下
(bは第2折り)



8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
3つ折り位置調整画面にもどります。
9. 〔+←→-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-128（大きく）～+127（小さく）、1ステップ=0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順**3～9**を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

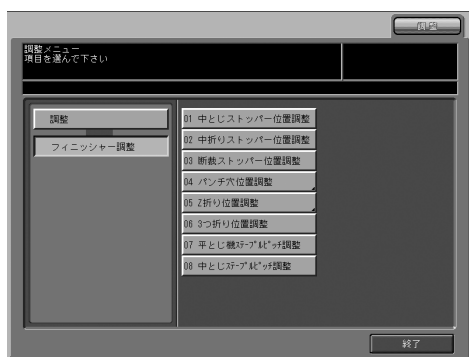
■ 07 平とじ機ステープルピッチ調整

調整機種：フィニッシャー FS-611

平とじのステープル間隔を調整します。

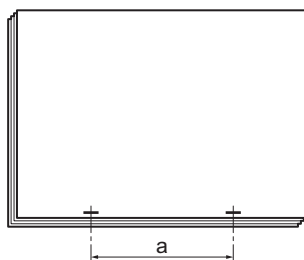


フィニッシャー FS-528 も FS-611 と同様に 2カ所ステープル打ちができますが、ステープルピッチは固定されていて調整はできません。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 「01フィニッシャー調整」、「07平とじ機ステープルピッチ調整」を順に押します。
平とじ機ステープルピッチ調整画面が表示されます。
3. 「コピー」タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. トレイに調整したいサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙のステープル間隔 a を確認します。
規格値 a : 128 ± 6 mm



7. 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。
平とじ機ステープルピッチ調整画面にもどります。
8. 画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。
設定範囲：128～160、1ステップ=1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 「前画面」を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 08中とじ2点ステーブルピッチ調整

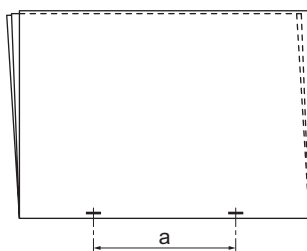
調整機種：フィニッシャー FS-611

中とじのステーブル間隔を調整します。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 「01フィニッシャー調整」、 「08中とじ2点ステーブルピッチ調整」を順に押します。
中とじ2点ステーブルピッチ調整画面が表示されます。
3. 「コピー」タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. トレイに調整したいサイズ of 用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙のステーブル間隔aを確認します。
規格値a：128 ± 6 mm



7. 規格値外の場合は、「調整」タブを押します。
中とじ2点ステーブルピッチ調整画面にもどります。
8. 画面テンキーを押して数値を入力し、「設定」を押します。
設定範囲：128～160、1ステップ=1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 「前画面」を押して調整メニュー画面にもどします。

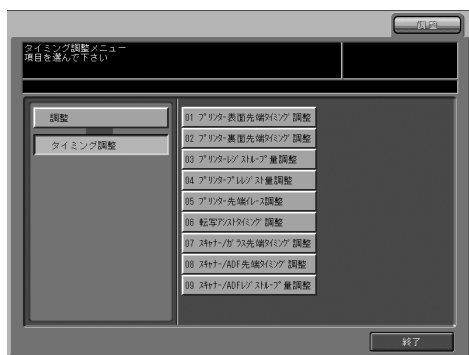
02 タイミング調整

■ 01 プリンター表面先端タイミング調整

オモテ面プリントの先端タイミングを調整します。

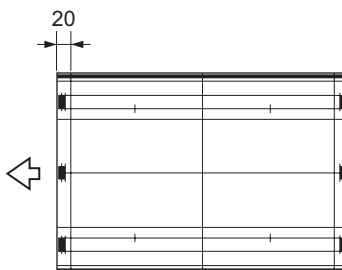


この調整は、レーザー露光タイミングを変更して行われます。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 タイミング調整〕、〔01 プリンター表面先端タイミング調整〕を順に押します。
プリンター表面先端タイミング調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい項目をメッセージ表示部に表示させます。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3□サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 先端タイミングを確認します。規格値：20 ± 0.5 mm



8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
プリンター表面先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+←→-〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-30（短く）～+30（長く）、1ステップ＝0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 02 プリンター裏面先端タイミング調整

ウラ面プリントの先端タイミングを調整します。

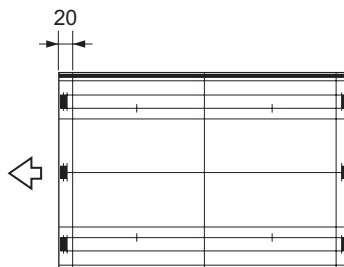


この調整は、レーザー露光タイミングを変更して行われます。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 タイミング調整〕、〔02 プリンター裏面先端タイミング調整〕を順に押します。
プリンター裏面先端タイミング調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい項目をメッセージ表示部に表示させます。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3□サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 先端タイミングを確認します。
規格値：20 ± 0.5 mm



8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
プリンター裏面先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+←→〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-30（長く）～+30（短く）、1ステップ=0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 03 プリンターレジストループ量調整

レジストローラー部の用紙ループ量を調整して、用紙曲がり、しわ、またはレジスト部のジャムを調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 タイミング調整]、[03 プリンターレジストループ量調整] を順に押します。
プリンターレジストループ量調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい項目をメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3□サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. 3項で選択した項目に応じてコピー条件を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. トラブルが解決しないときは、〔調整〕タブを押します。
プリンターレジストループ量調整画面にもどります。
8. [←→] を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
トレイ表面、トレイ表面厚紙
設定範囲：－5～＋5（1ステップ＝2ms）
手差し表面、裏面LS460、手差し表面厚紙、裏面厚紙LS460
設定範囲：－10～＋10（1ステップ＝2ms）
裏面LS290、裏面厚紙LS290
設定範囲：－10～＋10（1ステップ＝4ms）
9. 適切にコピーができるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 04 プリンタープレレジストループ量調整

プレレジストローラー部の用紙ループ量を調整して、用紙曲がり、しわ、またはプレレジスト部のジャムを調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 タイミング調整]、[04 プリンタープレレジストループ量調整] を順に押します。
プリンタープレレジストループ量調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい項目をメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. 3項で選択したトレイにA3□サイズ of 用紙をセットし、セットしたレイボタンを押して選択します。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. トラブルが解決しないときは、〔調整〕タブを押します。
プリンタープレレジストループ量調整画面にもどります。
8. [←→] を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：－5（小さく）～＋5（大きく）、1ステップ＝2ms
9. 適切にコピーのできるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

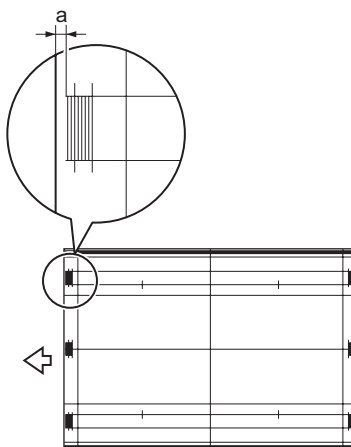
■ 05 プリンター先端イレース調整

画像先端の白抜け量を調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 タイミング調整〕、〔05 プリンター先端イレース調整〕を順に押します。
プリンター先端イレース調整画面が表示されます。
3. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. A3サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙の画像先端白抜け量 a を確認します。
規格値 a ：4 mm以内



7. 規格値外のときは、〔調整〕タブを押します。
プリンター先端イレース調整画面にもどります。
8. 〔+←→〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：－20（小さく）～＋40（大きく）、1ステップ＝0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 07 スキャナー / ガラス先端タイミング調整

原稿ガラスから原稿をスキャンするときの先端タイミングを調整します。



詳しく説明します

この調整は、露光ユニットで原稿スキャンしたときの読み込み開始位置を調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 タイミング調整〕、〔07 スキャナー / ガラス先端タイミング調整〕を順に押します。
スキャナー / ガラス先端タイミング調整画面が表示されます。
3. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. A3☐サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. テストチャートを原稿ガラスにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙の画像先端タイミングを確認します。
規格値：0 ± 1.5 mm以内
7. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
スキャナー / ガラス先端タイミング調整画面にもどります。
8. 〔+←→〕を押して調整値の＋ーを選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：－40（画像速く）～＋40（画像遅く）、1ステップ＝0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 08 スキャナー / ADF 先端タイミング調整

ADFで原稿をスキャンしたときの先端タイミングを調整します。



この調整は、ADFによる原稿スキャンしたときの読み込み開始位置を調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 タイミング調整〕、〔08 スキャナー / ADF 先端タイミング調整〕を順に押します。
スキャナー / ADF 先端タイミング調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい原稿面をメッセージ表示部に表示させます。
4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. テストチャートをADFにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の画像先端タイミングを確認します。
規格値：0 ± 2 mm以内
8. 規格値外のときは、〔調整〕タブを押します。
スキャナー / ADF 先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+ ← → -〕を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-50 (画像速く) ~ +50 (画像遅く)、1ステップ = 0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 09 スキャナー / ADFレジストループ量調整

ADFのレジストローラー部の原稿ループ量を調整して、曲がり、しわ、またはレジスト部の原稿ジャムを調整します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 タイミング調整]、[09 スキャナー / ADFレジストループ量調整] を順に押します。
スキャナー / ADFレジストループ量調整画面が表示されます。
3. [次項目]、[前項目] を押して、調整したい原稿面をメッセージ表示部に表示させます。
4. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. テストチャートをADFにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. トラブルが解決しないときは、[調整] タブを押します。
スキャナー / ADFレジストループ量調整画面にもどります。
8. [←→] を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[設定] を押します。
設定範囲：－10（小さく）～＋10（大きく）、1ステップ＝0.5 mm
9. 適切にコピーができるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

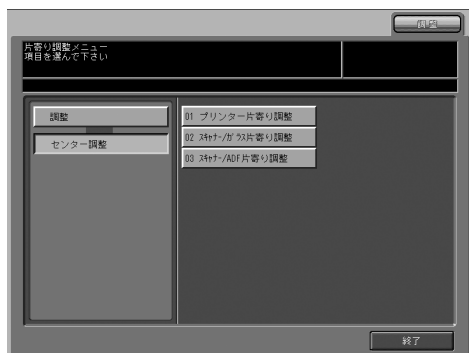
03 片寄り調整

■ 01 プリンター片寄り調整

紙送り方向に対する画像の片寄りを調整します。



この調整は、レーザー書き込みタイミングを変更して行われます。



手順

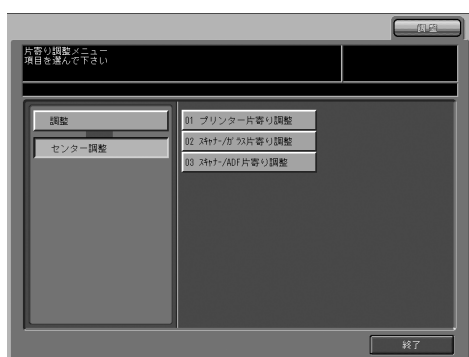
1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. [03片寄り調整]、[01プリンター片寄り調整] を順に押します。
プリンター片寄り調整画面が表示されます。
3. [コピー] タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. A3□サイズ用の紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙の送り方向の中心で2つ折りにし、プリント中心のラインとのズレを確認します。
規格値：0 ± 1.5 mm以内
7. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
プリンター片寄り調整画面にもどります。
8. [+←→-] を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-64 (画像手前へ) ~ +63 (画像奥へ)、1ステップ=0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3~8を繰り返します。
10. [前画面] を押して調整メニュー画面にもどします。

■ 02 スキャナー / ガラス片寄り調整

原稿ガラスで原稿スキャンしたとき、スキャン走査方向の画像片寄りを調整します。



本調整は、必ず「01 プリンター片寄り調整」の調整を完了してから行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔03片寄り調整〕、〔02スキャナー / ガラス片寄り調整〕を順に押します。
スキャナー / ガラス片寄り調整画面が表示されます。
3. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
4. A3サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
5. テストチャートを原稿ガラスにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
6. 出力されたスキャン走査方向の中心で2つ折りにし、左右のラインとのズレを確認します。
規格値： $0 \pm 1.5 \text{ mm}$ 以内
7. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
プリンター片寄り調整画面にもどります。
8. 〔+←→〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-30 (画像手前へ) ~ +30 (画像奥へ)、1ステップ=0.1 mm
9. 規格値内になるまで、手順3~8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

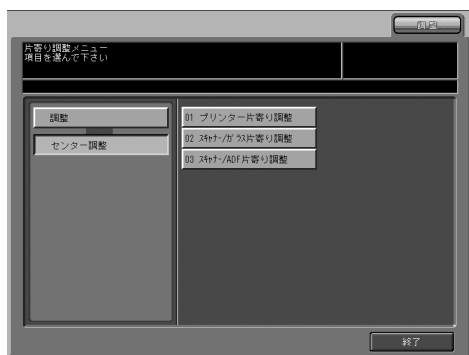
■ 03スキャナー / ADF片寄り調整

ADFで原稿スキャンしたときの画像片寄りを調整します。



詳しく説明します

本調整は、必ず「01プリンター片寄り調整」の調整を完了してから行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。
調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔03片寄り調整〕、〔03スキャナー / ADF片寄り調整〕を順に押します。
スキャナー / ADF片寄り調整画面が表示されます。
3. 〔次項目〕、〔前項目〕を押して、調整したい項目をメッセージ表示部に表示させます。



詳しく説明します

SIDE 1 は表面、SIDE 2 は裏面、小は副走査方向が300 mm未満の用紙、大は副走査方向が300 mm以上の用紙を表します。

4. 〔コピー〕タブを押します。
コピー画面が表示されます。
5. A3□サイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して選択します。
6. テストチャートをADFにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
テストパターンが出力されます。
7. 出力されたスキャン走査方向の中心で2つ折りにし、左右のラインとのズレを確認します。
規格値：0 ± 2 mm以内
8. 規格値外の場合は、〔調整〕タブを押します。
スキャナー / ADF片寄り調整画面にもどります。
9. 〔+ ← → -〕を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔設定〕を押します。
設定範囲：-30 (画像手前へ) ~ +30 (画像奥へ)、1ステップ=0.1 mm
10. 規格値内になるまで、手順3~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどします。

プリンターコントローラーに関する設定について説明します。

コントローラー設定の概要	4-2
■ コントローラー設定一覧	4-2
01 レポートタイプ	4-6
02 プリンター設定	4-7
03 ポート別出力設定	4-11
04 スプール設定	4-12
05 I/F タイムアウト	4-13
06 Plug-in Form Password	4-14
07 スキャン設定	4-15
08 管理者設定	4-16

コントローラー設定の概要

〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定画面が表示されます。



プリンターコントローラーの調整ができます。

■ コントローラー設定一覧

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
01 レポートタイプ 出力したいレポートタイプを選択します。	
設定情報リスト 設定情報リストを出力します。ファームウェアのバージョンやネットワーク設定を確認できます。	
PCL デモページ PCL のデモページを出力します。	
PS デモページ PS のデモページを出力します。	*1
PCL フォントリスト PCL のフォントリストを出力します。	
PS フォントリスト PS のフォントリストを出力します。	*1
02 プリンター設定 プリントに関する各種設定をします。	
設定番号 各番号のデフォルトの出力形態を設定します。	1 ～ 6 (<u>1</u>)
01 基本設定 ドライバーからの指示がない場合は、以下の設定が反映されます。	
01 PDL 標準で使用するページ記述言語を選択します。	<u>Auto</u> 、PCL、PS、TIFF *1
02 給紙トレイ設定 標準で使用する給紙トレイを選択します。オプション構成により設定できる内容が異なります。	自動、手差しトレイ、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4
03 排紙トレイ設定 標準で起用する排紙トレイを選択します。オプション構成により設定できる内容が異なります。	自動、メイントレイ、サブトレイ
04 片面 / 両面 両面プリントの有無を選択します。	片面、両面

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
05 とじ方向	標準で使用するとし方向を選択します。	上とし、 <u>左とし</u> 、右とし
06 ステープル	標準で使用するステープルの機能を選択します。	<u>Off</u> 、左コーナー、右コーナー、2 点
07 パンチ	標準で使用するパンチ機能を選択します。	<u>Off</u> 、2 穴、3 穴
08 紙折り / 断裁	標準で使用する Z 折り、中とし、重ね中折り、重ね 3 つ折り、断裁の機能を選択します。	<u>Off</u> 、Z 折り (A3/B4/11x17/8K)、Z 折り (8.5x14)、中とし / 断裁しない、中とし / 断裁する、重ね 3 つ折り / 内印刷、重ね 3 つ折り / 外印刷、重ね中折り / 断裁しない、重ね中折り / 断裁する
09 オフセット	仕分けソートや仕分けグループを標準で使用するかどうかを選択します。	On、 <u>Off</u>
10 出力設定	プリント面の出力方向を選択します。	<u>フェイスダウン</u> 、フェイスアップ
11 排紙順	出力されるページ順を選択します。	<u>順方向</u> 、逆方向
12 部数	標準でプリントする部数を設定します。	1 ~ 9,999
13 ソート / グループ	標準の出力方法を選択します。	<u>ソート</u> 、グループ
14 用紙サイズ	標準の用紙サイズを選択します。 インデックス紙を選択したときは、インデックス数も設定します。	A3、 <u>A4</u> 、A5、JIS-B4、ISO-B4、JIS-B5、ISO-B5、JIS-B6、ISO-B6、SRA4、11x17、9x11、8 1/2x14、8 1/2x13、8 1/4x13、8 1/8x13 1/4、8x13、8 1/2x11、5 1/2x8 1/2、A3W、A4W、A5W、JIS-B4W、ISO-B4W、JIS-B5W、ISO-B5W、11x17W、8 1/2x11W、5 1/2x8 1/2W、8 1/2x11 インデックス、A4 インデックス、郵政はがき
15 用紙方向	画像方向を選択します。	<u>縦</u> 、横
16 バナーオプション	バナー印刷をするかどうかを選択します。	<u>Off</u> 、On
17 バナーページトレイ	バナー印刷で使用する給紙トレイを選択します。オプションの構成により選択できる内容が異なります。	<u>自動</u> 、手差しトレイ、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4
18 用紙サイズ変更	指定の用紙サイズの変更を行うか設定します。	<u>Off</u> 、8.5x11/11x17 to A4/A3、A4/A3 to 8.5x11/11x17
19 集約 / リピート	標準で使用する集約とリピートの機能を選択します。	<u>Off</u> 、2 in 1、2 リピート、方向指定定型 2 リピート / 左、方向指定定型 2 リピート / 右、方向指定定型 2 リピート / 上、方向指定定型 2 リピート / 下
20 小冊子	小冊子印刷をするかどうかを選択します。	<u>Off</u> 、On
21 無線とし	無線とし印刷をするかどうかを選択します。	<u>Off</u> 、On

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
	22 画像位置 標準の画像位置の基準を選択します。	先端合わせ、中央合わせ、 <u>後端合わせ</u>
	23 ふちなし印刷 ふちなし印刷するかどうかを選択します。	<u>Off</u> 、On
02 PCL 設定 PCL 関連の設定をします。		
	01 フォント設定 PCL で使用するフォントを選択します。	90 フォント (<u>Courier</u>) ダウンロードフォント (90 - 999)
	02 シンボルセット PCL で使用するシンボルセットを選択します。	45 セット (<u>ROMAN8</u>)
	03 ライン / ページ ページのライン数を指定します。	5 - 128 (<u>64</u>)
	04 ポイント フォントのポイントを指定します。	4.00 - 999.75 (<u>12.00</u>)
	05 ピッチ ピッチ数を指定します。	0.44 - 99.99 (<u>10.00</u>)
	06 CR/LF マッピング 改行コードのマッピングを選択します。	<u>Off</u> : CR=CR、LF=LF、FF=FF、 CR: CR=CR-LF、LF=LF、FF=FF LF: CR=CR、LF=CR-LF、FF=CR-FF CRLF: CR=CR-LF、LF=CR-LF、 FF=CR-FF
03 PS 設定 PS 関連の設定をします。		
	01 PS エラー印刷 PS のラスターライズ時にエラーが発生したときのエラー情報を印字するかどうかの設定をします。	Off、 <u>On</u>
04 TIFF 設定 TIFF 関連の設定をします。		
	01 自動用紙設定 自動用紙のオン / オフを選択します。	Off、 <u>On</u>
	02 画像位置 画像位置を選択します。	左、中央
03 ポート別出力設定 デフォルトポートのデフォルト出力設定やポートごとのデフォルト出力設定番号を割り当てます。		
	Port 1 (9100) デフォルトポートのデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
	Port 2 (9112) ポート 2 のデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
	Port 3 (9113) ポート 3 のデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
	Port 4 (9114) ポート 4 のデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
	Port 5 (9115) ポート 5 のデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
	Port 6 (9116) ポート 6 のデフォルト出力設定をします。	1 ~ 6 (<u>1</u>)
04 スプール設定 ジョブの HDD へのスプール動作を選択します。		自動、許可、禁止

設定項目と説明	設定値 (下線は初期値)
05 I/F タイムアウト ネットワークタイムアウトと USB タイムアウトの時間を設定します。	
ネットワーク ネットワーク接続のタイムアウトの時間を設定します。	10 - 3,600 (<u>60</u>)
USB USB 接続のタイムアウトの時間を設定します。	10 - 1,000 (<u>60</u>)
06 Plug-in Form Password プラグインドライバーの SOFHA ドライバーのフォーム用パスワードを設定します。	半角英数字 64 文字以内 * ¹
07 スキャン設定 スキャン関連の設定をします。	
01 ボックス内ドキュメント削除時間 ボックスに保存したスキャンデータの保存時間を選択します。	削除しない、12 時間、 <u>1 日</u> 、2 日、3 日、7 日、30 日
02 ファイル名 スキャンデータを保存するファイル名を設定します。	S + シリアル番号 + " " " 半角英数字 11 文字以内
08 管理者設定 管理者設定に関する設定をします。	
01 メモリースイッチ スイッチ番号とそのオン/オフでメモリースイッチの項目の設定をします。	スイッチ番号 (1 - 50) Off (0) / On (1)
02 デフォルト設定 管理者設定をデフォルトにします。	スタート

*¹ PSチップインストールときのみ選択可能

01レポートタイプ

レポートタイプの出力をします。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔01. レポートタイプ〕を押します。
レポートタイプ設定画面が表示されます。
3. 出力したいレポートタイプを選択します。
4. 〔実行〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
前の画面に戻る場合は、〔前画面〕を押します。
操作パネルのデータランプが点滅し、出力されます。
5. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

02プリンター設定

プリンター設定は出力形態を設定します。出力形態は最大6種類設定できます。設定番号（1～6）を設定し、それに下記の4つのプリンター設定を登録します。

- 01 基本設定：プリンターに関する基本的な設定をします。
- 02 PCL設定：PCL関連の設定をします。
- 03 PS設定：PSエラーページ印刷に関する設定をします。
- 04 TIFF設定：TIFFの設定をします。

手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。



コントローラー設定メニュー画面が表示されます。

2. 〔02.プリンター設定〕を押して、プリンター設定画面を表示させます。
3. 設定番号を設定します。



- (1) プリンター設定画面の右側にあるテンキーで、番号を入力します。
設定範囲は1～6までです。
- (2) 〔設定〕を押して確定します。
間違って入力した場合は正しい番号を入力しなおしてください。〔設定〕を押す前に間違って入力した場合は、〔リセット〕を押し、入力しなおしてください。

4. 基本設定をします。



- (1) [01 基本設定] を押します。基本設定メニュー画面が表示されます。
- (2) 各種設定を行います。必要に応じて〔次頁〕〔前頁〕を押します。
 ドライバーからの指示がない場合は、以下の設定が反映されます。
 - 01 PDL：標準で使用するページ記述言語を設定します。
 - 02 給紙トレイ設定：標準で使用する給紙トレイを選択します。
 - 03 排紙トレイ設定：標準で使用する排紙トレイを選択します。
 - 04 片面/両面：両面プリントの有無を選択します。
 - 05 とじ方向：標準で両面印刷する場合のとじ方向を選択します。
 - 06 ステープル：標準で使用するステープル機能を選択します。
 - 07 パンチ：標準で使用するパンチ機能を選択します。
 - 08 紙折り/断裁：標準でZ折り/中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り断裁する機能を選択をします。
 - 09 オフセット：仕分けソート/仕分けグループを標準で使用するかしないかを選択します。
 - 10 出力設定：プリント面の出力方向を選択します。
 - 11 排紙順：標準で出力されるページ順を選択します。
 - 12 部数：標準でプリントする部数を設定します。
 - 13 ソート/グループ：標準の出力方法を選択します。
 - 14 用紙サイズ：用紙サイズを選択します。
 - 15 用紙方向：画像方向を選択します。
 - 16 バナーオプション：バナー印刷するかどうかを選択します。
 - 17 バナーページトレイ：バナー印刷するときの給紙トレイを選択します。
 - 18 用紙サイズ変更：用紙サイズの変更を行うかどうかを設定します。
 - 19 集約/リピート：標準で使用する集約とリピートの機能を選択します。
 - 20 小冊子：小冊子印刷するかどうかを選択します。
 - 21 無線とじ：無線とじ印刷するかどうかを選択をします。
 - 22 画像位置：標準の画像位置の基準を選択します。
 - 23 ふちなし印刷：ふちなし印刷するかどうかを設定します。
- (3) 設定が終了したら、〔前面〕を押してプリンター設定画面にもどします。

5. PCL設定をします。



- (1) [02 PCL 設定] を押します。PCL 設定メニュー画面が表示されます。
- (2) 任意のボタンを押して各種設定を行います。必要に応じて [次頁] [前頁] を押します。
 - 01 フォント設定： PCLで使用するフォントを選択します。
フォント番号を選択してフォントをインストールできます。
 - 02 シンボルセット： PCLで使用するシンボルセットを選択します。
 - 03 ラインページ： 1 ページのライン数を指定します。
 - 04 ポイント： フォントのポイントを指定します。
 - 05 ピッチ： ピッチ数を指定します。
 - 06 CR/LFマッピング： 改行コードのマッピングを選択します。
- (3) 設定が終了したら [前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。

6. PS 設定をします。



- (1) [03 PS 設定] を押します。PS 設定画面が表示されます。
- (2) [01 PS エラー印刷] を押します。
PS エラーページ印刷のオン/オフを設定します。
- (3) [OK] を押します。
キャンセルする場合、[キャンセル] を押します。
PS 設定画面に戻ります。
- (4) 設定が終了したら、[前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。

7. TIFF 設定をします。



- (1) [04 TIFF 設定] を押します。TIFF 設定メニュー画面が表示されます。
 - (2) 任意のボタンを押して設定します。
 - 01 自動用紙設定：自動用紙設定のオン/オフを設定します。
 - 02 画像位置：画像位置を設定します。
 - (3) [OK] を押します。TIFF 設定メニュー画面に戻ります。
 - (4) 設定が終了したら、[前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。
8. プリンター設定画面の [前画面] を押します。コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
9. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は [機械状態] タブを押します。機械状態画面に戻ります。

03ポート別出力設定

ポート別にプリンターデフォルト設定を割り当てます。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます
2. 〔03 ポート別出力設定〕を押して、ポート別出力設定画面を表示させます。
3. 設定したいボタンを押します。画面右側のテンキーを使って、番号を入力します。
入力範囲は1～6までです。
4. 〔設定〕を押して確定します。
間違って入力した場合は正しい番号を入力しなおしてください。〔設定〕を押す前に間違って入力した場合は、〔リセット〕を押し、入力しなおしてください。
5. 〔前画面〕を押します。コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

04スプール設定

スプールを自動にするか、許可するか、禁止するかを設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます
2. 〔04 スプール設定〕を押して、ジョブスプール設定画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押します。
4. 〔OK〕を押します。
設定をキャンセルする場合は、〔キャンセル〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
5. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

05 I/Fタイムアウト

ネットワークタイムアウトとUSBタイムアウトの時間を設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます
2. 〔05 I/Fタイムアウト〕を押して、I/Fタイムアウト設定画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押します。
4. 画面の右側にあるテンキーを使って、時間を入力し、〔設定〕を押します。
ネットワークタイムアウトの入力範囲は10～3600、USBタイムアウトの入力範囲は10～1000です。範囲以外の時間を入力して〔設定〕を押すと、最初に設定されていた時間に設定されます。
〔設定〕を押す前に間違えて入力した場合は、〔リセット〕を押して入力しなおします。
5. 〔前画面〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

06Plug-in Form Password

プラグインドライバーのSOFHAドライバーのフォーム用パスワードを設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. [06 Plug-in Form Password] を押してプラグインフォームパスワード設定画面を表示させます。
3. 現在のパスワードを入力して、[OK] を押します。
4. 新しいパスワードを入力して、[OK] を押します。
5. [前画面] を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、[機械状態] タブを押します。機械状態画面に戻ります。

07 スキャン設定

スキャンデータの保存に関する設定をします。

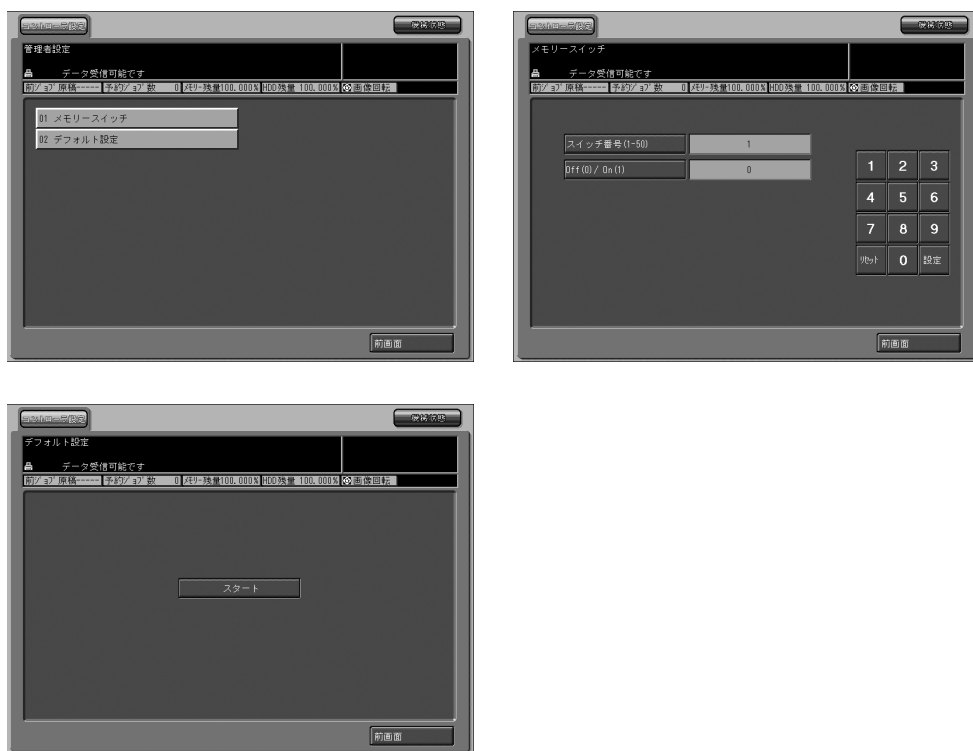


手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔07 スキャン設定〕を押して、スキャン設定メニュー画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押して各種設定を行います。
 - 01 ボックス内ドキュメント削除時間：ボックスに保存されているスキャンデータの保存時間を任意のボタンから選択します。
 - 02 ファイル名：ファイル名を入力します。(半角英数字11文字以内)
4. 〔OK〕を押します。
5. 設定が終了したら、〔前画面〕を押してコントローラー設定メニュー画面にもどします。
6. ほかの項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面にもどります。

08 管理者設定

メモリスイッチの設定およびデフォルト設定を行います。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔08 管理者設定〕を押します。管理者パスワードを入力して管理者設定メニュー画面を表示させます。
3. メモリスイッチを設定します。
 - (1) 〔01 メモリスイッチ〕を押します。
 - (2) 〔スイッチ番号 (1-50)〕を押し、テンキーを押して任意のスイッチ番号を入力します。
入力を間違えたときは、続けて正しい番号を入力してください。
 - (3) 〔Off (0) / On (1)〕を押し、〔0〕または〔1〕を入力します。
 - (4) 〔設定〕を押します。もとの設定にもどすときは、〔リセット〕を押します。
 - (5) 〔前画面〕を押します。
4. デフォルト設定をします。
 - (1) 〔デフォルト設定〕を押します。
 - (2) 〔スタート〕を押します。
 - (3) 〔前画面〕を押します。
5. 設定が終了したら、〔前画面〕を押してコントローラー設定メニュー画面にもどします。
6. ほかの項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面にもどります。

設定メニュー画面で設定する項目の設定方法を説明します。

設定メニュー画面での設定の概要 5-2

- 設定メニュー画面を表示させる 5-2
- 設定メニュー画面設定一覧 5-4

01環境設定 5-14

- 01言語設定 5-14
- 02単位系設定 5-15
- 03ブザー設定>01ブザー ON/OFF、音量設定 5-16
- 03ブザー設定>02停止時ブザー設定 5-17
- 04 1SHOTメッセージ表示時間 5-18
- 05デフォルト画面設定 5-19
- 06オートリセット設定 5-20
- 07キー応答時間 5-21
- 08ユーザーパスワード変更 5-22
- 09ファンクションキー設定 5-23

02機能設定 5-25

- 01給紙トレイ設定>01給紙トレイ自動選択 5-25
- 01給紙トレイ設定>02ATS許可 5-26
- 01給紙トレイ設定>03自動用紙種類 5-27
- 02個別機能切替え 5-28
- 03濃度設定>01原稿画質の濃度シフト 5-30
- 03濃度設定>02登録濃度設定 5-31
- 03濃度設定>03写真モード濃度選択 5-32
- 03濃度設定>04画像濃度選択 5-33
- 04登録倍率設定 5-34
- 05タンデム設定 5-35
- 06ユーザー指定紙選択 5-38

03コピー設定 5-39

- 01リセット設定>01初期設定 5-39
- 01リセット設定>02リセット機能任意設定 5-41
- 01リセット設定>03キーカウンター/コピーカード挿入イニシャル 5-42
- 02個別機能切替え設定 5-43

04スキャン設定 5-45

- 01デフォルト送信先設定 5-45
- 02個別機能切替え設定 5-46

05タッチパネル調整 5-48

06管理者設定>01環境設定 5-49

- 01パワーセーブ設定 5-49
- 02日時設定 5-50
- 04管理リストプリント 5-51
- 05ユーザー操作禁止設定 5-54
- 06エキスパート調整>01原稿読取り領域設定 5-56
- 06エキスパート調整>02 ADF枠消し設定 5-57
- 06エキスパート調整>03原稿外消去 5-58
- 07サイズ設定 5-59
- 08任意スタンプ設定 5-60

06管理者設定>02管理者/本体登録 ... 5-64

- 01管理者登録 5-64

06管理者設定>05コピー/プリンター設定 5-65

- 01ジョブオフセット動作 5-65
- 02連続プリント（プリンター） 5-66
- 03小冊子時のページ印字位置 5-67
- 04プリント前定着予備回転設定 5-68
- 05自動画像回転 5-69
- 06割込み停止方法 5-70
- 07コピー予約の操作性 5-71
- 08トレイ引抜きによる読込み禁止 5-72
- 09連続プリント（コピー） 5-73
- 10原稿ガラス1枚排紙方法 5-74
- 11 1枚送り自動設定 5-75

06管理者設定>06システム連携 5-76

- 01ユーザー発信 5-76

06管理者設定>08スキャン送信先登録 5-77

- 01宛先編集/削除 5-77

設定メニュー画面での設定の概要

操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押すと、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面のうち、01～05の項目は任意に設定できますが、「06 管理者設定」は管理者パスワードを入力しなければ設定できないようにすることができます。「06 管理者設定」の設定項目は、機械のパフォーマンスのほか認証やセキュリティーなどの機械の管理に関わる内容が含まれています。管理者を選任し、その管理者のみがこの設定を行うようにすることをお勧めします。

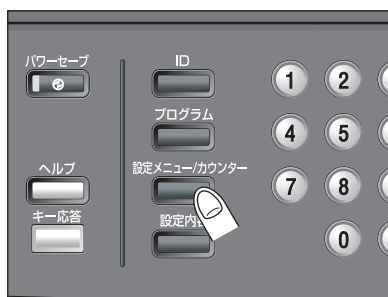


詳しく説明します

管理者パスワードの設定はサービスにお申し出ください。

■ 設定メニュー画面を表示させる

1 【設定メニュー / カウンター】を押します。



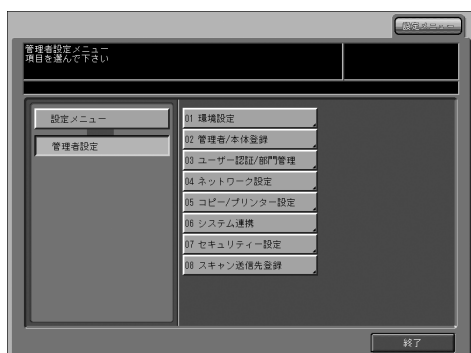
設定メニュー画面が表示されます。



01～05の各種設定ができます。
06管理者設定を行う場合は2項に進みます。

2 【06管理者設定】を押します。

管理者設定メニュー画面が表示されます。



パスワード入力画面が表示されたときは、8ケタの管理者パスワードを入力して【OK】を押します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

3 各種の管理者設定をします。

4 【終了】を押します。

操作パネルの【設定メニュー/カウンター】を押す前の画面にもどります。

■ 設定メニュー画面設定一覧

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
01 環境設定		
01 言語設定 表示している言語を切り替えます。		日本語／英語
02 単位系設定 タッチパネルに表示される用紙サイズ（長さ）単位および坪量単位を選択します。		用紙サイズ（長さ）単位 mm／インチ（小数）／インチ（分数） 坪量単位 g/m ² ／kg（A 本判）／kg（B 本判） ／kg（四六判）／kg（菊判）／lb （Bond）／lb（Book）／lb（Bristol） ／lb（Cover）／lb（Index）／lb（Tag）
03 ブザー設定		
01 ブザー ON／OFF、音量設定 タッチパネルのボタンを押したときの音の設定をします。		ON／OFF、小さく／大きく
02 停止時ブザー設定 紙なしや紙づまりで、機械が停止するときのブザー音を設定します。		OFF／3 秒／5 秒／10 秒
04 1SHOT メッセージ表示時間 タッチパネルに表示されるメッセージの表示時間を設定します。		3 秒／5 秒
05 デフォルト画面設定 電源オン時に表示される画面を設定します。		機械状態／ジョブリスト／コピー
06 オートリセット設定 いずれのボタンも押さずに一定時間経過すると、デフォルトのコピー条件に戻ります。このときの時間を設定します。		OFF／1 分／2 分／3 分／4 分／5 分／6 分／7 分／8 分／9 分
07 キー応答時間 ボタンのタッチ時間を設定します。		通常／0.5 秒／1 秒／2 秒／3 秒
08 ユーザーパスワード変更 個々のユーザーが、ユーザー認証で設定した自分のパスワードを変更するときに押します。		パスワード変更の入力
09 ファンクションキー設定 コピー画面に表示されるファンクションキーにコピー条件を登録・削除します。		5 つ
02 機能設定		
01 給紙トレイ設定		
01 給紙トレイ自動選択 トレイごとの自動トレイ選択機能の設定と選択時の優先順位を設定します。		自動選択の有無（トレイ 1～4）：OFF トレイ優先順位：トレイ 4／トレイ 3 ／トレイ 1／トレイ 2／手差し
02 ATS 許可 自動トレイ選択機能のオン／オフを設定します。		ON／OFF
03 自動用紙種類 自動トレイ選択機能で選択される紙種の各種設定をします。		用紙種類（普通紙）／坪量（62-71、 72-80）／色紙（白）／パンチ穴（なし）

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
02 個別機能切替え	
とじしろ小数点入力 とじしろ設定で、小数点以下を入力可能にするかどうかを設定します。	小数点入力可／ <u>小数点入力不可</u>
プリンター受付禁止タイマー コピー設定後に、プリントジョブを受け付けるまでの時間を設定します。	OFF／15秒／ <u>30秒</u> ／1分／1分30秒
不要インデックス紙排紙 セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち、半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかを設定します。	<u>あり</u> ／なし
インデックス紙プリント自動シフト 定形原稿の右側に印字された文字を自動的に右側に12.5mm シフトさせてインデックス部分にコピーするかどうかの設定をします。	あり／ <u>なし</u>
スキャナーアップロード完了後モード保持 スキャンデータをアップロードしたあとに、スキャン条件を保持するかどうか選択します。	保持する／ <u>保持しない</u>
ボックス保存完了後のモード保持 ボックスにデータを保存したあとに、そのときのモードを保持するかどうか選択します。	保持する／ <u>保持しない</u>
ダッシュ長（ページスタンプ） 定形スタンプのページ設定で使われるダッシュの長さを選択します。	<u>長い</u> ／短い
高力バレッジ制御 高力バレッジ制御を機能させるかどうかを選択します。	<u>なし</u> ／画質優先／速度優先
高力バレッジ制御時アイコン表示 高力バレッジ制御時に画面に高力バレッジアイコンを表示させるかどうかを選択します。	あり／ <u>なし</u>
03 濃度設定	
01 原稿画質の濃度シフト 各原稿画質モードに対する濃度のデフォルトを設定します。	0 ～ 5(文字／写真：3、薄文字：2、文字：3、写真モード：3)
02 登録濃度設定 頻繁に使用する濃度値を予め登録することができます。	2つ
03 写真モード濃度選択 写真モード選択時、自動濃度で選択される濃度レベルを設定します。	淡い／ <u>ふつう</u> ／濃い
04 画像濃度選択 画質を落とさず、濃度をうすくコピーしたいときに設定します。 最大濃度を濃くしたいときや、本の印刷や郵政はがきを使った喪中はがき印刷時に設定します。	+1 ～ -5（7段階）

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
04 登録倍率設定 頻繁に使用する倍率を予め登録することができます。		3つ
05 タンデム設定		
01 相手機常時一括読み 相手機がデータを受信したとき、マスター機から転送されるデータをすべて受信してから出力するかどうかを設定します。		<u>あり</u> ／なし
02 相手機 Wait / Proof マスター機で確認コピーの読み込みを開始したとき相手機へデータ転送を行うかどうかの設定をします。		<u>許可</u> ／禁止
03 相手機シフト値設定 マスター機で設定されているシフト値を相手機でも使用するかどうかを設定します。		<u>マスター機シフト値設定</u> ／相手機シフト値設定
04 JOB 終了後のタンデム設定 タンデム出力の終了後、ひき続きタンデム出力の設定を継続するか解除するかの設定をします。		<u>継続</u> ／解除
05 割振りリカバリー 1 台の機械に割振られた部数の出力を終えたとき、もう 1 台の機械の部数をふたたび割振り出力するかどうか選択します。		<u>あり</u> ／なし
06 ユーザー指定紙選択 * 用紙種類で〔ユーザー紙〕が設定されたときに選択するユーザー指定紙を指定します。		<u>ユーザー指定紙 1</u> ／ユーザー指定紙 2 ／ユーザー指定紙 3／ユーザー指定紙 4 ／ユーザー指定紙 5
03 コピー設定		
01 リセット設定		
01 初期設定 【リセット】を押したときに設定される初期値を設定します。		現在の設定値／ <u>出荷時の設定値</u>
02 リセット機能任意設定		
リセットボタン設定 【リセット】を押したときに表示される画面表示を設定します。 フルオートは工場出荷時の設定条件、初期設定は上記 01 初期設定で設定された設定条件です。		フルオート／ <u>初期設定</u>
03 フルオート時のフィニッシャーモード 【リセット】を押したときに設定されるフルオートの際のフィニッシャーモードを設定します。		<u>仕分けソート</u> ／仕分けグループ／ソート／グループ／ステープルソート／中 とじ／中折り／フェイスアップ／フェイスダウン
03 キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、コピー条件を初期状態にするかどうかを設定します。		<u>ON</u> ／OFF

*：〔06 ユーザー指定選択〕はタンデムが設定されていない場合、〔05 ユーザー指定選択〕と表示されます。

設定項目と説明	設定値 (下線は初期値)
02 個別機能切り替え	
中とじ／重ね中折り時小冊子 中とじ／重ね中折りを選択したとき、自動的に小冊子機能を選択させるかどうかを設定します。	<u>自動選択する</u> ／自動選択しない
原稿ガラス自動倍率 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ADF 自動倍率 ADF に原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
原稿ガラス自動サイズ選択 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ADF 自動サイズ選択 ADF に原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
APS 解除時のトレイ指定 APS(自動用紙) が解除されたときに選択するトレイを指定します。	<u>自動選択優先トレイ</u> ／トレイ1／トレイ2／トレイ3／トレイ4／トレイ5
原稿／出力のと同じ方向合わせ 原稿設定のと同じ方向で設定したと同じ方向と、出力設定のと同じ方向とを同じにするかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ステープルオートリセット 【リセット】を押したときにステープルのオフ／オンを設定します。	ON／ <u>OFF</u>
原稿セット／同じ方向 原稿設定画面で設定した原稿セット方向と出力設定で設定した両面同じ方向の設定を、ジョブごとに解除するかどうかを設定します。	解除しない／ <u>ジョブ毎に解除</u>
リセット時の原稿ガラス／ ADF 保持状態 【リセット】を押したとき、片面／両面設定を解除しないようにするかどうかを設定します。	保持／ <u>保持しない</u>
JOB 終了時任意スタンプ 任意スタンプのジョブが終了後、任意スタンプのコピー条件を選択するかしないかの選択をします。	選択する／ <u>選択しない</u>
コピー自動要約 コピー予約を自動で行うかどうかの選択をします。	<u>あり</u> ／なし

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
04 スキャン設定		
01 デフォルト送信先設定 スキャン画面で表示されるデフォルトのタブを設定します。		E-Mail / HDD / FTP / SMB
02 個別機能切替え設定		
ファイルフォーム設定 (E-Mail) Scan to E-Mail のファイルフォームのデフォルトを設定します。	一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS	
ファイルフォーム設定 (HDD) Scan to HDD のファイルフォームのデフォルトを設定します。	一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS	
ファイルフォーム設定 (FTP) Scan to FTP のファイルフォームのデフォルトを設定します。	一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS	
ファイルフォーム設定 (SMB) Scan to SMB のファイルフォームのデフォルトを設定します。	一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS	
デフォルト解像度設定 デフォルトで選択される解像度を設定します。	200dpi / 300dpi / <u>400dpi</u> / 600dpi	
画質／濃度設定 スキャン時の濃度を自動濃度で行うか任意の濃度を選択するかの設定をします。 また、原稿画質に合わせて4つのモードから任意のモードを選択します。	<u>自動濃度</u> ／マニュアル濃度（9段階） <u>文字写真</u> ／薄文字／写真／文字	
デフォルト特殊原稿 スキャン時のデフォルトの原稿設定の特殊原稿を選択します。	普通原稿／混載原稿／Z折れ原稿／1枚送り	
デフォルト読み込みサイズ スキャン時のデフォルトの原稿サイズを選択します。	自動／全面／A3□／A4□／A4□／ A5□／A5□／B4□／B5□／B5□ ／B6□／11×17□／8.5×14□ ／8.5×11□／8.5×11□／5.5× 8.5□／5.5×8.5□	
05 タッチパネル調整		
タッチパネルのボタンを押して正常に反応しないとき、タッチセンサーと画面にズレが生じていないかを調整します。		

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
06 管理者設定		
01 環境設定		
01 パワーセーブ 設定		
オートローパワー／オートシャットオフ ローパワーとシャットオフモードの時間を設定します。		オートローパワー設定：1 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ <u>15 分</u> ／ 30 分／ 60 分／ 90 分／ 120 分／ 240 分 オートシャットオフ設定：1 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 15 分／ 30 分／ 60 分／ <u>90 分</u> ／ 120 分／ 240 分 オートシャットオフはオフ
02 日時設定		
設定時刻／サマータイム／時差設定 現在の日時、サマータイム、時差を設定します。		設定時刻
03 ウィークリータイマー設定（第 6 章を参照）		
01 ウィークリータイマー使用設定 ウィークリータイマーを使用するかどうかを設定します。		使用する / 使用しない
02 タイマー予約時刻設定 機械の電源オン／オフのタイマーを設定します。		
03 動作日設定 機械の電源オン／オフする動作日を設定します。		
04 昼休みオフ機能設定 昼休みに設定された時間のみ電源をオフするように設定します。		昼休み OFF する（OFF / 再起動） / <u>連続運転</u>
05 時間外使用パスワード設定 ウィークリータイマー機能が働いている時間以外に使用するとき、パスワードが必要となります。このパスワードを設定します。		0000（4 桁）
04 管理リストプリント		
設定メモリーリスト 設定メモリーに登録したジョブをリスト出力します。		
ユーザー管理リスト ユーザーが設定した内容をリスト出力します。		
使用管理リスト ユーザーや部門の使用状況をリスト出力します。		
フォントパターンリスト 本機で利用できるフォントパターンをリスト出力します。		
監査ログレポート セキュリティモードの監査ログをレポート出力します。		

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
05 ユーザー操作禁止設定		
設定メモリーロック／削除設定 設定メモリーに登録したジョブを消去できないようにロックしたり、削除します。		
宛先登録変更 スキャン画面で送信先入力を入力を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
登録倍率変更 倍率の変更をさせるかどうかを設定します。		許可／禁止
登録オーバーレイ変更 登録オーバーレイ機能で、画像の画像名を削除したり、上書きすることを許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（E-Mail） スキャン機能でE-Mailの選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（HDD） スキャン機能で HDD の選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（FTP） スキャン機能でFTPの選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（SMB） スキャン機能で SMB の選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
初期設定任意スタンプ選択 初期設定として設定した任意スタンプの選択を許可するかどうかの設定をします。		許可／禁止
06 エキスパート調整		
01 原稿読取り領域設定 原稿外消去の設定をします。		原稿外消去する／自動サイズ／自動倍率時のみ／ <u>原稿ガラス</u> 等倍を除き消去
02 ADF 枠消し設定 ADF でコピーするときの枠消し量を設定します。		なし／ 1mm ／ 2mm ／ <u>3mm</u> ／ 4mm ／ 5mm
03 原稿外消去設定 応用機能の原稿外消去の詳細を設定します。		消去方法：斜角消去／矩形消去／ <u>自動</u> 原稿濃度：5段階／ <u>自動</u>
07 サイズ設定		
原稿サイズ検知 原稿を検知するサイズを設定します。		<u>A 系</u> ・ <u>B 系</u> ／インチ系／ A 系列のみ／フルサイズ
原稿ガラス最小サイズ設定 原稿ガラスを使ってコピーをとるときの、最小サイズを設定します。		5.5x8.5□／B6□／8.5x11□／ <u>A5□</u> ／A4□
08 任意スタンプ設定		
任意スタンプ設定の新規登録、編集、削除を行います。		

設定項目と説明	設定値 (下線は初期値)
02 管理者／本体登録	
01 管理者登録 機械管理者の名前と内線番号、E-mail アドレスを登録します。登録した内容は、設定メニュー画面のカウンター表示部に表示されます。	名前 (20 文字) / 内線番号 (8 桁) / E-mail アドレス
03 ユーザー認証／部門管理 (第 3 章を参照)	
01 認証方式 01 認証設定 認証方法や部門管理数を設定します。	ユーザー認証 (なし)、部門管理 (なし)、部門名入力 (なし)、ユーザー／部門認証連動 (なし)、パスワード入力タイピング (オートリセット時)、部門振分け数 (1000)
02 部門管理設定 各モードに対し、部門管理するかどうか、リミット到達時の動作を設定します。	コピー (あり／なし)、スキャン (あり／なし)、リミットオーバー停止設定 (即時停止／プリント後停止／警告のみ)
02 部門管理 部門管理の各種設定をします。変更、追加、削除、カウンタークリアすることができます。	部門 No. / 部門名 / パスワード / リミット
03 ユーザー認証設定 01.-01. 認証設定でユーザー認証ありにすると表示されるユーザー認証あり時、ユーザー認証の登録、変更、追加、削除等、カウンタークリア行います。	ユーザーNo./ユーザー名/パスワード/所属部門/使用可能な機能 (コピー/スキャン/保存・読出し/プリント)
04 未登録ユーザー／部門出力設定 登録されていないユーザーや部門の出力をカウントするかどうかを設定します。	ON / OFF
04 ネットワーク設定 (第 8 章を参照)	
01 本体 NIC 設定 本体 NIC の各種設定をします。	IP アドレス/サブネットマスク等
01 TCP / IP 設定 本体の TCP / IP の各種設定をします。	
02 コントローラー NIC 設定	
01 TCP / IP 設定 コントローラーの TCP / IP の各種設定をします。	
02 NetWare 設定 Net Ware の各種設定をします。	
03 HTTP 設定 HTTP の各種設定をします。	
04 FTP 設定 FTP の各種設定をします。	

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
02 コントローラー NIC 設定（つづき）		
05 SNMP 設定 SNMP の各種設定をします。		
06 SMB 設定 SMB の各種設定をします。		
07 Apple Talk 設定 Apple Talk の各種設定をします。		
08 Bonjour 設定 Bonjour に関する設定をします。		
09 E-Mail 設定 E-Mail に関する各種設定をします。		
10 TCP Socket 設定 TCP Socket に関する設定をします。		
11 CSRC 設定 CSRC に関する設定をします。		
12 Open API 設定 Open API に関する設定をします。		
13 Web サービス設定 Web サービスに関する設定をします。		
14 JSP 設定 JSP に関する設定をします。		
15 LDAP 設定 LDAP に関する設定をします。		
16 詳細設定 そのほかの詳細設定をします。		
05 コピー／プリンター設定		
01 ジョブオフセット動作 ジョブごとにオフセットさせるかどうかを設定します。		ON / <u>OFF</u>
02 連続プリント（プリンター） 連続した複数の予約プリントを、ジョブの切れ目で機械を停止させることなく出力させるかどうかを設定します。		ON / <u>OFF</u>
03 小冊子時のページ印刷位置 応用機能の小冊子選択時、ページ印字位置を設定します。		ON（外側印刷） / <u>OFF</u>
04 プリント前定着予備回転設定 紙種や坪量の変更により定着温度の切り替えが必要になることがあります。このとき、出力前に定着を回転させ、その紙種や坪量に適した温度でプリントします。		回転する（基準時間 +30 秒） / 回転する（基準時間 +10 秒） / <u>回転する（基準時間）</u> / 回転しない
05 自動画像回転 トレイに、原稿と異なるサイズの用紙しかないとき、原稿の画像を回転させ、コピー用紙に収まるようにできます。		常にする / 自動サイズ / 自動倍率時 / <u>自動サイズ / 自動倍率 / 縮小時</u>
06 割込み停止方法 コピー中に割込みボタンを押したとき、現コピーに対する割込みのタイミングを設定します。		<u>部数区切</u> / 部数途中

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
07 コピー予約の操作性 機械状態画面が表示されているときのコピー予約で、コピー予約確認画面で設定するか、原稿セットすることでコピー予約のためのコピー画面へ移るかの設定をします。		ボタン押下によるコピー予約／原稿セットによるコピー予約
08 トレイ引抜きによる読み込み停止 トレイを引き出しているときの読み込み動作を停止させるかどうかを設定します。		ON / OFF
09 連続プリント（コピー） 連続した複数の予約コピーを、ジョブの切れ目で機械を停止させることなく出力させるかどうかを設定します。		ON / OFF
10 原稿ガラス 1 枚排紙方法 原稿ガラスから 1 枚コピーするときの排紙方法を設定します。		フェイスアップ／フェイスダウン
11 1 枚送り自動設定		ON / OFF
06 システム連携		
01 ユーザー発信 CSRC で呼出すときにスタートを押します。		スタート
07 セキュリティー設定（第 9 章を参照）		
01 管理者パスワード サービスモードで設定されている管理者パスワードを変更できます。		
02 HDD 管理設定		
01 フォルダー・ボックス一覧／削除 本体の HDD に保存されているフォルダー・ボックスの詳細表示と削除をします。		一覧の参照と削除
02HDD 保存データ自動削除期間 HDD に保存されたデータを自動で削除する時間を設定します。		削除しない／12 時間／1 日間／2 日間／3 日間／7 日間／30 日間
03HDD ロックパスワード変更 HDD ロックパスワードを変更します。		
04 一時データ上書き削除 保存データの上書きをできるようにするか、および消去モードを設定します。		設定の有無：しない／する 消去モード：モード 1／モード 2
05 全データ上書き削除 消去モードを選択します。		消去モード 1 ～ 8（消去モード 4）
03 セキュリティー強化モード セキュリティ強化モードを設定します。		ON / OFF
08 スキャン送信先登録 登録済みのスキャン送信先を編集または削除します。		

01環境設定

■ 01 言語設定

本機を操作するとき、タッチパネルに表示される言語の設定をします。
最初は、日本語が設定されています。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔01 言語設定〕を順に押します。
2. 〔日本語〕または〔英語〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 02 単位系設定

画面に表示される用紙サイズの数値の単位を選択します。

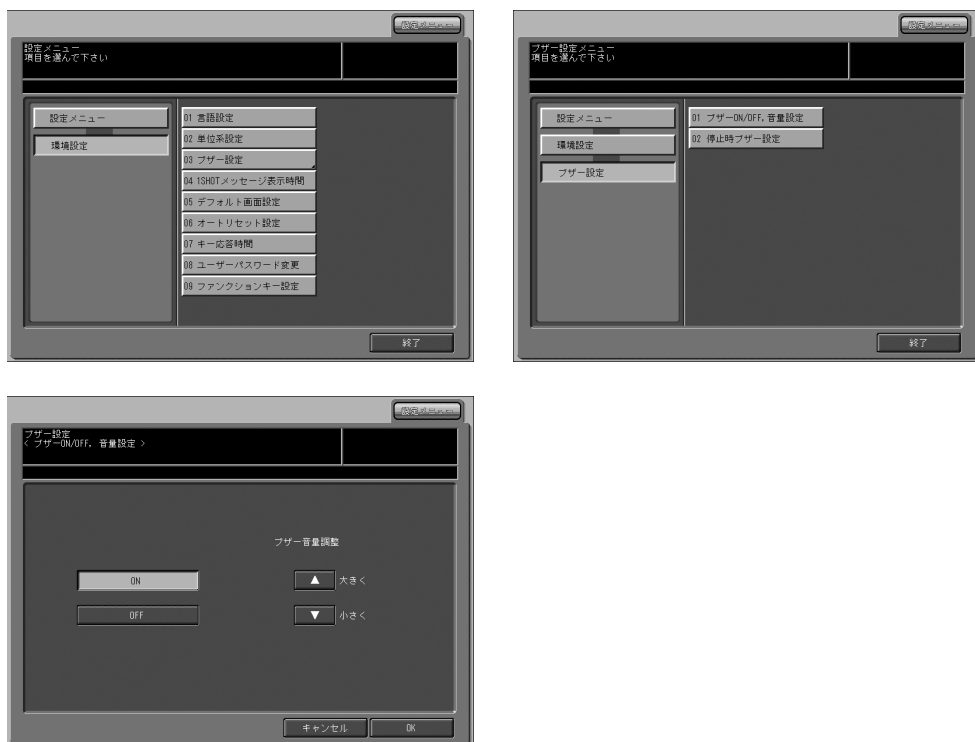


手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔02 単位系設定〕を順に押します。
2. 「用紙サイズ（長さ）単位」の〔mm〕、〔インチ（小数点）〕または〔インチ（分数）〕を押して反転させます。
3. 「坪量単位」の任意のボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 03ブザー設定>01ブザー ON/OFF、音量設定

タッチパネルを押すときに鳴るブザー（タッチ音）のオン/オフの設定、また音量の設定をします。

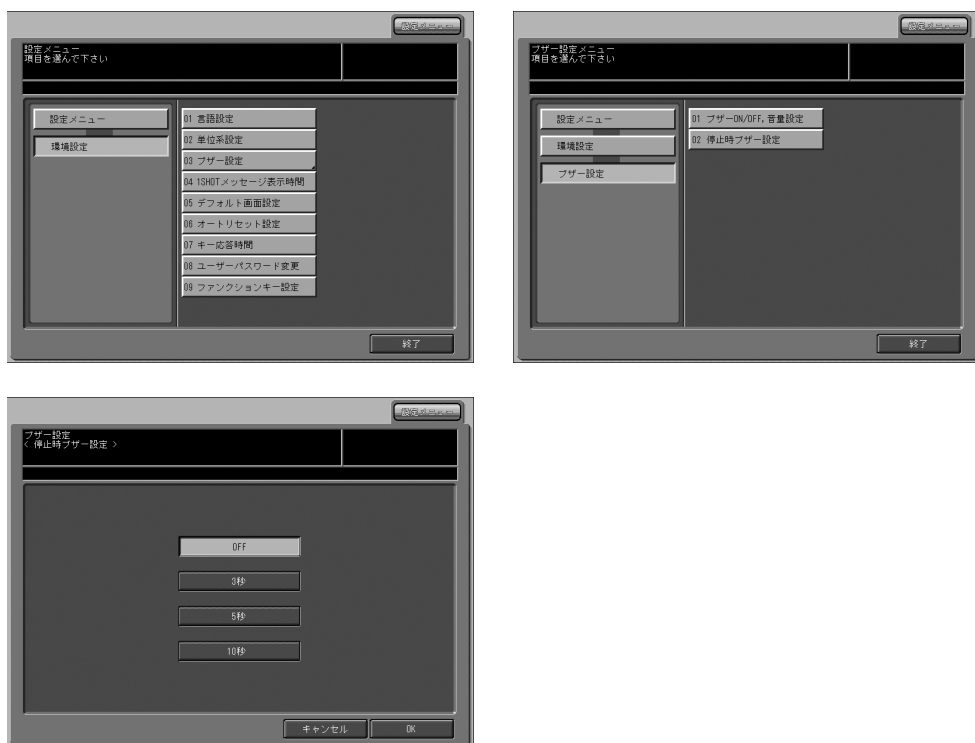


手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ブザー設定〕、〔01ブザー ON/OFF,音量設定〕を順に押します。
2. 〔ON〕を押して反転させます。ブザー音量調整の〔▼小さく〕と〔▲大きく〕を押して、希望するブザーの音量に調整します。
ブザーをオフにする場合は、〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ブザー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ブザー設定>02停止時ブザー設定

紙なしや紙づまりなどでジョブ停止時に鳴るブザーの時間の設定をします。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ブザー設定〕、〔02停止時ブザー設定〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ブザー設定メニュー画面にもどります。

■ 04 1SHOTメッセージ表示時間

タッチパネルのメッセージ表示部に瞬間的に表示される「原稿サイズはA4です」のようなメッセージの表示時間を設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔04 1SHOTメッセージ表示時間〕を順に押します。
2. 〔3秒〕または〔5秒〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 05 デフォルト画面設定

本機の電源を入れたとき、デフォルトで表示される画面の設定をします。

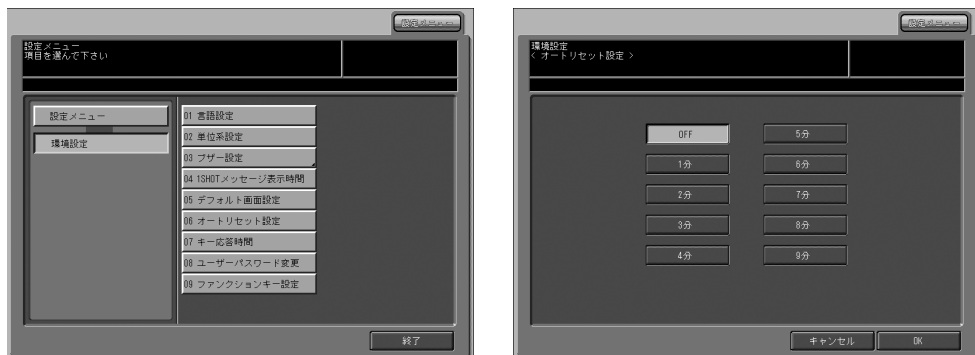


手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔05 デフォルト画面設定〕を順に押します。
2. デフォルトで使用したい画面のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 06 オートリセット設定

オートリセットは、タッチパネルや操作パネルのボタンも押さずに一定時間経過するとデフォルトとして設定しているコピー条件に自動的にもどす機能です。
ここでは、オートリセットが機能する時間を設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 オートリセット設定〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 07 キー応答時間

ボタンを押してからそれに本機が反応するまでの時間を設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔07 キー応答時間〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

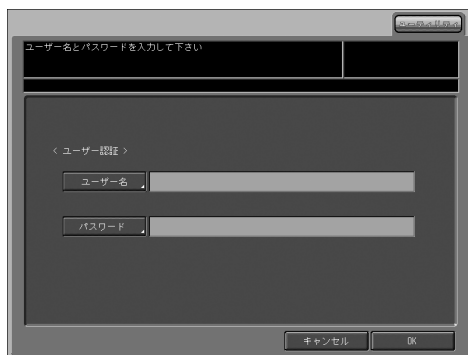
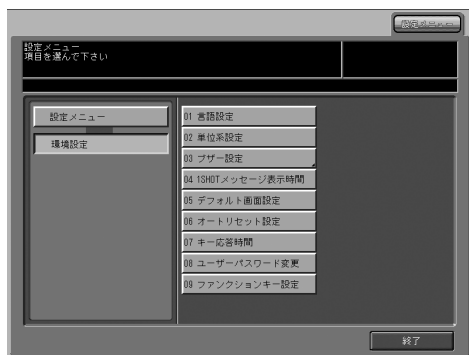
■08ユーザーパスワード変更

ユーザー認証で登録されているユーザー名のユーザーパスワードの変更をします。



詳しく説明します

ここで変更したパスワードは、ユーザー認証設定内容に反映されません。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔08ユーザーパスワード変更〕を順に押します。
2. ユーザー名と既存のパスワードを入力して、〔OK〕を押します。
3. 新しいパスワードを入力します。確認のため、確認入力の欄に再度新しいパスワードを入力します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

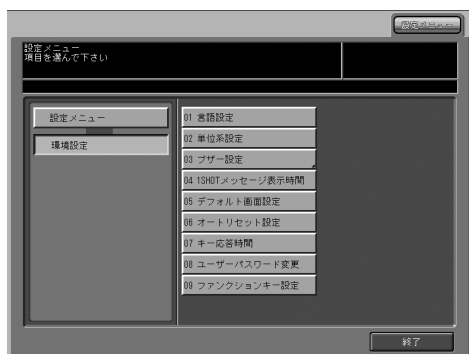
■ 09 ファンクションキー設定

あらかじめ設定メモリーに登録したコピー条件を5件までファンクションキーに登録します。

ファンクションキーに登録された設定メモリーは、コピー画面からワンタッチで呼び出すことができます。



ファンクションキーに登録するコピー条件は、あらかじめプログラムに登録する必要があります。プログラムの登録方法の詳細は、コピー編のp.13-7をごらんください。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔09ファンクションキー設定〕を順に押します
2. ファンクションキー設定画面左側に表示される登録または削除したいファンクションキー(F1～F5)を押して選択します。
3. 登録または削除します。

ファンクションキーに設定メモリーを登録する

- (1) [▼] [▲] を押して任意の設定メモリー項目ボタンを表示させます。
- (2) ファンクションキーに登録したい設定メモリー項目ボタンを押して選択します。
- (3) [<<登録] を押します。

手順 2で選択したファンクションキーにすでに設定メモリーが登録されている場合、上書き確認のポップアップ画面が表示されます。〔はい〕 を押します。

ファンクションキーの設定メモリーを削除する

(1)〔削除〕を押します。

(2) 削除確認のポップアップ画面が表示されます。

〔はい〕を押すと、設定メモリーの登録が選択されたファンクションキーから削除されます。

〔いいえ〕を押すと、削除されません。



詳しく説明します

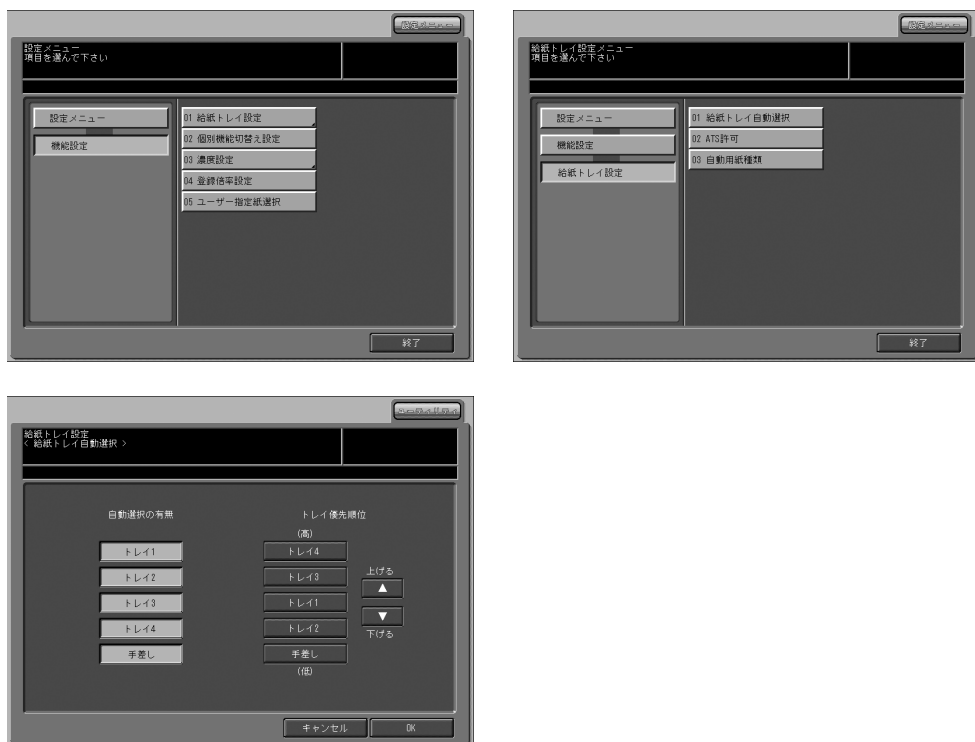
このときファンクションキーの設定メモリーを削除しても、設定メモリー自体は削除されることはありません。

4. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも環境設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>01 給紙トレイ自動選択

オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になるトレイの選択、切り換えトレイの優先順位を設定します。

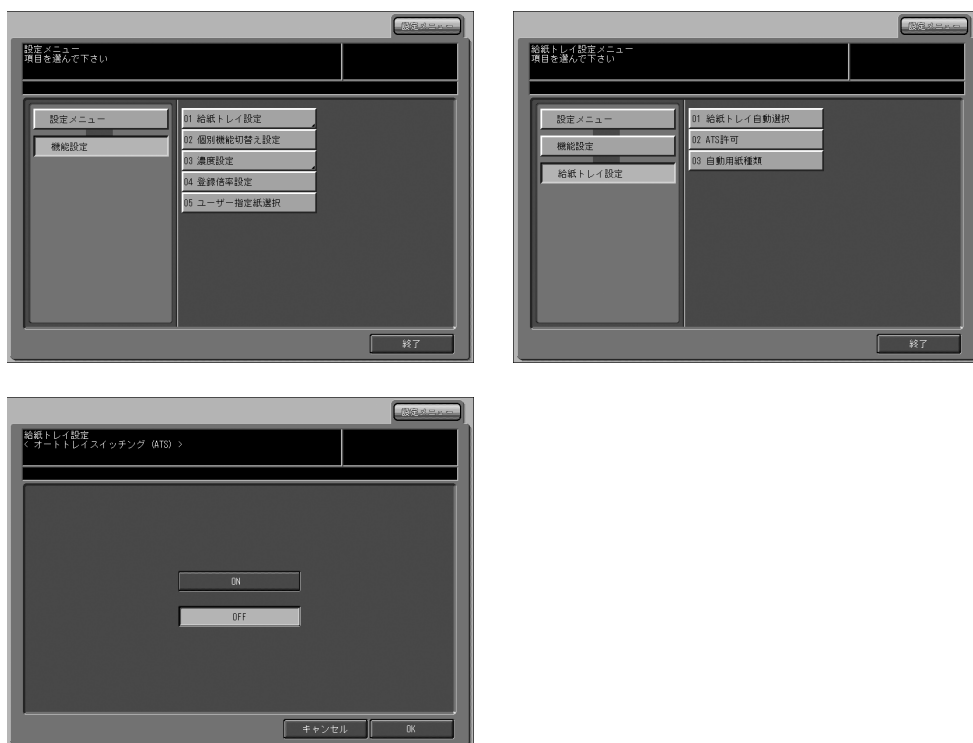


手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔01 給紙トレイ設定〕、〔01 給紙トレイ自動選択〕を順に押します。
2. 画面左側〔自動選択の有無〕下の各トレイボタンで、オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になるトレイの選択をします。
押して選択するとオートトレイスイッチングが機能したとき、切り替わる対象のトレイになります。選択しなかったトレイはオートトレイスイッチングがオンになっていても切り替わる対象のトレイになりません。
選択したトレイは、画面右側にトレイボタンとして表示されます。
3. 画面右側〔トレイ優先順位〕下の各トレイボタンで、オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になっているトレイの優先順位を設定します。
順位を変更するトレイボタンを押して選択し、〔上げる▲〕または〔下げる▼〕を押して変更します。
4. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>02ATS許可

オートトレイスイッチングのオン/オフの設定をします。

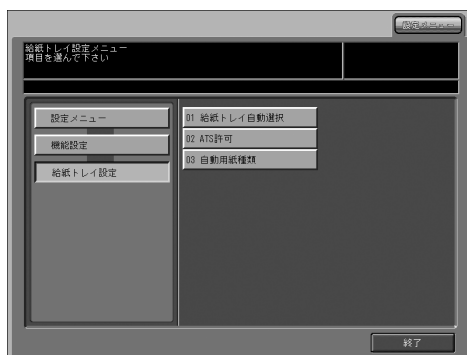


手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔01給紙トレイ設定〕、〔02ATS許可〕を順に押します。
2. オートトレイスイッチングを使用する場合は〔ON〕、使用しない場合は〔OFF〕を押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>03自動用紙種類

オートトレイスイッチングが機能したときの自動選択されたトレイの用紙条件を設定します。ここで設定された以外の用紙条件がオートトレイスイッチング機能で自動選択されたトレイに設定されているとき、機械は不一致を表示します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔01給紙トレイ設定〕、〔03自動用紙種類〕を順に押します。
2. オートトレイスイッチングで自動選択されるトレイの用紙条件を設定します。〔用紙種類〕〔坪量〕〔色紙〕〔パンチ穴〕それぞれの項目で、希望する種類・条件のボタンを押して反転させます。1つの項目につき複数のボタンを押すことができます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 02 個別機能切替え

下記の8つの設定をします。

とじしろ少数点入力

とじしろ量を設定する際に、小数点以下を入力可能にするかどうかの設定

プリンター受付禁止タイマー

コピージョブ設定（最後のボタン入力）後にプリンタジョブを受け付ける時間の設定

不要インデックス紙排紙

セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかの設定

インデックス紙プリント自動シフト

定形原稿の右側に印字されたインデックス用の文字を自動的に右側に 12.5mm シフトさせてインデックス部分にコピーするかどうかの設定

スキャナーアップロード完了後モード保持

スキャンデータをアップロードした後、そのときのモードを保持するかどうかの設定

ボックス保存完了後のモード保持

ボックスにデータを保存した後、そのときのモードを保持するかどうかの設定

ダッシュ長（ページスタンプ）

定形スタンプのページ設定で使用するダッシュの長さの設定

高力バレッジ制御の設定

濃度が高い（濃い）原稿を連続でプリントすると、プリント画像が不安定になることがあります。プリント画像を安定化させるため、自動的に複写速度を下げるか、複写速度を優先させるか、機能させないかの設定をします。

高力バレッジ制御時アイコン表示

高力バレッジ制御時に画面に高力バレッジアイコンを表示させるかどうかを選択します。



手順

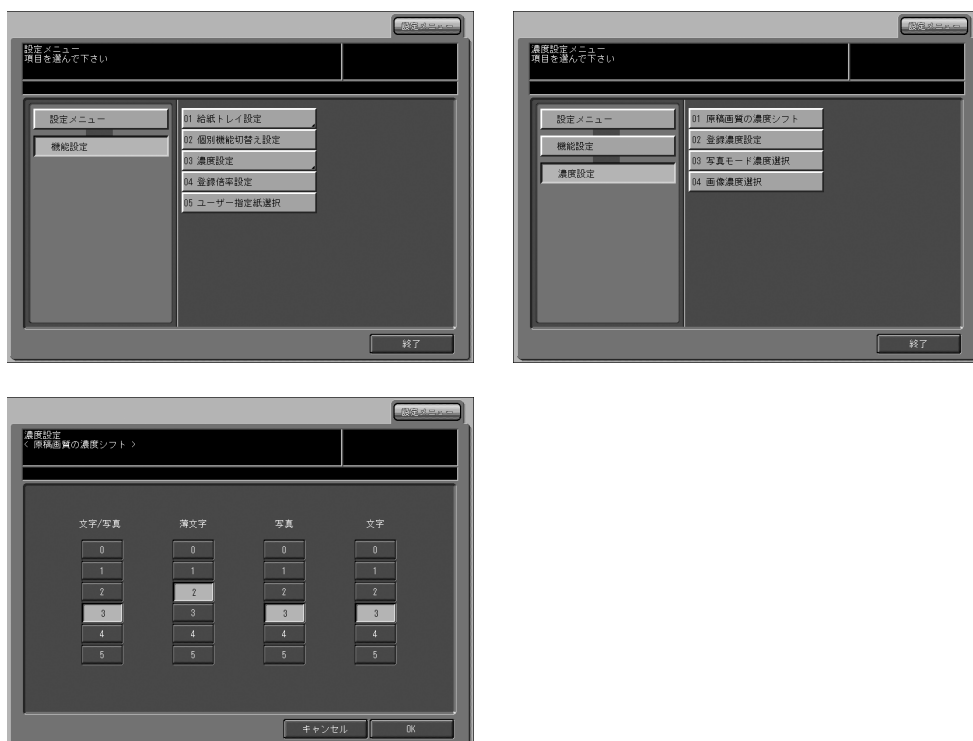
1. 設定メニュー画面の「02 機能設定」、「02 個別機能切替え」を順に押します。
2. 「とじしろ小数点入力」の「小数点入力可」または「小数点入力不可」を押して、とじしろ量を小数点以下で設定するかどうか選択します。
「プリンタ受付禁止タイマー」項目右のボタンのいずれかを押してタイマーの時間を選択します。
「不要インデックス紙排紙」の「あり」または「なし」を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「インデックス紙プリント自動シフト」の「あり」または「なし」を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「スキャナーアップロード完了後モード保持」の「保持する」または「保持しない」を押して保持するかしないかを選択します。
「ボックス保存完了後のモード保持」の「保持する」または「保持しない」を押して保持するかしないかを選択します。
「ダーク長 (ページスタンプ)」の「長い」または「短い」を押して、ダークの長さを選択します。
「高カバレッジ制御」項目右のボタンのいずれかを押して機能を選択します。
「高カバレッジ制御時アイコン表示」の「あり」または「なし」を押して、機能時に画面にアイコンを表示させるかどうかを選択します。
3. 変更内容を確定するため、「OK」を押します。
変更しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。



「不要インデックス紙排紙」は、装着されているフィニッシャーにより表示されない場合があります。

■ 03 濃度設定 > 01 原稿画質の濃度シフト

コピー画面のマニュアル濃度設定では9つの濃度レベルが選択できますが、その濃度レベルを薄い方向に3段階、濃い方向に3段階シフトすることができます。
この濃度シフトは、通常の画質設定（文字／写真モード）のほかに、3つの画質設定（薄文字、写真、文字）に対してそれぞれシフトするように設定できます。

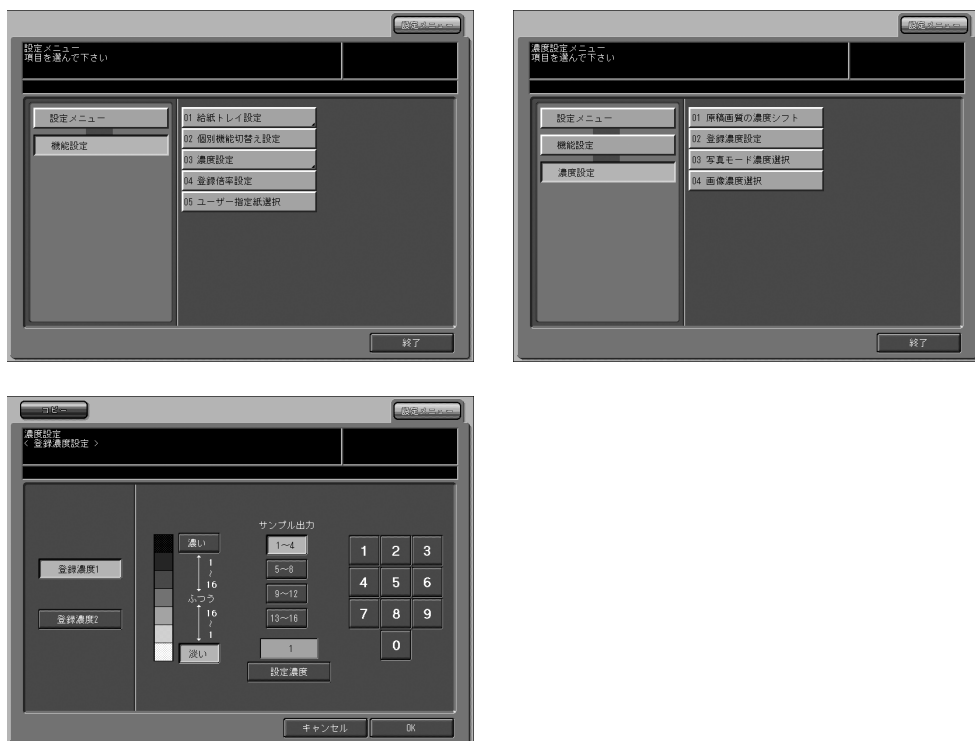


手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03濃度設定〕、〔01原稿画質の濃度シフト〕を順に押します。
2. 4つの画質設定に対してそれぞれ0～5の数字ボタンを押して、任意の濃度シフトを設定します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 03 濃度設定 > 02 登録濃度設定

マニュアル濃度設定の一番濃いレベルとふつうのレベルの間を16段階に、ふつうのレベルと一番薄いレベルの間を16段階に分割し、そのうちの2つを登録します。登録された濃度レベルはコピー画面の画質設定画面から呼び出すことができます。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03濃度設定〕、〔02登録濃度設定〕を順に押します。
2. 〔登録濃度1〕または〔登録濃度2〕を押します。〔濃い〕または〔淡い〕を押して、一番濃いレベルからふつうレベルの間の濃度、またはふつうレベルから一番淡いレベルの間の濃度を登録するかを選択します。
3. 濃度サンプルを出力します。4段階ごとに分けられたサンプルを〔1～4〕、〔5～8〕、〔9～12〕、または〔13～16〕から選択し、〔コピー〕タブを押します。原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。いくつかのサンプルを出力する場合は、この操作を繰り返します。出力したサンプルを参照し、希望する濃度の番号を画面右のテンキーで入力します。入力された番号は〔設定濃度〕上に表示されます。
設定された濃度サンプルを見たいときは、〔設定濃度〕を押し、〔コピー〕タブを押します。原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 03 濃度設定 > 03 写真モード濃度選択

写真モード選択時の自動濃度選択で選択される濃度レベルを設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔03 濃度設定〕、〔03 写真モード濃度選択〕を順に押します。
2. 〔淡い〕、〔ふつう〕、〔濃い〕の中から希望する濃度のボタンを押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 03 濃度設定 > 04 画像濃度選択

コピー画面で設定できる濃度の設定幅を変更できます。
オフセット印刷のようにシャドウ部（最高濃度）の画像濃度を濃くしたり、薄くしたいときに設定します。本などの印刷物のように文字のぎらつきを抑え、読者の目の疲労を和らげるため、薄めの文字を使用するときなどに便利です。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03濃度設定〕、〔04画像濃度選択〕を順に押します。
2. 希望する濃度のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 04 登録倍率設定

倍率画面で選択できる3種類の登録倍率の値を設定します。
最初、「登録倍率1」は4.000、「登録倍率2」は2.000、「登録倍率3」は0.500に設定されています。



手順

1. 設定メニュー画面の「02 機能設定」、「04 登録倍率設定」を順に押します。
2. 変更したい「登録倍率」(1～3)を押して選択します。画面右のテンキーを押して、テンキー右側に希望する倍率を表示させます。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

■ 05 タンデム設定

1台（マスター機）で設定したコピー条件の複数部数出力を2台の機械（マスター機と相手機）に振り分けて出力するタンデム出力に関する下記の設定をします。

01 相手機常時一括読み：あり／なし

なしを選択すると、マスター機で画像を読み込みながらマスター機／相手機両方から出力が開始されます。

ありを選択すると、マスター機は読み込みながら出力される一方、相手機はジョブ全ての画像データを受信後に出力を開始します。

02 相手機Wait／Proof：許可／禁止

禁止を選択すると、確認コピーはマスター機からのみ出力され、通常出力開始で相手機は画像データを受信し出力を開始します。

許可を選択すると、確認コピーの画像データをマスター機、相手機に同時に転送し、確認コピーも両方とも開始されます。

03 相手機シフト値設定：マスター機シフト値指定／相手機シフト値指定

マスター機シフト値指定を設定すると、マスター機で設定されているシフト値を相手機でも使用します。

相手機シフト値指定を選択すると、マスター機のシフト値とは無関係に相手機側で設定されているシフト値を使用して出力します。「相手機Wait／Proof」の設定が禁止になっている場合、マスター機のシフト値が反映された画像データが相手機に転送されるため相手機のシフト値は使用されません。

04 JOB終了後のタンデム設定：あり／なし

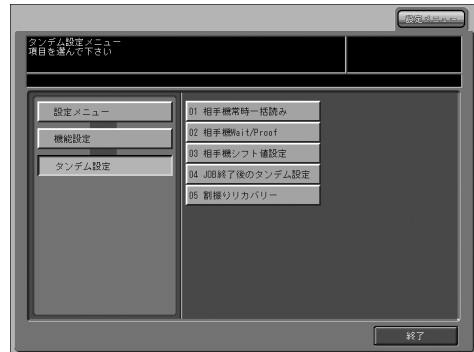
ありを選択すると、タンデム出力終了後、ひき続きタンデム出力の設定を継続します。

なしを選択すると、タンデム出力終了後、設定を解除します。

05 割振りリカバリー：あり／なし

ありを選択すると、一方の出力が早く完了したとき、出力の再割振りを行い出力したり、一方の機械にトラブルがおきたとき、トラブルのない機械が残りの出力を全部行います。

なしを選択すると、最初の割振りを出力完了まで変更なく出力します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔05 タンデム設定〕を順に押します。
2. 各項目ボタンを押して、任意の選択をします。
 - (1) 〔01 相手機常時一括読み〕を押して相手機常時一括読み画面を表示させ、〔あり〕または〔なし〕を押し、〔OK〕を押します。
 - (2) 〔02 相手機 Wait / Proof〕を押して相手機 Wait / Proof 画面を表示させ、〔許可〕または〔禁止〕を押し、〔OK〕を押します。
 - (3) 〔03 相手機シフト値設定〕を押して相手機シフト値設定画面を表示させ、〔マスター機シフト値設定〕または〔相手機シフト値設定〕を押し、〔OK〕を押します。
 - (4) 〔04 JOB 終了後のタンデム設定〕を押してJOB 終了後タンデム設定画面を表示させ、〔あり〕または〔なし〕を押し、〔OK〕を押します。
 - (5) 〔05 割振りリカバリー〕を押して割振りリカバリー画面を表示させ、〔あり〕または〔なし〕を押し、〔OK〕を押します。
3. 〔前画面〕を押します。機能設定メニュー画面にもどります。

■ 06 ユーザー指定紙選択

用紙種類で「ユーザー紙」を選択したときに登録されている5種類のうち選択されるユーザー指定紙を指定します。



詳しく説明します

登録される5種類のユーザー指定紙に関しては、サービスにお問い合わせください。



手順

1. 設定メニュー画面の「02 機能設定」、「07 ユーザー指定紙選択」を順に押します。
2. 希望するユーザー指定紙ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

03コピー設定

■ 01リセット設定>01 初期設定

機械がリセットされたときのコピー条件を任意に変更します。

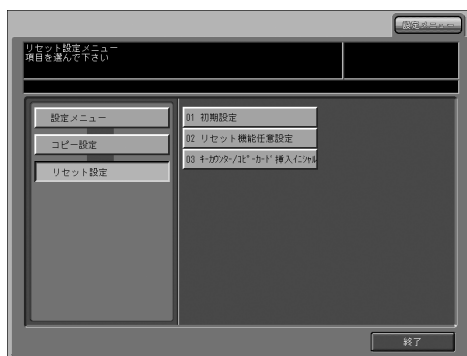
機械のリセット

- 電源をオンにしたとき
- オートリセット機能が働いたとき
- パワーセーブ機能が働いたとき
- ユーザー認証／部門管理が設定されているときにパスワード入力等でコピー可能になったとき
- キーカウンター／コピーカードを挿入したとき
- 操作パネルの【リセット】を押したとき
- コピー予約のポップアップが表示されたとき

工場出荷時に設定されている設定（フルオート）とは別に任意のコピー条件を初期設定として設定することができます。

フルオートのコピー条件

- 原稿設定：標準
- 画質設定：標準
- 自動濃度：オン
- 倍率設定：1.000
- 出力設定：〔02リセット機能任意設定〕で設定
- 片面/両面設定：片面→片面
- 自動用紙：オン
- 自動画像回転：オン
- ADF：オン





手順

1. コピー画面で任意のコピー条件を設定します。
初期設定でADFをオフにしたいときは、ADFを開きます。
2. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔01初期設定〕を順に押します。
3. 〔現在の設定値〕を押して反転させます。1項で設定したコピー条件が初期設定となります。
初期設定を工場出荷時の設定にしたいときは〔出荷時の設定値〕を押して反転させます。

詳しく説明します

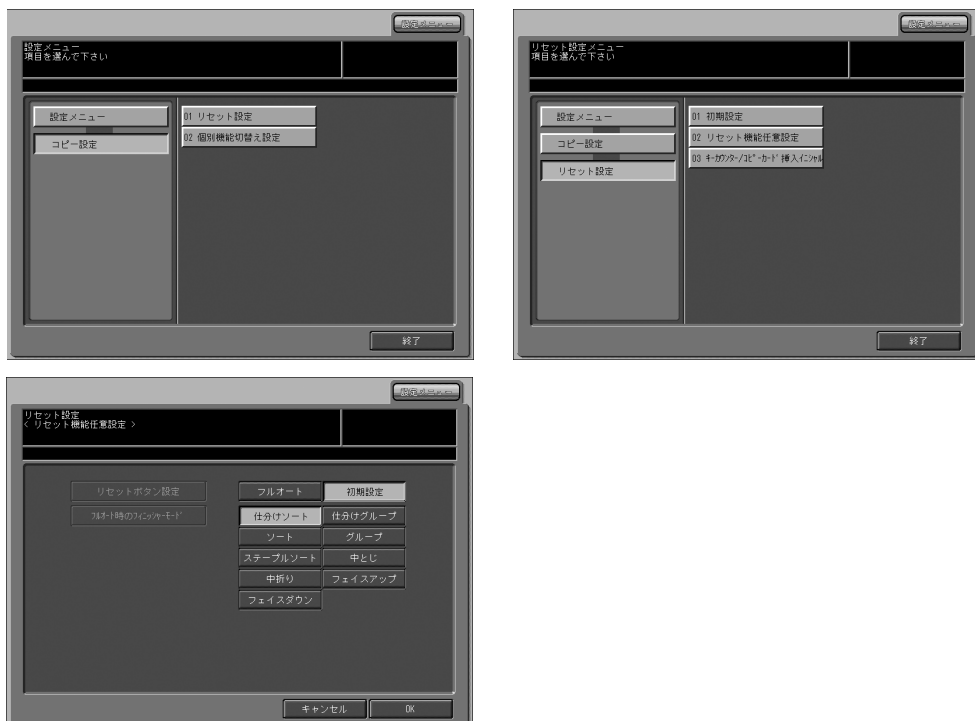
ここで初期設定を任意に変更しても、「02リセット機能任意設定＞リセットボタン設定」で〔フルオート〕を選択していると、リセット時は工場出荷時の設定にもどります。

4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 01リセット設定>02リセット機能任意設定

機械がリセットされたとき、工場出荷時に設定されている設定（フルオート）にするか、〔03コピー設定>01リセット設定>01初期設定〕で設定した初期設定にするかの選択をします。

また、フルオートの設定のうち、出力設定を任意に変更します。

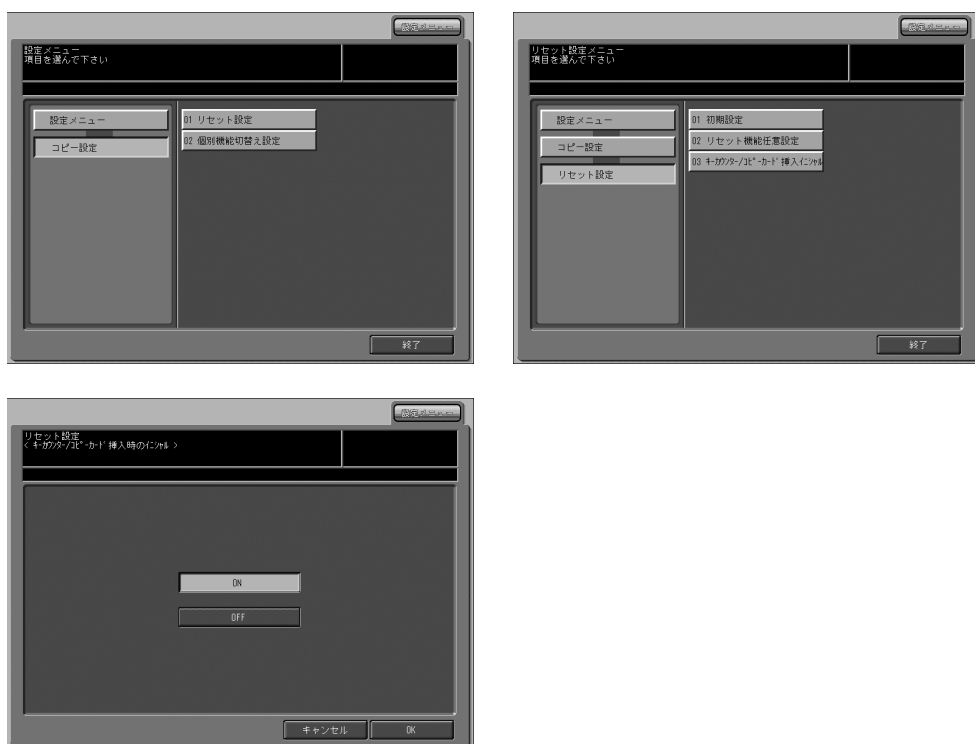


手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔02リセット機能任意設定〕を順に押します。
2. リセット時のコピー条件を選択します。
リセットボタン設定：リセットしたときのコピー条件を工場出荷時に設定されている設定（フルオート）にするときは、〔フルオート〕を押して反転させます。
〔01初期設定〕で設定した初期設定にするときは、〔初期設定〕を押して反転させます。
3. フルオート時の出力設定を選択します。
「フルオート時のフィニッシャーモード」右の任意のボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 01リセット設定>03キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル

キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、機械をリセットさせるかどうか設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔03キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル〕を順に押します。
2. キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、機械をリセットさせるときは〔ON〕、リセットさせないときは〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 02 個別機能切替え設定

下記機能を切り替え設定します。

- **中とじ／重ね中折り時小冊子**
フィニッシャー FS-611 の中とじ／重ね中折りの機能を選択したとき、応用設定の小冊子を自動選択するかどうかを選択します。
- **原稿ガラス自動倍率**
原稿ガラスで原稿をスキャンするとき、自動倍率を機能させるかどうかを選択します。
- **ADF自動倍率**
ADFで原稿をスキャンするとき、自動倍率を機能させるかどうかを選択します。
- **原稿ガラス自動サイズ選択**
原稿ガラスで原稿をスキャンするとき、自動用紙を機能させるかどうかを選択します。
- **ADF自動サイズ選択**
ADFで原稿をスキャンするとき、自動用紙を機能させるかどうかを選択します。
- **APS解除時のトレイ指定**
自動用紙（APS）が解除されたとき、選択するトレイを指定します。
- **原稿／出力のと同じ方向合わせ**
原稿設定で設定した同じ方向と出力設定の両面と同じ方向の設定を合わせるかどうかを選択します。
- **ステープルオートリセット**
ステープルソートでコピーを行った後、自動的にステープルモードを解除し、ソートモードにするかどうかを選択します。
- **原稿セット／同じ方向**
原稿設定画面で設定した原稿セット方向、出力設定画面で設定した両面と同じ方向の設定をジョブごとに解除するかどうかを選択します。
- **リセット時の原稿ガラス／ADF状態保持**
機械がリセットされたとき、原稿ガラス／ADFモードを初期状態にもどすか、リセット前の状態を保持するかを選択します。
- **JOB終了時任意スタンプ**
任意スタンプのJOB終了時に、任意スタンプの設定をそのまま選択しつづけるかどうかを選択します。
- **コピー自動予約**
原稿ガラスに原稿をセットしてコピー出力中に、違う原稿を原稿ガラスにセットして、同じコピー条件でスキャンするコピー予約をできるようにするかどうかの選択をします。



手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔02個別機能切替え設定〕を順に押します。
2. 画面左側に表示される機能名称に対して、それぞれ〔ON〕〔OFF〕、または希望する設定のボタンを押して選択します。
設定画面は2つあります。〔次頁〕〔前頁〕を押して表示させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、設定メニュー画面にもどります。

04スキャン設定

■ 01 デフォルト送信先設定

スキャン画面を表示させたとき、デフォルトで選択される送信先を設定します。
送信先として、下記の4種類の中から1つを選択します。

- E-mail（メールアドレス）
- HDD（ボックスNO.）
- FTP（FTPサーバーアドレス）
- SMB



手順

1. 設定メニュー画面の「04スキャン設定」、[01デフォルト送信先設定]を順に押します。
2. 希望する送信先のボタンを押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、[OK]を押します。
確定しない場合は、[キャンセル]を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

■ 02 個別機能切替え設定

スキャン画面を表示させたとき、デフォルトで選択されるファイルフォーマット、解像度、原稿画質／濃度、特殊原稿、読み込みサイズを設定します。

- **ファイルフォーマット設定 (E-mail)**

スキャンデータを E-mail に添付して送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。

- **ファイルフォーマット設定 (HDD)**

スキャンデータを HDD に保存するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。

- **ファイルフォーマット設定 (FTP)**

スキャンデータを FTP サーバに送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。

- **ファイルフォーマット設定 (SMB)**

スキャンデータを共有フォルダに送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。

- **デフォルト解像度設定**

スキャンするときのデフォルト解像度を 600dpi ／ 400dpi ／ 300dpi ／ 200dpi から選択します。

- **画質／濃度設定**

自動濃度またはマニュアルでスキャン時の濃度を選択します。
また、原稿の画質に合わせて4つのモードから任意のモードを選択します。

- **デフォルト特殊原稿**

特殊原稿のデフォルトを4つのモードから1つ選択します。

- **デフォルト読み込みサイズ**

スキャン読み込みサイズのデフォルトを自動／全面／指定サイズ（15）から選択します。



1. 設定メニュー画面の「04スキャン設定」、「02個別機能切替え設定」を順に押します。
2. 画面左側に表示される機能に対して、それぞれ希望する設定のボタンを押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

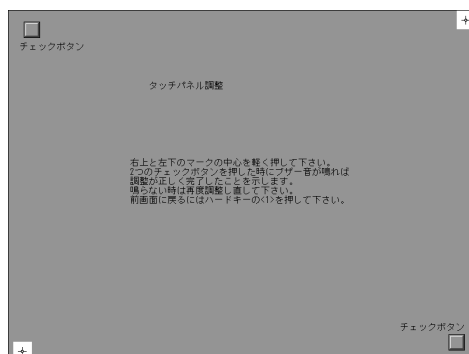
- 複数の宛先に対して同時送信する場合、個別にファイルフォームを設定することはできません。
- 同時送信する場合、ファイルフォーム設定は、以下の優先順位で設定されます。
E-mail > HDD > FTP > SMB

05タッチパネル調整

タッチパネル上のボタンを押して正常に反応しないとき、タッチセンサーと画面にズレが生じていないか確認します。

詳しく説明します

- 設定メニュー画面で、操作パネルのテンキー【5】を押しても、タッチパネル調整画面を表示させることができます。
- 操作パネルのテンキー【5】を押したときのみタッチパネル調整画面を表示するように設定できます。詳しくは、サービスにお問い合わせください。



手順

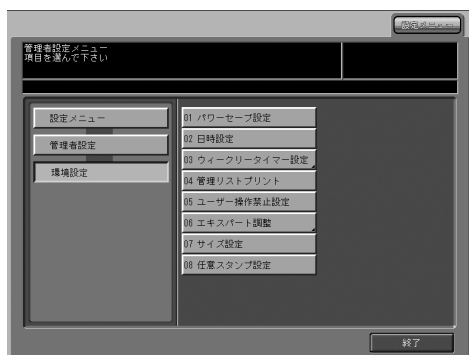
1. 設定メニュー画面の〔05タッチパネル調整〕を押します。
2. 右上と左下の十字マークを順番に押します。メッセージ表示部に座標値が表示されます。
3. 「タッチパネル調整」表示下の1行目に表示されている「X座標」「Y座標」の値が、2行目に表示されている規格値の範囲内にあることを確認します。
4. 左上、右下のチェックボタンを押し、2つともブザーが鳴ることを確認します。
5. 3項の規格値が表示の範囲外だったり、4項の操作でブザーが鳴らなかったりしたときは、調整をやり直すか、サービスにご連絡ください。
6. 操作パネルの【1】を押すと、設定メニュー画面にもどります。

■01パワーセーブ設定

オートローパワーの時間、およびオートシャットオフの時間の設定をします。

設定項目： オートローパワー： 1分／3分／5分／10分／15分／30分／60分／90分／120分／240分

オートシャットオフ： オフ／1分／3分／5分／10分／15分／30分／60分／90分／120分／240分



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔01パワーセーブ設定〕を順に押します。
2. 画面左側の<パワーセーブ機能選択>で〔オートローパワー〕を押して反転させます。
3. 画面右側の「オートローパワー設定」タイトル下の〔▲〕〔▼〕ボタンを押して、オートローパワーが機能する任意の時間を設定します。

最初は15分に設定されています。

オートシャットオフ機能を使用しない場合は6項へ進みます。

ひとこと

オートローパワーの時間は、オートシャットオフの時間を超過して設定できません。
オートローパワーの時間をオートシャットオフと同じ時間に設定すると、「オートローパワー」の設定時間が白く反転します。このとき、オートローパワーのかわりにオートシャットオフが機能します。

4. 画面左側の<パワーセーブ機能選択>で〔オートシャットオフ〕を押して反転させます。
5. 画面右側の「オートシャットオフ設定」タイトル下の〔▲〕〔▼〕ボタンを押して、オートシャットオフが機能する任意の時間を設定します。

最初は90分に設定されています。

ひとこと

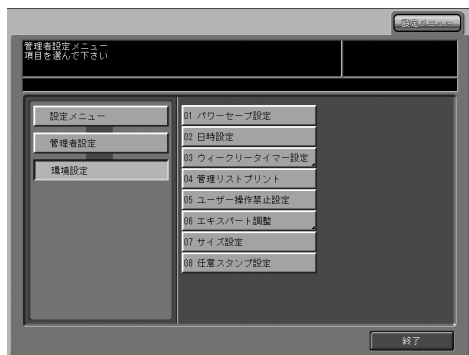
- オートローパワーの時間より短い設定をすると、オートローパワーの時間は、強制的にオートシャットオフと同じ時間に再設定され、「オートローパワー」の設定時間が白く反転します。このとき、オートローパワーは機能しません。

6. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 02 日時設定

本機に設定されている時計の時刻合わせとサマータイムを設定するかどうかの選択をします。最初は、サマータイムは設定されていません。

設定項目： 現在時刻
サマータイムオン／オフ
時差設定



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔02 日時設定〕を順に押します。
2. 本機に設定されている時計の時刻合わせを行います。
画面上段には、現在設定されている時刻が年（西暦）、月、日、時刻（24時間表示）の順に表示されています。
 (1) 「設定時刻」表示の「年」入力位置が反転表示されています。画面のテンキーを押して入力します。
 (2) テンキー右下の〔設定〕を押します。画面右位置に移動します。同様に「月」、「日」、「時刻」の設定をします。
3. サマータイムの設定をします。
最初、サマータイムは設定されていません。サマータイムを設定するときは、〔サマータイム〕を押して反転させます。現在時刻を1時間早めます。
4. 世界標準時との時差を設定します。
これはメール通知時の誤差情報です。時差は国や地域によって決まっています。（日本の場合は9時間早い）
 (1) 〔時差設定〕を押します。
 (2) 〔+←→-〕を押して、世界標準時より早い場合は「+」、遅い場合は「-」を表示させます。
 (3) 画面のテンキーを押して、時差を入力します（例：9時間早いときは「+0900」）と入力します。
5. 更新／設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
現在時刻を更新しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも環境設定メニュー画面にもどります。

■ 04 管理リストプリント

下記のユーザーリストを選択し、プリントすることができます。

- 設定メモリーリスト：
設定メモリーの登録内容がプリントアウトされます。

Mode memory list P.1
27/10/2008 15:16
ADY5021901011
TC:596

No.1 (demo1)	
Item	Setting
Copy quantity	1
Copy mode	1-1 RADF
Copy density	Auto 0
Lens mode	Auto
Output mode	Main tray / Staple finisher / Collated / Offset / Auto rotation Right & Left binding / Face down / 1 to N
Original direction	Tray1
Binding direction	Normal
Special Orig.	Right & Left binding
Enhance mode	Normal mode
Background adjust	Text&Photo
Original	0
Dual page	STD size
OHP interleave	
Booklet	
Combination	
Non-image area erase	Off
Image shift	Off
Image centering	
Frame erasure	
Fold erasure	
Repeat	
Neg Pos. Reverse	Off
Sheet insertion	Front cover / Blank / Simplex / P11 / Front cover / Blank / Simplex / Tray2 / Insertion sheets n1 / Blank / Simplex / Tray2 / 9

- ユーザー管理リスト：
ユーザーが設定できるホームポジションの内容がプリントアウトされます。

User setting list P.1
27/10/2008 15:16
ADY5021901011
TC:600

System setting	
Item	Setting
Language setting	1
Buzzer ON/OFF	On
Buzzer volume regulation	7
Buzzer for JOB stop setting	3 seconds
1 SHOT indication time	5 seconds
Default screen setting	Machine
Auto reset setting	540 seconds
Key response time	3 seconds
Function setting	
Item	Setting
Feed tray auto selection	H/Tray1/Tray2/Tray3/Tray4/Tray5/L
Automatic tray switching	On
Automatic paper type(Paper type)	Fine/Normal
Automatic paper type(Weight)	62-71g/72-91g
Automatic paper type(Colored paper)	White
Automatic paper type(Hold-Punch)	Non Hold-Punch
Image shift decimal point	Decimal off
Printer prohibit timer	Off
Density shift(Text & Photo)	2

- 使用管理リスト：
ユーザー認証／部門管理によって管理される情報がプリントアウトされます。

Use management list P.1
27/10/2008 15:16
ADY5021901011
TC:596

Use authentication(Total counter of each paper size) / Off									
ID No	Name	Account	A3	B4	A4	B5	A5	F4	Custom
0001		123	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000
0002	1	123	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000

- **フォントパターンリスト：**
機械で使用するフォントのパターンがプリントアウトされます。

Font pattern list

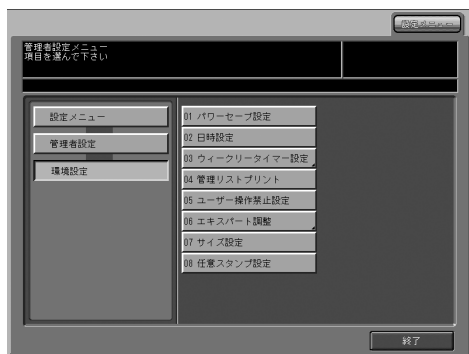
27/10/2008 15:16
ADY502100101
TC:615

Gothic type

```
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
/0123456789  
/0123456789  
Ming type  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~  
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABcDEFGH|JkLMNOPQRStUVWxyz[\]^_`abcde fghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
```

- **監査ログレポート：**
監査ログがプリントアウトされます。

Audit log report										27/10/2008 15:19 AF502220081001017 TC: 594	
No	date/time	id	action	result	No	date/time	id	action	result		
0001	27/10/2008 15:15	-2	04	OK	0002	27/10/2008 12:34	4	13	OK		
0003	27/10/2008 12:34	4	13	OK	0004	27/10/2008 12:32	4	13	OK		
0005	27/10/2008 12:32	4	13	OK	0006	27/10/2008 12:30	4	13	OK		
0007	27/10/2008 12:30	4	13	OK	0008	27/10/2008 12:28	4	13	OK		
0009	27/10/2008 12:28	4	13	OK	0010	27/10/2008 12:25	4	13	OK		
0011	27/10/2008 12:25	4	13	OK	0012	27/10/2008 12:22	4	13	OK		
0013	27/10/2008 12:22	4	13	OK	0014	27/10/2008 12:16	4	13	OK		
0015	27/10/2008 12:16	4	13	OK	0016	27/10/2008 12:16	4	13	OK		
0017	27/10/2008 12:13	4	13	OK	0018	27/10/2008 12:11	4	13	OK		
0019	27/10/2008 10:05	4	13	OK	0020	24/10/2008 14:22	4	13	OK		
0021	22/10/2008 15:57	0	14	OK	0022	22/10/2008 15:58	1	09	OK		
0023	22/10/2008 15:57	1	09	OK	0024	22/10/2008 14:44	1	09	OK		
0025	22/10/2008 14:40	1001	16	OK	0026	22/10/2008 14:39	1001	16	OK		
0027	22/10/2008 14:38	1001	17	OK	0028	22/10/2008 14:38	1001	16	OK		
0029	22/10/2008 14:31	1001	16	OK	0030	22/10/2008 14:30	1001	16	OK		
0031	22/10/2008 14:36	1001	16	OK	0032	22/10/2008 14:35	1001	16	OK		
0033	22/10/2008 14:35	1001	16	OK	0034	22/10/2008 14:34	1001	16	OK		
0035	22/10/2008 14:34	1001	17	OK	0036	22/10/2008 14:34	1001	16	OK		
0037	22/10/2008 14:34	1001	16	NG	0038	22/10/2008 14:33	1001	16	OK		
0039	22/10/2008 14:32	16	16	OK	0040	22/10/2008 12:44	1	09	OK		
0041	22/10/2008 13:42	1001	18	OK	0042	22/10/2008 13:42	1001	16	OK		
0043	22/10/2008 12:56	1	13	OK	0044	22/10/2008 12:55	1	13	OK		
0045	22/10/2008 12:52	1	13	OK	0046	22/10/2008 11:35	1001	16	OK		
0047	22/10/2008 11:35	1001	18	OK	0048	22/10/2008 11:35	1001	16	OK		
0049	22/10/2008 11:33	0	14	OK	0050	22/10/2008 11:31	1	09	OK		
0051	22/10/2008 10:36	0	06	OK	0052	22/10/2008 10:34	1	09	OK		
0053	22/10/2008 10:31	0	14	OK	0054	22/10/2008 10:15	0	14	OK		
0055	22/10/2008 10:14	0	14	OK	0056	22/10/2008 09:38	1	09	OK		
0057	22/10/2008 09:28	0	06	OK	0058	22/10/2008 09:18	1	09	OK		
0059	22/10/2008 09:18	1	09	OK	0060	21/10/2008 18:10	1001	17	OK		
0											



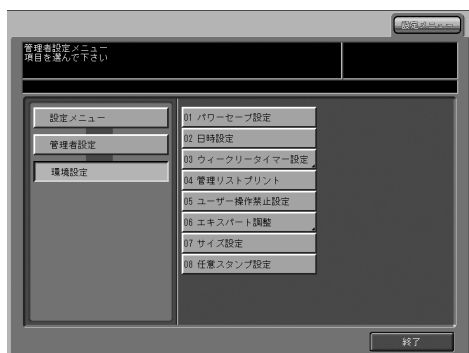
手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔04管理リストプリント〕を順に押します。
2. プリントアウトしたいリストのボタンを押します。
3. 〔コピー〕タブを押します。コピー画面が表示されます。
4. 操作パネルの【スタート】を押します。プリントを開始します。
プリントを中断するときは、【ストップ】を押します。〔設定メニュー〕タブを押すと、管理リストプリントメニュー画面にもどります。
5. 〔前画面〕を押します。環境設定メニュー画面にもどります。

■ 05 ユーザー操作禁止設定

下記の設定メモリー項目のメモリー内容の変更を許可／禁止を設定します。

- **設定メモリーロック／削除設定：**
設定メモリー機能を使用して書き込みしたコピーパターンを、ほかの書き込み操作中にあやまって消されないようにロックします。また、そのロックを解除、あるいは書き込みした設定の内容をロックします。
- **宛先登録変更：**
スキャン画面で、送信先手動入力 of 許可／禁止する設定をします。
- **登録倍率変更：**
登録してある倍率を変更してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **登録オーバーレイ変更：**
登録オーバーレイ画像の画像名を削除したり、上書きしてもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (E-Mail)：**
スキャンデータを E-Mail 送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (HDD)：**
スキャンデータを HDD に保存する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (FTP)：**
スキャンデータを FTP サーバーに送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (SMB)：**
スキャンデータを共有フォルダーに送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **初期設定任意スタンプ選択**
初期設定として設定した任意スタンプを選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の「01環境設定」、[05ユーザー操作禁止設定]を順に押します。
2. 設定メモリーのロック/削除を設定します。
 - (1) [設定メモリーロック/削除設定]を押します。
 - (2) 書込みがしてある設定には、設定メモリー番号の右横に登録した名前が表示されています。ロックしたい設定メモリー番号の左横にあるボタンを押すと、ロックマークが表示されロックされます。ロックのかかっているボタンを押すと、ロックマークが消えロックが解除されます。名前が入力されていないボタンを押しても、ロックマーク「」は表示されずロックされません。
 - (3) 消去したい設定メモリー番号を押して反転させます。画面下の[削除]を押すと、設定メモリーは消去され名前もなくなります。反転表示は元にもどります。

ひとこと

- ここではロックされた設定メモリーも消去できます。その際、ロックも解除されます。一度消去すると復帰させることができませんので、ご注意ください。
 - 設定メモリーは30まで設定できます。[次頁][前頁]を押して希望する設定メモリーを表示させます。
- (4) 設定内容を確認するため、[OK]を押します。

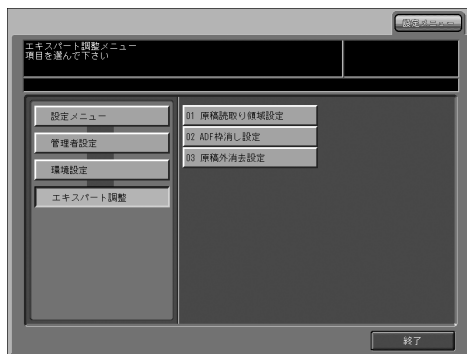
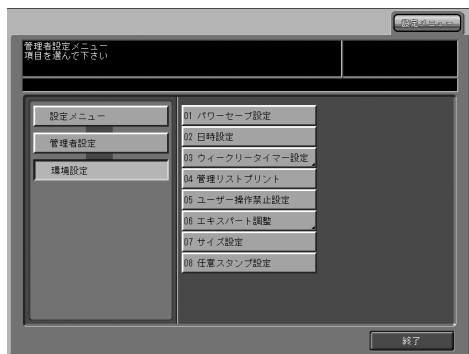
確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、ユーザー操作禁止設定メニュー画面にもどります。
 3. 宛先登録変更、登録倍率変更、登録オーバーレイ変更、スキャン機能選択 (E-mail)、スキャン機能選択 (HDD)、スキャン機能選択 (FTP)、スキャン機能選択 (SMB)、初期設定任意スタンプ選択は、それぞれ[許可]または[禁止]を押して反転させます。
 4. 設定内容を確認するため、[OK]を押します。

確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 06 エキスパート調整>01 原稿読取り領域設定

原稿の外側の余白部分を消去するかどうかを下記の3つの中から選択設定します。

- **原稿外消去する：**
無条件で原稿外消去します。
- **自動サイズ／自動倍率時のみ：**
自動用紙または自動倍率が機能しているときのみ原稿外消去します。
- **原稿ガラス等倍を除き消去：**
原稿ガラスで等倍コピーするときを除いて原稿外消去します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 エキスパート調整〕、〔01 原稿読取り領域設定〕を順に押します。
2. 希望する設定のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 06エキスパート調整>02 ADF 枠消し設定

ADFを使用してコピーするとき、枠消しコピーを無条件に機能させるかどうか、また機能させる場合の枠消し量を設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔06エキスパート調整〕、〔02ADF枠消し設定〕を順に押します。
2. 希望する枠消し量のボタンを押して選択します。枠消しを必要としない場合は、〔なし〕を押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 06 エキスパート調整 > 03 原稿外消去

応用機能「原稿外消去」の消去方法の選択、および検知する原稿の濃度レベル（5段階）を設定します。

最初は、「自動」が設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 エキスパート調整〕、〔03 原稿外自動消去設定〕を順に押します。
2. 原稿外消去機能の消去方法と原稿濃度を設定します。
消去方法および原稿濃度を自動的に判別させるときは、左側の〔自動〕を押して選択します。
マニュアル設定するときには、〔斜角消去〕または〔矩形消去〕を押して選択します。このとき、下側5つの原稿濃度ボタンのうちの1つを押して選択します。

ひとこと

〔斜角消去〕または〔矩形消去〕を設定しても、原稿によってはうまく機能しないことがあります。そのときは〔自動〕を設定してください。

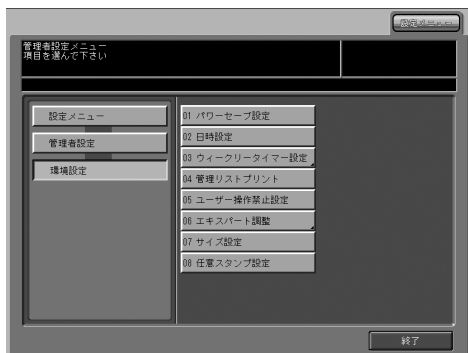
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 07 サイズ設定

原稿検知のサイズ系列と原稿ガラスでの最小検知サイズを設定します。

選択項目： 原稿サイズ検知 A系・B系／A系列のみ／インチ系／フルサイズ

原稿ガラス最小サイズ設定 5.5x8.5□／A5□／B6□／A4□／8.5x11□



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔07 サイズ設定〕を順に押します。
2. ADFまたは原稿ガラスに原稿を設置したとき、検知するサイズ系列を設定します。
「原稿サイズ検知」表示右側の任意のボタンを押して選択します。
3. 原稿ガラスで自動用紙が検知する最小サイズを設定します。
「原稿ガラス最小サイズ設定」で、希望するサイズのボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 08 任意スタンプ設定

任意スタンプ設定の新規登録、編集、削除を行います。
任意スタンプ設定には以下の項目があります。

- **タイトル**

任意スタンプ設定のタイトルを入力します。
(半角英数字 12 文字または全角 6 文字以内)

- **3 項目の内容／順番／文字 (サイズ／種類)**

任意スタンプとして印刷される内容を項目順にタイプイン、日付／時刻、任意スタンプ番号、印刷なしから 1 つ選択し、印刷される文字のサイズと種類を設定します。

タイプイン

任意スタンプとして印刷される内容にタイプインを選択した場合、文字列を設定します。(半角英数字 40 文字以内)

日付／時刻

任意スタンプとして印刷される内容に日付／時刻を選択した場合、印刷形式を設定します。

日付：5 種類の印刷形式から 1 つ選択

('03/11/23、11/23/'03、23/11/'03、Nov 23,2003、23 Nov,2003)

時刻：3 種類の印刷形式から 1 つ選択

(表示なし、1：23PM、13：23)

任意スタンプ番号

任意スタンプとして印刷される内容に任意スタンプ番号を選択した場合、タイプインや番号のオン／オフの設定をします。(タイプインは半角英数字 20 文字以内、番号は 9 ケタ以内)

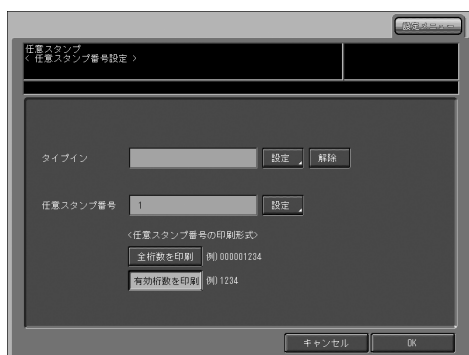
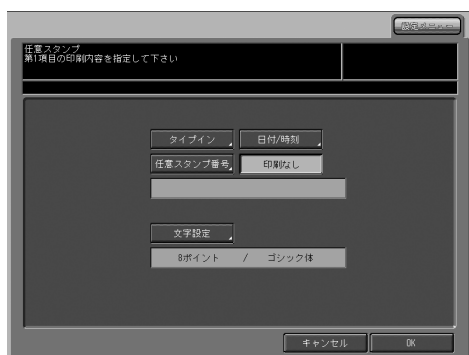
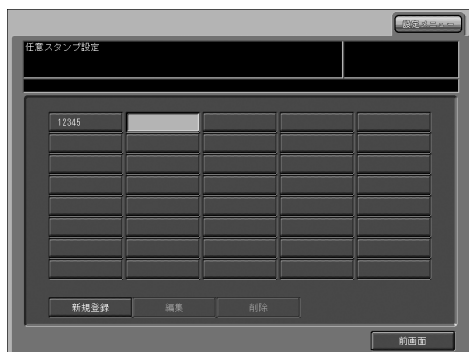
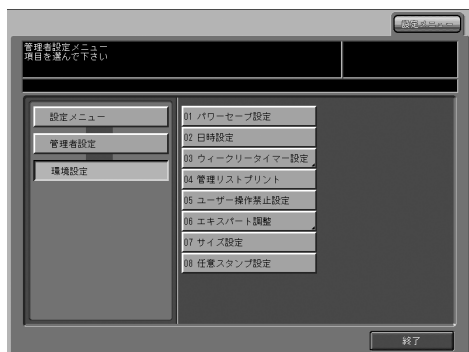
任意スタンプ番号を選択したとき、番号の印刷形式を全桁数／有効桁数から選択します。

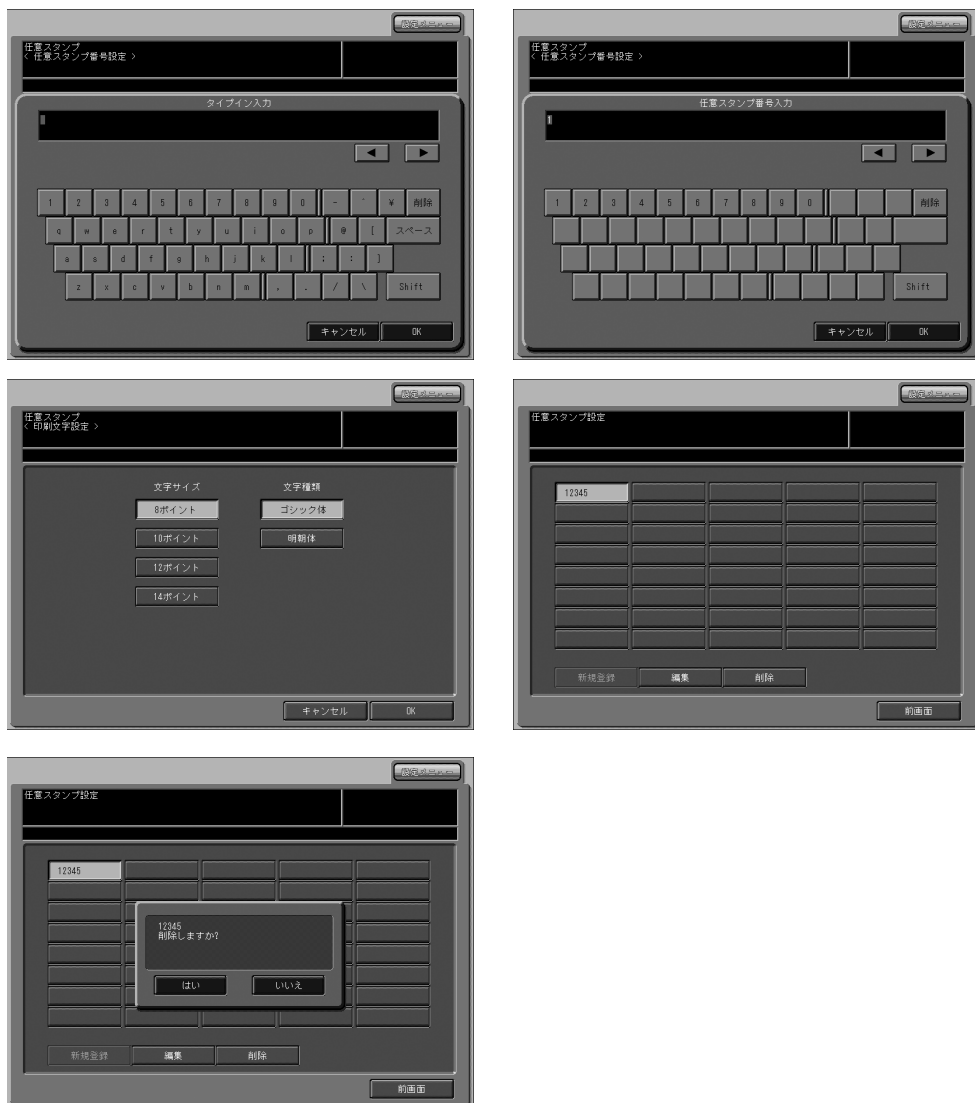
文字設定

任意スタンプとして印刷される文字サイズと種類を設定します。(文字サイズを 8/10/12/14 ポイント、文字種類をゴシック体／明朝体からそれぞれ選択)

- **項目の組み合わせ方法**

設定した印刷内容をヨコ一行に並べて印刷するか内容ごとに改行して印刷するか選択します。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔08任意スタンプ設定〕を順に押します。
2. 任意スタンプ設定を新規登録します。
 - (1) 任意スタンプ設定一覧画面で任意の未登録タイトルボタンを押して選択し、〔新規登録〕を押します。任意スタンプ設定画面が表示されます。

ひとこと

選択したタイトルボタンに既に任意スタンプの設定が登録されている場合、〔新規登録〕に網がかかり、選択することができません。

- (2) 設定タイトルを入力します。

〔タイトル〕を押してタイトル入力画面を表示させタイトルを入力します。
〔OK〕を押します。



タイトルを入力しないと登録を完了できません。登録する場合は必ずタイトルを入力してください。

- (3)〔第1項目〕を押し、1行目の印刷内容を設定します。
〔タイプイン〕、〔日付／時刻〕、〔任意スタンプ番号〕、〔印刷なし〕から1つ押して選択します。

〔タイプイン〕を押したとき：

タイプイン入力画面が表示されます。入力して〔OK〕を押します。

〔日付／時刻〕を押したとき：

日付／時刻設定画面が表示されます。日付5種類、時刻3種類のボタンからそれぞれ1つずつ押して選択し、〔OK〕を押します。

〔任意スタンプ番号〕を押したとき：

任意スタンプ番号設定画面が表示されます。

「タイプイン」表示右の〔設定〕を押してタイプイン入力画面を表示させ文字列を入力して〔OK〕を押します。

「任意スタンプ番号」表示右の〔設定〕を押して任意スタンプ番号入力画面を表示させ、スタート番号を入力して〔OK〕を押します。

「<任意スタンプ番号の印刷形式>」表示下の〔全桁数を印刷〕または〔有効桁数を印刷〕を押して番号の印刷形式を選択します。

〔OK〕を押します。

〔印刷なし〕を押したとき：

ボタンが反転します。

第1項目は印刷されなくなります。

- (4)〔文字設定〕を押して1行目の文字サイズと文字種類を設定します。
印刷文字設定画面が表示されます。
「文字サイズ」表示下の4つのボタン、「文字種類」表示下の2つのボタンからそれぞれ1つずつ押して選択し〔OK〕を押します。
- (5)〔第2項目〕、〔第3項目〕を押して、手順(3)～(4)に従って設定します。
- (6)「項目の組み合わせ方法」表示下の〔三行〕または〔一行〕を押して選択します。
- (7)設定内容を確定するため〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも任意スタンプ設定一覧画面にもどります。

3. 任意スタンプ設定を編集します。

- (1)任意スタンプ設定一覧画面で任意の登録済タイトルボタンを押して選択し、〔編集〕を押します。任意スタンプ設定画面が表示されます。
- (2)設定を編集します。(手順2の(2)～(6)をごらんください。)
- (3)編集内容を確定するため〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも任意スタンプ設定一覧画面にもどります。

4. 任意スタンプ設定を削除します。

- (1)任意スタンプ設定一覧画面で任意の登録済タイトルボタンを押して選択し、〔削除〕を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。
- (2)削除するときは〔はい〕を押します。
削除しないときは〔いいえ〕を押します。

5. 〔前画面〕を押します。環境設定メニュー画面にもどります。

06管理者設定>02管理者／本体登録

■ 01 管理者登録

設定メニュー画面の左側に表示される、管理者名、内線番号およびE-mailアドレスを登録します。

入力項目： 管理者名前／管理者内線番号／E-mailアドレス



管理者のE-mailアドレスを設定していないと、Scan to E-mailは機能しません。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔02管理者／本体登録〕、〔01 管理者登録〕を順に押します。
2. 〔名前入力〕を押すと、管理者名入力画面が表示されます。画面上の文字ボタンを押して、管理者の名前を入力します。入力できる文字数は、ハイフン（-）も含め20文字までです。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、前の画面にもどります。
4. 〔内線番号入力〕で、画面上のテンキーを押して管理者の内線番号を入力します。入力できる数値は、ハイフン（-）も含め8ケタまでです。
内線番号が5ケタ未満の場合も、ハイフンを入れて5ケタにしてください。最初に入力したハイフンは、設定メニュー画面の表示ではスペースになります。
数値を入力していくと、入力した数字は下の位から入っていき、左へシフトしていきます。
5. 〔E-mailアドレス入力〕を押すと、E-mailアドレス入力画面が表示されます。画面上の文字ボタンを押して、管理者のE-mailアドレスを入力します。
6. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、前の画面にもどります。
7. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、管理者／本体登録画面にもどります。

06管理者設定>05コピー／プリンター設定

■01ジョブオフセット動作

ジョブごとにオフセットして出力して、出力紙を仕分けします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕、〔01ジョブオフセット動作〕を順に押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■02連続プリント（プリンター）

連続した複数の予約プリントを、ジョブの切れ目で停止させることなく出力します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔02連続プリント（プリンター）〕を押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 03小冊子時のページ印字位置

小冊子とスタンプのページまたはナンバリングを併用したとき、スタンプの印字が左右の画像に対していつも外側に印字されるようにするかどうかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔03小冊子時のページ印字位置〕を押します。
2. 〔ON（外側印刷）〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 04 プリント前定着予備回転設定

紙種および坪量変更により、定着温度の切り替えが必要になることがあります。このとき、プリント前に定着を回転させ、その紙種および坪量に適した温度でプリントします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔04プリント前定着予備回転設定〕を押します。
2. 希望する設定ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

ひとこと

〔回転する（基準時間+30秒）〕、〔回転する（基準時間+10秒）〕、または〔回転する（基準時間）〕を選択すると、紙種および坪量を変更してから【スタート】を押すと、「ウォームアップ中です」と表示されることがあります。コピー可能になるまでお待ちください。

■ 05 自動画像回転

自動画像回転機能をオンにするか、自動画像回転機能を自動用紙、または自動倍率が働いたときのみ機能させる、自動画像回転機能を自動用紙、自動倍率または縮小倍率が働いたときのみ機能させるかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕、〔05自動画像回転〕を順に押します。
2. 希望する設定ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 06 割込み停止方法

操作パネルの【割込み】を押したときの割込みのタイミングを設定します。進行中のジョブを設定した部数の出力まで待って停止させるか、出力途中で停止させるかを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔06 割込み停止方法〕を順に押します。
2. 〔部数区切〕または〔部数途中〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 07 コピー予約の操作性

機械状態画面が表示されているときに〔コピー〕タブを押してコピー画面を表示させるか、原稿をセットすることでコピー予約のためのコピー画面へ移るかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔07 コピー予約の操作性〕を順に押します。
2. 〔ボタン押下によるコピー予約〕または〔原稿セットによるコピー予約〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 08トレイ引抜きによる読み込み禁止

原稿読み中にトレイを引き抜いたとき、読み込みを禁止させるかどうかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の「05コピー／プリンター設定」を押して、「08トレイ引抜きによる読み込み禁止」を押します。
2. 「ON」または「OFF」を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は「キャンセル」を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 09連続プリント（コピー）

連続した複数のコピー予約の出力をジョブの切れ目で一時停止させるか、停止させずに連続出力させるかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕、〔09連続プリント（コピー）〕を順に押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 10原稿ガラス1枚排紙方法

原稿ガラスに原稿をセットして1部コピーしたとき、プリント面を上にするか下にするかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔10原稿ガラス1枚排紙方法〕を押します。
2. 〔フェイスアップ〕または〔フェイスダウン〕を押して反転させます。
設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 11 1枚送り自動設定

1枚送りを設定してADFに原稿を1枚セットしたとき、操作パネルの【スタート】を押してから動作させるか、連続読み込みを設定したときのみセットしたと同時にスキャンさせるかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔11 1枚送り自動設定〕を順に押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 01 ユーザー発信

サービスのメンテナンスを受けたいときに使用します。サービスは機械の状態を随時モニターしています。メンテナンスのときに有効な情報になります。



手順

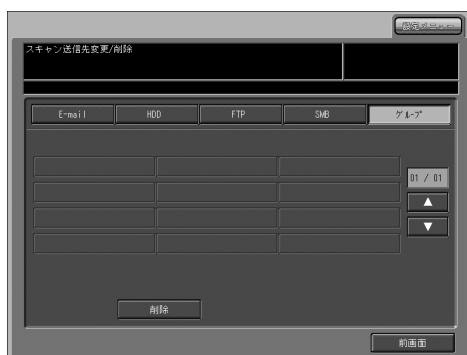
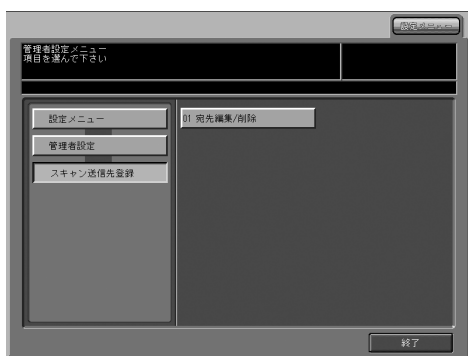
1. 管理者設定メニュー画面の〔05 システム連携〕、〔01 ユーザー発信〕を順に押します。
2. 〔スタート〕を押します。
3. 〔前画面〕を押します。システム連携画面にもどります。

■ 01宛先編集／削除

本機でスキャンした画像の送信先を変更／削除します。
送信先として、下記の4種類のアドレスを登録できます。

- E-mail（メールアドレス）
- HDD（ボックスNO.）
- FTP（FTPサーバーアドレス）
- SMB

また、登録されているE-mailアドレスのグループを削除できます。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔08スキャン送信先登録〕、〔01宛先編集／削除〕を順に押します。
2. 変更／削除したいアドレスの種類を選択します。

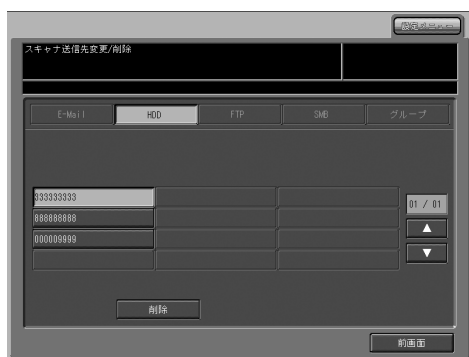
E-mail送信先の変更／削除

- (1) 〔E-mail〕を押します。
- (2) 検索ボタンや〔▲〕〔▼〕を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は〔変更〕を押してE-mail詳細画面を表示させます。
変更する項目を〔アドレス〕〔登録名〕〔検索文字〕のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用する／しないの設定をします。〔OK〕を押します。
- (5) 削除する場合は〔削除〕を押します。
削除確認のポップアップ画面の〔はい〕を押します。削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。



HDD送信先の変更／削除

- (1) 〔HDD〕を押します。
- (2) 検索ボタンや〔▲〕〔▼〕を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は〔変更〕を押してHDD詳細画面を表示させます。
変更する項目を〔登録名〕〔検索文字〕〔パスワード〕のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用〔する〕／〔しない〕の設定をします。〔OK〕を押します。
- (5) 削除する場合は〔削除〕を押します。
削除確認のポップアップ画面の〔はい〕を押します。削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。
- (6) 未登録ボックスを削除する場合は〔未登録ボックス〕を押します。(5) 項の手順に従って削除します。



FTP送信先の変更／削除

- (1) [FTP] を押します。
- (2) 検索ボタンや[▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は「変更」を押してFTP詳細画面を表示させます。
 変更する項目を「プロファイル名」「検索文字」「ホストアドレス」「ファイルパス」「ログイン名」「パスワード」のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用「する」／「しない」の設定をします。[OK] を押します。
- (5) 削除する場合は「削除」を押します。
 削除確認のポップアップ画面の「はい」を押します。削除を中止する場合は「いいえ」を押します。



SMB送信先の変更／削除

- (1) [SMB] を押します。
- (2) 検索ボタンや[▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は[変更]を押してSMB詳細画面を表示させます。
変更する項目を[プロファイル名][検索文字][ホストアドレス][ファイルパス][ログイン名][パスワード]のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用[する]／[しない]の設定をします。[OK]を押します。
- (5) 削除する場合は[削除]を押します。
削除確認のポップアップ画面の[はい]を押します。削除を中止する場合は[いいえ]を押します。



グループの削除

- (1) [グループ] を押します。
- (2) [▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) [削除]を押します。
削除確認のポップアップ画面の[はい]を押します。削除を中止する場合は[いいえ]を押します。



3. [前画面] を押します。スキャン送信先登録画面にもどります。

設定メニュー画面の06 管理者設定で設定するウィークリータイマーの設定方法を説明します。

06管理者設定>06環境設定>03ウィークリータイマー設定	6-2
■ 03ウィークリータイマー設定>01ウィークリータイマー使用設定	6-3
■ 03ウィークリータイマー設定>02タイマー予約時刻設定	6-4
■ 03ウィークリータイマー設定>03動作日設定	6-6
■ 03ウィークリータイマー設定>04昼休みオフ機能設定	6-7
■ 03ウィークリータイマー設定>05時間外使用パスワード設定	6-8

06管理者設定＞06環境設定＞03ウィークリータイマー設定

ウィークリータイマーは、管理者設定によって下記のように機械を管理します。

- 動作日設定でタイマーを一日1回個別に、または曜日単位で、タイマー動作日を設定します。
- タイマー予約時刻設定で月曜日～日曜日まで個別に、または一括に、オン時刻／オフ時刻を設定します。
- 基本的に1日1回のオン／オフをさせます。ただし、オンしているときに1回オフ／オンさせることができます。（昼休みオフ機能）
- 時間外パスワードをあらかじめ設定し、タイマーが機能して機械がオフ状態のときに操作パネルの【パワーセーブ】を押してその時間外パスワードを入力すると、機械が使えるようになります。（時間外使用）

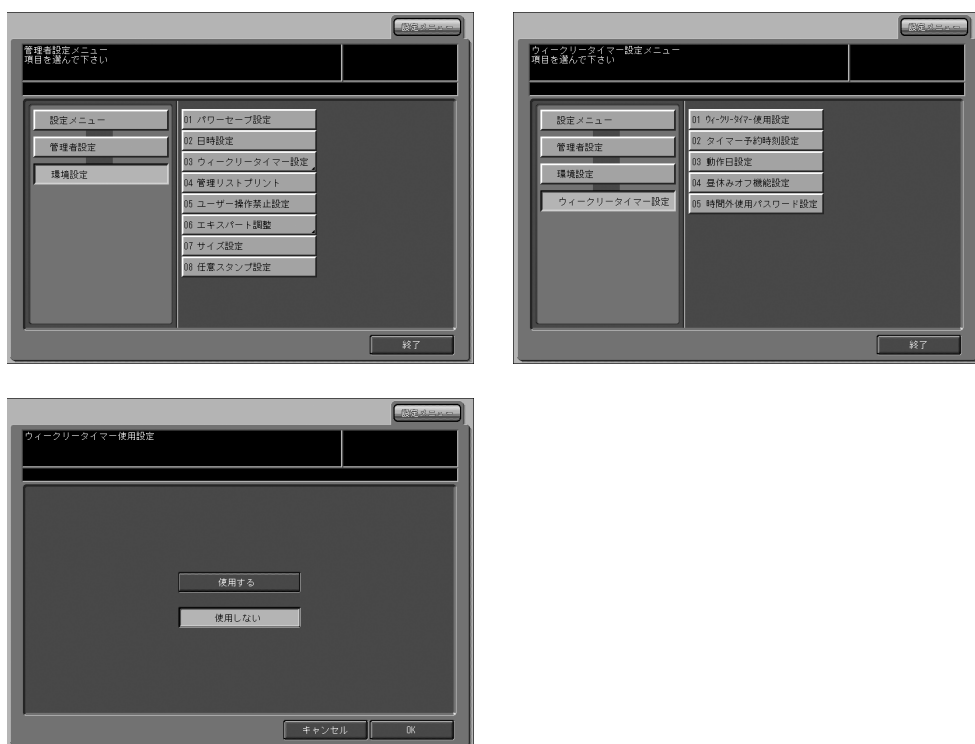
ウィークリータイマーは、工場出荷時には設定されていません。

ウィークリータイマーの基本条件

1. 本体のプラグがコンセントに接続されていること。
電源プラグが抜かれているとウィークリータイマーは機能しませんが、オン時刻／オフ時刻設定などのデータは保存されます。
2. 主電源および副電源スイッチがオン状態であること。
3. 現在の正確な日付、日時を設定すること。

■ 03ウィークリータイマー設定>01ウィークリータイマー使用設定

ウィークリータイマー機能を使用する、しないの設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔01ウィークリータイマー使用設定〕を順に押します。
2. 〔使用する〕または〔使用しない〕を押して、反転させます。
最初は〔使用しない〕が選択されています。
〔使用する〕を選択すると、ウィークリータイマーが機能します。このように設定した機械は主電源および副電源スイッチをオンにしたままにします。
〔使用しない〕を選択すると、ウィークリータイマーは機能しません。電源のオン／オフは主電源および副電源スイッチで行います。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>02タイマー予約時刻設定

機械のオン時刻／オフ時刻を曜日ごとに個別に、または一括に設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔02タイマー予約時刻設定〕を順に押します。
 - ・ 月曜日から日曜日まで個別にオン時刻／オフ時刻を設定する場合は、**2項**へ進みます。
 - ・ オン時刻／オフ時刻を一括で設定する場合は、**3項**へ進みます。

ひとこと

ここで時刻を設定してもタイマーを動作させるかどうかは、動作日設定 (p. 6-6 参照) で行います。休日の時刻を設定しても休日に機械の電源が入るわけではありません。

2. オン時刻 / オフ時刻を個別に設定します。

設定する曜日ボタンを押して反転させ、その右側の〔◀〕〔▶〕を押して、オン時刻またはオフ時刻を反転させます。

画面上のテンキーで時刻を入力します。

「時」は2ケタで入力して、午後の時間は24時間方式にします。(例：午後2時の場合、14と入力) 続けて「分」の2ケタを入力します。1分～9分は前に0をつけます。(例：7分の場合、07と入力) これを繰り返して月曜日から日曜日までのオン時刻 / オフ時刻を入力します。

ひとこと

- ・ オン時刻とオフ時刻を同じ時刻に設定すると、タイマー動作を設定しても電源は入りません。
- ・ 入力を間違えたときは、正しく入力をし直してください。

3. オン時刻/オフ時刻を一括で設定できます。

〔曜日別一括設定〕を押して、タイマー予約時刻曜日別一括設定画面を表示させます。この画面が設定されたとき、オン時刻とオフ時刻は2つとも00:00と表示されています。

月曜日から日曜日の中で、オン時刻とオフ時刻を同じにしたい曜日のボタンを押して反転させます。複数の選択ができ、一度に設定できます。

画面上のテンキーを使って、オン時刻とオフ時刻を入力します。

入力の要領は**2**項をごらんください。

ひとこと

- ここで時刻を設定してもタイマーを動作させるかどうかは、動作日設定（p. 6-6 参照）で行います。休日の時刻を設定しても休日に機械の電源が入るわけではありません。
- オン時刻とオフ時刻を同じ時刻に設定すると、タイマー動作を設定しても電源は入りません。
- 入力を間違えたときは、正しく入力をし直してください。

4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

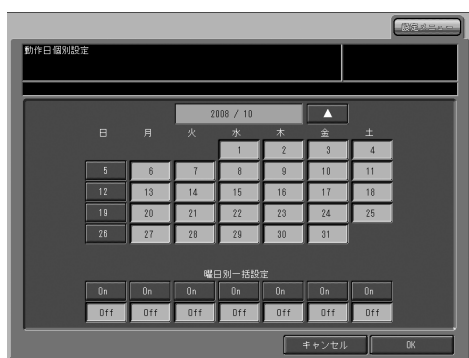
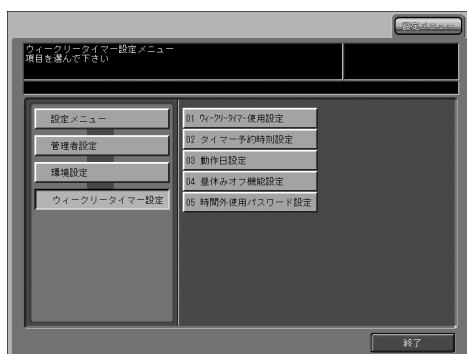
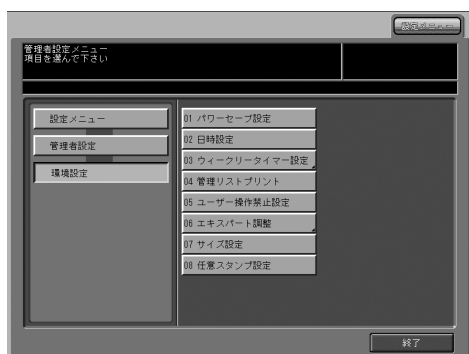
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>03動作日設定

タイマー予約時刻設定で設定したオン時刻／オフ時刻どおりにタイマー動作させる動作日を、個別に設定するときはカレンダーをみながら、一括の場合は曜日単位で設定します。

ひとこと

工場出荷時は、どの月も月曜日から土曜日までオン、日曜日はオフに設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔03動作日設定〕を順に押します。
2. 画面中央に表示されるカレンダー内の動作日設定したい日のボタンを押して、反転させます。
〔▲〕〔▼〕で、表示されるカレンダーの月を変更することができます。
3. 画面下部に表示される曜日別一括設定で、曜日別にタイマーを動作させる、させないを設定します。曜日ごとに〔On〕、〔Off〕があります。変更するときは、ボタンを押して反転させます。
4. 曜日別一括設定で動作日を変更すると、動作日変更確認のポップアップ画面が表示されます。
曜日別一括設定での設定は、カレンダーによる個別設定より優先されます。
 - ・〔はい〕を押すと、曜日別一括設定での変更が有効となります。
 - ・〔いいえ〕を押すと、カレンダーによる個別設定が有効となります。
5. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

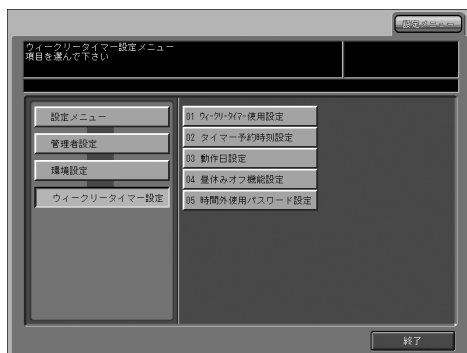
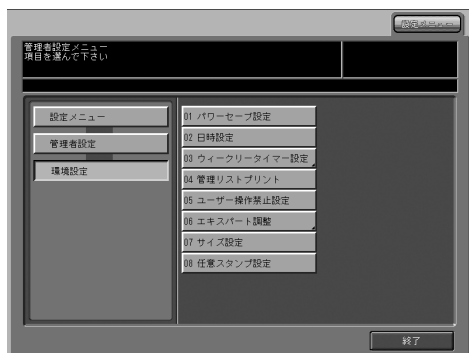
■ 03ウィークリータイマー設定>04昼休みオフ機能設定

タイマー時間設定は、1日1回のオン／オフをさせます。

昼休みオフ時刻設定は、タイマー時間設定によってオンしている状態で1回オフ／オンさせる機能です。昼休みオフ時刻は、曜日に共通して1種類の時刻設定ができます。

ひとこと

- ・タイマー時間設定によってオン設定されていない時間に昼休みオフ時刻が設定されていてもそれは無効になります。
- ・工場出荷時、昼休みオフ機能は働かないように設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔04昼休みオフ機能設定〕を順に押します。
2. 〔昼休みOFFする〕を選択すると、昼休みオフ機能が働きます。
このとき、画面上のテンキーで昼休みオフ時刻と再起動時刻を入力し、〔設定〕を押します。
(午前11時55分から午後1時10分の場合；1155＋〔設定〕、1310＋〔設定〕と入力)
(連続運転)を選択すると、昼休みオフ機能は機能しくなくなります。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>05時間外使用パスワード設定

ウィークリータイマーによって電源がオフしているときに、機械を強制オンさせて時間外に使用することができます。ここで4ケタの時間外使用パスワードを設定すると、操作パネルの【パワーセーブ】を押した後に時間外使用パスワードを入力しなければ時間外使用できないようになります。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔05時間外使用パスワード設定〕を順に押します。
2. 画面上のテンキーを使用して4ケタの時間外使用パスワードを入力します。

ひとこと

パスワードを「0000」と設定すると、時間外使用パスワードを入力しなくても、操作パネルの【パワーセーブ】を押すだけで、時間外使用が可能となります。ただし、使用時間（電源が再びオフになるまでの時間）の入力が必要です。
工場出荷時は「0000」に設定されています。

3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

ユーザー認証／部門管理

第7章

設定メニュー画面の06 管理者設定で設定するユーザー認証／部門管理の設定方法を説明します。

06管理者設定>03ユーザー認証／部門管理	7-2
■ 01認証方式>01認証設定	7-3
■ 01認証方式>02部門管理設定	7-5
■ 02部門管理	7-7
■ 03ユーザー認証設定	7-10
■ 04未登録ユーザー／部門出力設定	7-13

06管理者設定>03ユーザー認証／部門管理

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。
ユーザー認証は個人を管理する、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するのに適しています。
ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

ひとこと

- 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計1,000件まで登録できます。
- 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザー認証/部門認証して本機を使用するには、ユーザー名、パスワードなどを入力する必要があります。
- ユーザー認証と部門管理は連動しないで設定することができます。

ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

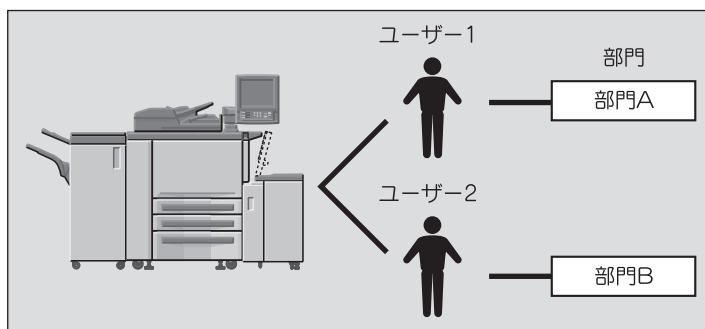
ユーザー認証

- 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャン操作／HDD保存／データ読出し）
- ユーザーごとに出力／読込みのカウントを行う
- 各ユーザーの参照できる宛先の参照許可グループ/レベルの操作をする
- 他のユーザーのジョブを削除禁止する

部門管理

- 部門ごとに出力／読込みのカウントを行う
- グループボックスの操作をする

ユーザー認証と部門管理を連動する場合

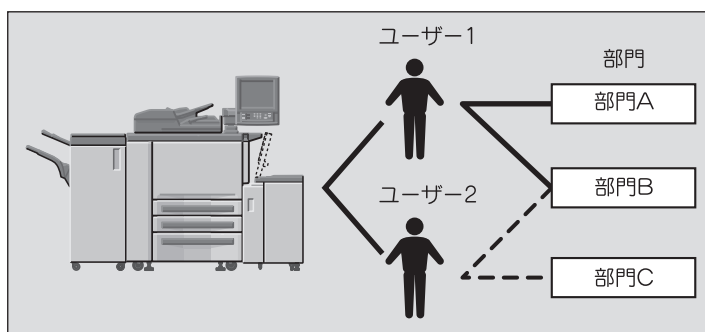


本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[あり]（PSWCの場合〔本体装置確認〕）を選択します。
部門管理	[あり]（PSWCの場合〔管理する〕）を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証/部門認証の連動	[あり]（PSWCの場合〔連動する〕）を選択します。
ユーザー登録/所属部門	ユーザー認証の〔あり〕を選択したときは、所属部門を設定します。

ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に統計をとったり、業務別（部門別）に集計をとることができます。また社員1、社員2で同じ業務をする場合も、社員別（ユーザー別）、業務別（部門別）に集計がとれます。このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[あり]（PSWCの場合〔本体装置確認〕）を選択します。
部門管理	[あり]（PSWCの場合〔管理する〕）を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証／部門認証の連動	[なし]（PSWCの場合〔連動しない〕）を選択します。

■ 01 認証方式>01 認証設定

ユーザー認証と部門管理に関して下記の4要素を組み合わせ、認証時の条件を設定します。

- **ユーザー認証：**
ユーザー名とユーザーパスワードの入力
- **部門認証：**
部門パスワードの入力
- **部門名入力：**
部門名の入力（部門認証をなしにしたときは選択不可）
- **ユーザー認証／部門認証連動：**
ユーザー認証と部門認証を〔あり〕にして、ユーザー認証／部門認証連動を〔あり〕にすると、認証の必要なモードでは、ユーザー認証のみ必要になります。ただし、それ以外の認証は部門認証が必要になります。
- **パスワード入力タイミング：**
認証時のパスワードを入力するタイミングを設定します。
- **部門振分け数：**
部門振分け数で部門認証の数を設定します。1000ある認証の数を部門認証とユーザー認証で振り分けるため、ここで設定した残りの数が、ユーザー認証の数になります。



詳しく説明します

ユーザー認証または部門認証にすべての認証数を振り分けると一方の認証が使用できなくなります。両方使用する場合は任意に振り分けてください。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の「03ユーザー認証／部門管理」、[01 認証方式]、[01 認証設定] を順に押します。
2. 「ユーザー認証」、「部門認証」、「部門名入力」、「ユーザー／部門認証連動」表示右側のそれぞれの「あり」、「なし」を押して選択します。
3. 「パスワード入力タイミング」表示右側の「オートリセット時」または「ジョブ終了時」を押して選択します。
4. 「部門振分け数」を押して、テンキーを表示させます。
画面のテンキーを押して振分け数を入力します。
[OK] を押します。
5. 設定内容を確定するため、[OK] を押します。
確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、認証方式設定メニュー画面にもどります。

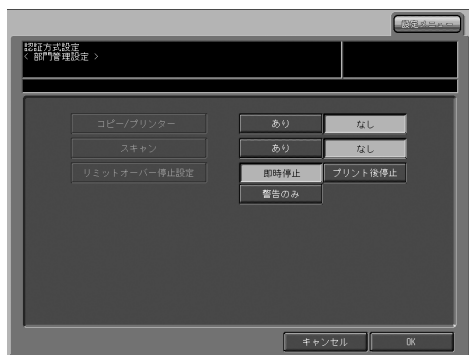
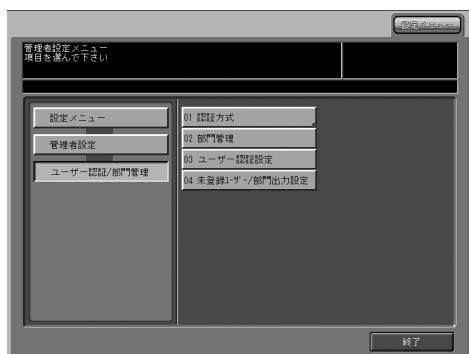
■ 01 認証方式>02 部門管理設定

コピー／プリンターやスキャンジョブを部門管理するかどうか設定します。
また部門管理によるリミットオーバー停止時の機械の対応を設定します。

詳しく説明します

- ・〔01 認証方式〕の設定で部門認証を〔あり〕にしてコピー／プリンターやスキャンを〔なし〕に設定すると、部門パスワードを入力せずに使用可能になります。また、このときのジョブカウントやリミット枚数カウントは中断されます。
- ・リミットオーバー停止設定の〔即時停止〕を選択した場合、リミット枚数に達すると直ちにジョブを停止します。このときのコピー条件、出力データ、スキャンデータなどは保持されません。同じ部門パスワードでジョブを続ける場合は、そのパスワードに設定されているリミット枚数の変更またはカウントリセットをしてください。

〔プリント後停止〕を選択した場合、リミット枚数に達するとそのジョブ終了後に停止します。「リミットをオーバーしました」というメッセージが表示され、動作しなくなります。〔警告のみ〕を選択した場合、リミット枚数に達すると「リミットをオーバーしました」というメッセージが表示されますが、引き続き次のジョブも使用可能です。

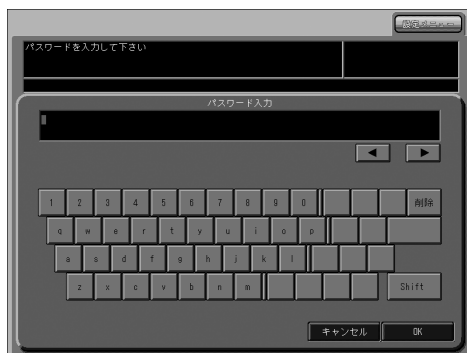
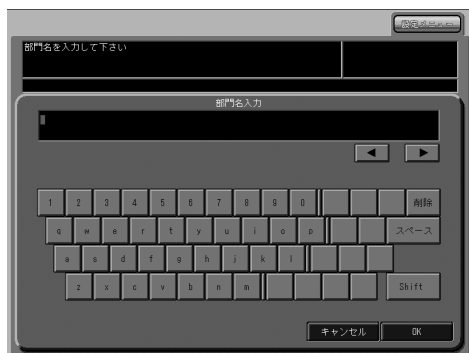
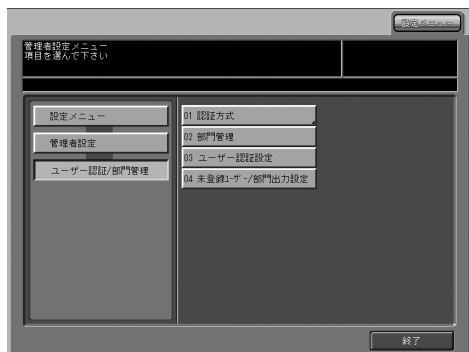


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔01 認証方式〕、〔02 部門管理設定〕を順に押します。
2. 「コピー／プリンター」、「スキャン」表示右側のそれぞれの〔あり〕、〔なし〕を押して選択します。
3. 「リミットオーバー停止設定」表示右側の〔即時停止〕、〔プリント後停止〕または〔警告のみ〕を押して選択します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、認証方式設定メニュー画面にもどります。

■ 02 部門管理

部門ごとに任意のNo. を割り当て、No. ごとに任意の部門名、パスワードおよびリミット値を設定します。登録された部門管理データは画面上でリスト表示されます。リスト上の部門管理データを選択し、データの内容を変更、リセットおよび削除できます。



部門管理設定
部門の追加/編集ができます

No.	部門名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	アルファベット (大文字) (1-5桁)	数字 (大文字) (1-5桁)	リミット
0001	α	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0002	α2		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0003	α3		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0004	1α		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0005	SEC5		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0006	M16	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000500

この部門を削除します

はい いいえ

変更 追加 削除 カウンタークリア

次頁 前頁 一括カウンタークリア 前画面

部門管理設定
部門の追加/編集ができます

No.	部門名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	アルファベット (大文字) (1-5桁)	数字 (大文字) (1-5桁)	リミット
0001	α	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0002	α2		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0003	α3		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0004	1α		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0005	SEC5		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0006	M16	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000500

0001 1
どのカウンターをリセットしますか？

全て 2d-アルファベット/数字のカウンターをリセットします

2d-アルファベット 2d-とアルファベットのカウンターをリセットします

スキャン スキャンカウンターをリセットします

キャンセル リセットせずに終了します

変更 追加 削除 カウンタークリア

次頁 前頁 一括カウンタークリア 前画面

部門管理設定
部門の追加/編集ができます

No.	部門名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	アルファベット (大文字) (1-5桁)	数字 (大文字) (1-5桁)	リミット
0001	α	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0002	α2		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0003	α3		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0004	1α		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0005	SEC5		0000 00000000 00000000	0000 00000000 00000000	00000000 00000500
0006	M16	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000000 00000000 00000000 00000000	00000000 00000500

一括カウンタークリア
どのカウンターをリセットしますか？

全て 2d-アルファベット/数字のカウンターをリセットします

2d-アルファベット 2d-とアルファベットのカウンターをリセットします

スキャン スキャンカウンターをリセットします

キャンセル リセットせずに終了します

変更 追加 削除 カウンタークリア

次頁 前頁 一括カウンタークリア 前画面

手順

1. 管理者設定メニュー画面の「03ユーザー認証／部門管理」、[02部門管理] を順に押します。
2. 部門データの追加、変更、削除、およびカウントのリセット方法については、それぞれ以下の手順に従ってください。

部門データを変更する：

- (1) 画面上の「次頁」、「前頁」を押して、変更したい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 「変更」を押します。部門登録変更画面が表示されます。
- (3) 変更したい項目のボタンを押します。それぞれの入力画面が表示されます。
- (4) 入力画面を使って新しいデータを入力します。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。パスワードは8ケタ、名前は8文字、リミット値は8ケタまで設定できます。
- (5) 入力が終了したら、「OK」を押します。
このとき、変更されたパスワードや名前が重複していると、注意画面が表示されます。重複させる場合は「NO」、させない場合は「YES」を押して別のパスワード／名前を入力します。

部門データを追加する：

- (1) 「追加」を押します。部門登録追加画面が表示されます。
- (2) 「部門 No.」を押して入力画面を表示させ、部門 No. を入力して「OK」を押します。部門 No. は4ケタまで設定できます。
- (3) 「部門名」を押して入力画面を表示させ、部門名を入力して「OK」を押します。部門名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) 「パスワード」を押して入力画面を表示させ、パスワードを入力して「OK」を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) 「リミット」を押して入力画面を表示させ、リミット値を入力して「OK」を押します。リミット値は8ケタまで設定できます。
- (6) 入力が終了したら、「OK」を押します。
- (7) このとき、追加したパスワードや名前が重複していると、注意画面が表示されます。重複させる場合は「NO」、させない場合は「YES」を押して別のパスワード／名前を入力します。

部門データを削除する：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、削除したい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔削除〕を押します。削除確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 削除する場合は〔はい〕、削除しない場合は〔いいえ〕を押します。

部門名のカウントをリセットする：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、カウントリセットしたい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔カウントリセット〕を押します。リセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は〔キャンセル〕を押します。

全カウントをリセットする：

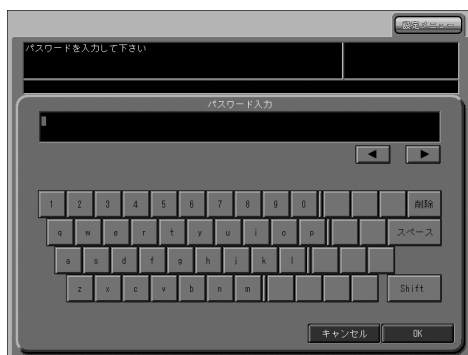
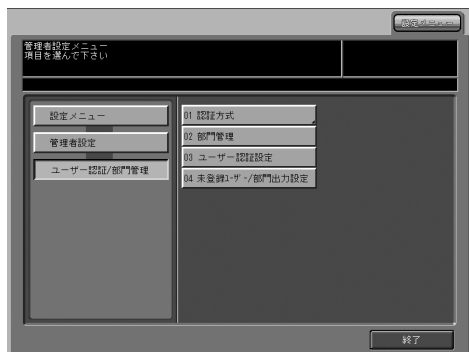
- (1) 〔全カウントリセット〕を押します。全カウントリセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (2) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は〔キャンセル〕を押します。

3. 〔前画面〕を押します。

ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

■ 03ユーザー認証設定

ユーザー一人一人に任意のNo.を割り当て、No.ごとにユーザー名、パスワードおよびリミット値を設定します。登録されたユーザーデータは画面上でリスト表示されます。リスト上のユーザー登録を選択し、データの内容を変更、リセットおよび削除できます。



No.	No.	No.
0001 BT1K1G	0007 BT1K2G	0013 EFGH
0002 BT1K2G	0008 BT1K1G	0014 JKLMN
0003 BT1K3G	0009 BT1K2G	0015 OPQ
0004 BT1K4G	0010 BT1K3G	0016 RSTU
0005 BT1K1G	0011 BT1K4G	0017 VWXYZ
0006 BT1K2G	0012 ABCD	0018 AAAA

No.	ユーザー名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	プリンター (大文字) (1-3桁)	スキャナー (大文字) (1-5桁)
0001	山口	00000000	00000002	00000000
0002	55	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0003	kuro	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0004	a	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0005	45	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0006	u	00000003 00000110 00000003 00000000 00000000 00000000		

No.	ユーザー名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	プリンター (大文字) (1-3桁)	スキャナー (大文字) (1-5桁)
0001	山口	00000000	00000002	00000000
0002	55	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0003	kuro	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0004	a	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0005	45	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0006	u	00000003 00000110 00000003 00000000 00000000 00000000		

No.	ユーザー名	コピーカウンター (大文字) (1-5桁)	プリンター (大文字) (1-3桁)	スキャナー (大文字) (1-5桁)
0001	山口	00000000	00000002	00000000
0002	55	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0003	kuro	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0004	a	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0005	45	0000 00000000	0000 00000000	0000 00000000
0006	u	00000003 00000110 00000003 00000000 00000000 00000000		

手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔03ユーザー認証設定〕を順に押します。
2. ユーザー登録の追加、変更、削除、およびカウントのリセット方法については、それぞれ以下の手順に従ってください。

ユーザー登録を変更する：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、変更したいユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔変更〕を押します。ユーザー登録変更画面が表示されます。
- (3) 〔ユーザー名〕を押してユーザー名入力画面をさせ、変更ユーザー名を入力して〔OK〕を押します。ユーザー名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) 〔パスワード〕を押して入力画面を表示させ、変更パスワードを入力して〔OK〕を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) 〔所属部門〕を押して所属部門選択画面を表示させます。
〔次頁〕、〔前頁〕を押して希望する所属部門名を表示させ、押して選択して〔OK〕を押します。

詳しく説明します

認証方式の「ユーザー認証／部門認証連動」が〔あり〕に設定されているとき、〔所属部門〕を設定することができます。

- (6) 「使用可能な機能」右側のボタンを押して、設定したユーザー登録の認証が必要なジョブを設定します。
- (7) 入力が終了したら、〔OK〕を押します。

ユーザー登録を追加する：

- (1) [追加] を押します。ユーザー登録追加画面が表示されます。
- (2) [ユーザー No.] を押して入力画面を表示させ、ユーザー No. を入力して [OK] を押します。ユーザー No. は4ケタまで設定できます。
- (3) [ユーザー名] を押して入力画面を表示させ、ユーザー名を入力して [OK] を押します。ユーザー名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) [パスワード] を押して入力画面を表示させ、パスワードを入力して [OK] を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) [所属部門] を押して所属部門選択画面を表示させます。
[次頁]、[前頁] を押して希望する所属部門名を表示させ、押して選択して [OK] を押します。

**詳しく説明します**

認証方式の「ユーザー認証／部門認証連動」が〔あり〕に設定されているとき、[所属部門] を設定することができます。

- (6) 「使用可能な機能」右側のボタンを押して、設定したユーザー登録の認証が必要なジョブを設定します。
- (7) 入力が終了したら、[OK] を押します。

ユーザー登録を削除する：

- (1) 画面上の [次頁]、[前頁] を押して、削除したい ユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) [削除] を押します。削除確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 削除する場合は [はい]、削除しない場合は [いいえ] を押します。

ユーザー名のカウントをリセットする：

- (1) 画面上の [次頁]、[前頁] を押して、カウントリセットしたいユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) [カウントリセット] を押します。リセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は [キャンセル] を押します。

全カウントをリセットする：

- (1) [全カウントリセット] を押します。全カウントリセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (2) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は [キャンセル] を押します。

3. 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー認証設定画面にもどります。

4. [前画面] を押します。管理者設定メニュー画面にもどります。

■ 04 未登録ユーザー／部門出力設定

未登録のユーザーや部門の出力設定を制限する、しないの設定をします。
オンにしたとき、ユーザー認証／部門認証なしの状態でのジョブは、初期状態の出力設定以外の設定ができなくなります。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔04未登録ユーザー／部門出力設定〕を順に押します。
2. 機能させるときは〔ON〕、させないときは〔OFF〕を押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、管理者設定メニュー画面にもどります。

第8章 ネットワーク設定

設定メニュー画面の06管理者設定で設定するネットワーク設定の設定方法を説明します。

06管理者設定>04ネットワーク設定	8-2
■ 01本体NIC設定>01 TCP/IP設定	8-2
■ 02コントローラー NIC設定	8-3

06管理者設定>04ネットワーク設定

■ 01 本体NIC設定 > 01 TCP/IP 設定

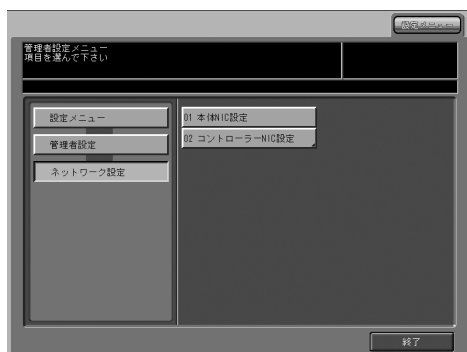
本体のIPアドレスや回線速度の設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04 ネットワーク設定〕、〔01 本体NIC設定〕、〔01 TCP/IP設定〕を順に押します。
2. 各項目を入力します。
数値を入力する場合、画面上のテンキーで入力します。〔設定〕を押すと、次に入力できる部分が反転します。同様に入力します。
 - IPアドレス
本体のIPアドレスを入力します。
 - サブネットマスク
サブネットマスクを入力します。
 - ゲートウェイアドレス
ゲートウェイアドレスを入力します。
 - IPアドレス(相手機)
タンデム接続時、相手機のIPアドレスを入力します。
 - 回線速度設定
ネットワークの回線速度を設定します。任意の回線速度を選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、本体NIC設定メニュー画面にもどります。

■ 02コントローラー NIC設定



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04ネットワーク設定〕、〔02コントローラー NIC 設定〕を順に押します。
2. 各項目のボタンの設定を行います。
各項目の内容に関しては「ネットワーク設定一覧」をごらんください。



〔コントローラー NIC 設定〕内で設定変更した場合に、「主電源の OFF/ON 後、設定が反映されます」と表示された場合は、必ず本体の主電源を入れなおしてください。

3. 設定内容を確定するため、各画面の〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれもコントローラー NIC 設定メニュー画面にもどります。

ネットワーク設定一覧

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
01 TCP/IP 設定	
< TCP/IP 設定 >	
TCP/IP 設定	有効／無効
IP 確定方法	直接指定／自動設定 *1
自動設定	
DHCP 設定	有効／無効
BOOTP 設定	有効／無効
ARP/PING 設定	有効／無効
AUTO IP 設定	有効／無効
直接指定	
IP アドレス	0.0.0.0 (0 ~ 255)
サブネットマスク	0.0.0.0 (0 ~ 255)
デフォルトゲートウェイ	<u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255)
IPv6 設定	
IPv6 設定	有効／無効 *2
IPv6 自動設定	有効／無効 *3
グローバルアドレス	0000:0000:0000:0000:0000: 0000:0000:0000 (1-39 byte) *4
プレフィックスレンジ	1 ~ 128 (0)
リンクローカルアドレス	fe80: XXXX*5
ゲートウェイアドレス	0000:0000:0000:0000:0000: 0000:0000:0000 (1-39 byte) *6
DNS サーバー設定	
DNS サーバー自動取得	有効／無効
優先 DNS サーバー	IPv4 / IPv6 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
代替 DNS サーバー 1	IPv4 / IPv6 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
代替 DNS サーバー 2	IPv4 / IPv6 <u>0: 0: 0: 0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
Dynamic DNS 設定	有効／無効
ホスト名	KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
DNS ドメイン名設定		
DNS ドメイン名自動取得		有効／無効
DNS デフォルトドメイン名		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 1		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 2		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 3		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
RAW ポート番号		
RAW1 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9100</u>) 有効／無効 *8
RAW2 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9112</u>) 有効／無効 *8
RAW3 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9113</u>) 有効／無効 *8
RAW4 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9114</u>) 有効／無効 *8
RAW5 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9115</u>) 有効／無効 *8
RAW6 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9116</u>) 有効／無効 *8
IP フィルタリング		
許可設定		有効／無効 範囲 1: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)*9 範囲 2: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 3: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 4: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 5: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)
拒否設定		有効／無効 範囲 1: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)*9 範囲 2: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 3: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 4: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 5: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)
IPsec 設定		許可／ <u>禁止</u>
IPsec 設定 /IKE 設定		
グループ 1 ～グループ 4 暗号化アルゴリズム		DES CBC / 3DES CBC / 無効
グループ 1 ～グループ 4 認証アルゴリズム		MD5 / SHA-1 / 無効

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
鍵有効時間		80 ～ 604800 (<u>28800</u>) (秒)
Diffie-Hellman Group		グループ 1 / <u>グループ 2</u>
IPsec 設定 / IPsec SA 設定		
グループ 1 ～グループ 8 セキュリティプロトコル		AH / ESP / <u>ESP AH</u> / 無効 ^{*12}
グループ 1 ～グループ 8 ESP 暗号化アルゴリズム		DES CBC / 3DES CBC / AES CBC / NULL / 無効
グループ 1 ～グループ 8 ESP 認証アルゴリズム		MD5/SHA-1/ 無効
グループ 1 ～グループ 8 AH 認証アルゴリズム		MD5/SHA-1/ 無効
確立後の破棄時間		120 ～ 604800 (<u>3600</u>) (秒)
IPsec 設定 / 通信相手先登録		
グループ 1 ～グループ 10 カプセル化モード		トンネルモード / トランスポート / 無効 ^{*12}
グループ 1 ～グループ 10 IP アドレス		IPv4 / IPv6 0.0.0.0 (0 ～ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
グループ 1 ～グループ 10 Pre-Shared Key 文字列		記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
グループ 1 ～グループ 10 Perfect Forward Secrecy		有効 / 無効
02 NetWare 設定		
< Netware プリント設定 >		
IPX 設定		有効 / 無効
イーサネットフレームタイプ		<u>自動検出</u> / 802.2 / 802.3 / EthernetII / 802.3SNAP
Netware プリントモード		<u>無効</u> / Pserver / Nprinter / Rprinter
Nprinter/Rprinter 設定		
プリントサーバー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター番号		0 ～ 255 (<u>255</u>)
Pserver 設定		
プリントサーバー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリントサーバーパスワード		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
ポーリング間隔		1 ～ 65535 (1) (秒)
Bindery/NDS 設定		<u>NDS</u> / Bindery / NDS
ファイルサーバー名		記号および英数字を最大 47 字まで使用可。
NDS コンテキスト名		記号および英数字を最大 191 字まで使用可。
NDS ツリー名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
03 HTTP サーバー設定		
< HTTP サーバー設定 >		
HTTP サーバー設定		有効／無効
PSWC 設定		有効／無効
IPP 設定		
IPP 設定		有効／無効
IPP ジョブ受付		有効／無効
< HTTP サーバー設定 /IPP 設定 >		
オペレーションサポート番号		
印刷ジョブ		有効／無効 *8
有効ジョブ		有効／無効 *8
キャンセルジョブ		有効／無効 *8
ジョブ属性取得		有効／無効 *8
ジョブ取得		有効／無効 *8
プリンター属性取得		有効／無効 *8
プリンター関連情報		
プリンター名		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター設置場所		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター情報		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター URI		変更不可
IPP 認証情報		
IPP 認証設定		有効／無効
認証方式		<u>requesting-user-name</u> ／basic／digest
ユーザー名		<u>user</u> 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。
パスワード		<u>pass</u> 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。
realm		<u>IPP</u> 記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
04 FTP 設定		
< FTP 設定 >		
FTP 送信設定		
FTP 送信設定		有効／無効
プロキシサーバーアドレス		IPv4 / IPv6 / ホスト名 IPv4 0.0.0.0 (0～255) IPv6 0:0:0:0:0:0:0:0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	プロキシサーバーポート番号	1 ～ 65535 (<u>21</u>)
	PASV モード	有効／無効
	接続タイムアウト	5 ～ 300 (<u>60</u>) (秒)
	ポート番号	1 ～ 65535 (<u>21</u>)
	FTP サーバー設定	有効／無効
05 SNMP 設定		
< SNMP 設定 >		
	SNMP 設定	
	SNMP 設定	有効／無効
	SNMPv1/v2c (IP)	有効／無効 *8
	SNMPv3 (IP)	有効／無効 *8
	SNMPv1 (IPX)	有効／無効 *8
	UDP ポート番号	
	SNMP 設定 /SNMPv1/v2c 設定	1 ～ 65535 (<u>161</u>)
< SNMP 設定 /SNMPv1/v2c 設定 >		
	Read Community Name 設定	
	Read Community Name	<u>public</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	Write Community Name 設定	
	Write 許可設定	許可／禁止 *8
	Write Community Name	<u>private</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 >		
	Context Name 設定	
	Context Name	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	Discovery User Name 設定	
	Discovery User 許可設定	許可／禁止 *8
	Discovery User Name	<u>public</u> 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 *11
	Read User Name 設定	
	Read User Name	記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 *11
	Security Level	認証しない／ auth-password ／ auth-password/priv-password
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 /Read user Name 設定 >		
	パスワード設定	
	Read User auth-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。
	Read User priv-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 /Write User Name 設定 >		
Write User auth-Password	Write User Name	restrict 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。
	Security Level	認証しない / auth-password / auth-password/priv-password* ¹¹
	パスワード設定	
	Write User auth-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。MAC アドレス（：は除く）
	Write User priv-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。MAC アドレス（：は除く）
< SNMP 設定 >		
TRAP 許可設定	TRAP 許可設定	許可 / 禁止
	認証失敗時の TRAP 設定	有効 / 無効
06 SMB 設定		
< SMB 設定 >		
SMB 設定	SMB 送信設定	有効 / 無効
	NTLM 設定	NTLMv1 / NTLMv2 / NTLMv1/ NTLMv2
	プリント設定	
	プリント設定	有効 / 無効
	NetBIOS 名	KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
プリントサービス名	プリントサービス名	PRO_950 記号および英数字を最大 12 字まで使用可。
	ワークグループ	WORKGROUP 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SMB 設定 /WINS 設定 >		
WINS 設定	WINS 設定	許可 / 禁止
	WINS 自動取得設定	許可 / 禁止
	WINS サーバーアドレス	
	WINS サーバーアドレス 1	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	WINS サーバーアドレス 2	0.0.0.0 (0 ~ 255)
ノードタイプ設定	ノードタイプ設定	B ノード / P ノード / M ノード / H ノード

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
07 AppleTalk 設定		
< AppleTalk 設定 >		
AppleTalk 設定		
AppleTalk 設定		許可／ <u>禁止</u>
プリンター名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
ゾーン名		<u>*</u> 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
現在のゾーン		<u>変更不可</u>
08 Bonjour 設定		
< Bonjour 設定 >		
Bonjour 設定		
Bonjour 設定		許可／ <u>禁止</u>
Bonjour 名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
09 E-mail 設定		
< E-mail 設定 >		
SMTP 設定		
SMTP 設定		<u>有効</u> ／無効
SMTP サーバーアドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
SSL 設定		<u>有効</u> ／無効
ポート番号		1 ~ 65535 (<u>25</u>)
ポート番号 (SSL)		1 ~ 65535 (<u>465</u>)
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/ 240/270/300 (秒)
バイナリー分割		<u>有効</u> ／無効
分割メールサイズ		100 ~ 15000 (<u>500</u>) (step: 100) (K byte)
サーバー容量		0 ~ 100 (M byte) (<u>Q</u>) 0 を指定すると無制限になります。
認証設定		
POP Before SMTP		<u>有効</u> ／無効 (秒)
SMTP 認証		
POP Before SMTP 時間		
POP Before SMTP 時間		0 ~ 60 (<u>Q</u>)
SMTP 認証設定		
ユーザー ID		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 128 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
	realm	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
POP 設定		
	POP サーバアドレス	IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ログイン名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	APOP 認証	有効/無効
	SSL 設定	有効/無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>110</u>)
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (<u>995</u>)
	接続タイムアウト	30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/ 240/270/300 (秒)
< E-mail 件名登録 >		
	E-mail デフォルト選択	
	登録 No.1 ~ 登録 No.5 のタイトル	<u>登録 No.1</u> 記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
< E-mail 本文登録 >		
	E-mail デフォルト選択	
	登録 No.1 ~ 登録 No.5 の本文	<u>登録 No.1</u> 記号および英数字を最大 256 字まで使用可。
10 TCP Socket 設定		
< TCP Socket 設定 >		
	TCP Socket 設定	
	TCP Socket 設定	有効/無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>59158</u>)
	SSL 設定	有効/無効
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (<u>59159</u>)
	TCP Socket (ASCII Mode)	
	TCP Socket (ASCII Mode)	有効/無効
	ポート番号 (ASCII Mode)	1024 ~ 65535 (<u>59160</u>)
11 CSRC 設定		
< CSRC 送信設定 >		
	CSRC 送信設定	有効/無効
	SMTP サーバアドレス	IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>25</u>)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
管理者 From アドレス		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/240/270/300（秒）
認証設定		
POP Before SMTP		有効／無効
認証設定		有効／無効
POP Before SMTP 時間		0 ～ 60 (<u>0</u>)（秒）
SMTP 認証設定		
ユーザー ID		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 128 字まで使用可。
realm		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
< CSRC 受信設定 >		
CSRC 受信設定		
CSRC 受信設定		有効／無効
POP サーバーアドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ～ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
ログイン名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
APOP 認証		有効／無効
ポート番号		1 ～ 65535 (<u>110</u>)
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/240/270/300（秒）
自動到着チェック		有効／無効
ポーリング間隔		1 ～ 60 (<u>15</u>)（分）
CSRC 通信テスト		スタート
12 OpenAPI 設定		
< OpenAPI 設定 >		
OpenAPI 設定		有効／無効
SSL 設定		有効／無効
認証設定		
認証設定		有効／無効
ログイン名		記号および英数字を最大8字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大8字まで使用可。
ポート番号		1 ～ 65535 (<u>50001</u>)
ポート番号 (SSL)		1 ～ 65535 (<u>50003</u>)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
13 Web サービス設定		
< Web サービス設定 >		
Web サービス設定		
Friendly Name		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 62 字まで使用可。
SSL 設定		有効 / 無効
プリント設定		
プリント設定		有効 / 無効
プリンター名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャン設定		
スキャン設定		有効 / 無効
スキャナー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
14 JSP 設定		
< JSP 設定 >		
JSP 設定		有効 / 無効
SSL 設定		有効 / 無効
認証設定		
認証設定		有効 / 無効
ログイン名		Unknown 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
パスワード		changeit 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
ポート番号		30081 ~ 30090 (<u>30081</u>)
ポート番号 (SSL)		30081 ~ 30090 (<u>30082</u>)
15 LDAP 設定		
< LDAP 設定 >		
LDAP 使用設定		
LDAP 設定		有効 / 無効
検索最大表示件数		5 ~ 100 (<u>100</u>)
接続タイムアウト		5 ~ 300 (<u>60</u>) (秒)
詳細検索初期設定 名前		含む / 同じ / 始まる / 終わる
詳細検索初期設定 E-mail		含む / 同じ / 始まる / 終わる

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	詳細検索初期設定 姓	含む／同じ／始まる／終わる
	詳細検索初期設定 名	含む／同じ／始まる／終わる
LDAP サーバー登録		
	LDAP サーバーアドレス	IPv4 0.0.0.0 (0～255) IPv6 0:0:0:0:0:0:0:0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	検索ベース	記号および英数字を最大 255 字まで 使用可。
	SSL 設定	有効／無効
	ポート番号	1～65536 (<u>389</u>)
	ポート番号 (SSL)	1～65536 (<u>636</u>)
	認証方式	<u>Anonymous</u> / Simple / Digest- MD5 / GSS-SPNEGO / NTML v1 / NTML v2
	サーバー認証方式選択	<u>設定値</u> / Dynamic 認証
	ログイン名	記号および英数字を最大 255 字まで 使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 128 字まで 使用可。
	ドメイン名	記号および英数字を最大 64 字まで使 用可。
	Referral 設定	使用する／使用しない
	接続確認	
16 詳細設定		
< 詳細設定 >		
	デバイス設定	
	MAC アドレス	
	ネットワーク速度	<u>自動設定</u> / 10Mbps 半二重 / 10Mbps 全二重 / 100Mbps 半 二重 / 100Mbps 全二重
< 詳細設定 / 時刻補正設定 >		
	NTP 設定	有効／無効
	NTP サーバー設定	
	NTP サーバーアドレス	IPv4 <u>0.0.0.0</u> (0～255) IPv6 0:0:0:0:0:0:0:0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ポート番号	1～65535 (<u>123</u>)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
< 詳細設定 / 状態通知設定 / アラート E-mail >		
アラート E-mail 設定		有効／無効
通知先 E-mail アドレス		記号および英数字を最大 250 字まで使用可。
通知内容		サービスコール／ジャム発生／トレイ紙補給／トナー補給／PMコール／ステابل針補給／フィニッシャー積載オーバー／パンチくず除去／断裁くず除去／全項目解除
< 詳細設定 / 状態通知設定 / SNMP Trap >		
通知先設定 1 ～ 5		
通知先設定		有効／無効
通知先アドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ～ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。
通知先ポート番号		1 ～ 65535 (162)
通知先コミュニティ名		public 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
通知内容		サービスコール／ジャム発生／トレイ紙補給／トナー補給／PMコール／ステابل針補給／フィニッシャー積載オーバー／パンチくず除去／断裁くず除去／全項目解除
通知先設定		有効／無効
通知先 IPX ネットワークアドレス		0.0.0.0 (0 ～ 255)
通知先 IPX ノードアドレス		0: 0: 0: 0: 0: 0
通知先 IPX コミュニティ名		public 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
通知内容		サービスコール／ジャム発生／トレイ紙補給／トナー補給／PMコール／ステابل針補給／フィニッシャー積載オーバー／パンチくず除去／断裁くず除去／全項目解除
PING 応答確認		
PING 送信アドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ～ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
接続確認実行		スタート
LPD 設定		有効／無効
SLP 設定		有効／無効
証明書無効時設定		ジョブを削除／ジョブを継続
ネットワーク設定クリア		スタート

- *1: 「自動設定」にすると「DHCP設定」、「BOOTP設定」、「ARP/PING設定」、「AUTO IP設定」の設定が可能になります。なお、「自動設定」の状態から「直接設定」に変更して確定したとき、「DHCP設定」、「BOOTP設定」の設定値は無効になります。また「直接設定」の状態から「自動設定」に変更して確定したとき、「DHCP設定」、「BOOTP設定」、「ARP/PING設定」、「AUTO IP設定」の設定値は有効になります。
- *2: 「IPv6 設定」を「無効」にすると、「IPv6 自動設定」を「有効」にしても機能しません。PSWCでは、「IPv6自動設定」のプルダウンメニューがグレイアウトします。
- *3: 「IPv6 自動設定」を「無効」にすると、設定した「グローバルアドレス」「プレフィックスレンジス」「ゲートウェイアドレス」が変更可能になります。
- *4: fe80:: ~ febf:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff および
ff00:: ~ ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff の範囲は設定できません。
- *5: XXXXは、MACアドレスから算出されます。
- *6: fe80:0:0:0:: ~ fe80:0:0:0:ffff:ffff:ffff:ffff の範囲のみ設定できません。
- *7: ピリオドを区切った文字数は最大63字までです。この文字列をピリオドを使って複数連結して最大251字（ホスト名を含めて253字）まで入力可能になります。
- *8: PSWCの場合、✓を入れると有効、外すと無効となります。
- *9: 1つのIPアドレスのみ許可/拒否する方法は3つあります。
 (例) 192.168.11.22を1つだけ許可/拒否する場合
 192.168.11.22 - 0.0.0.0 と入力します。
 0.0.0.0 - 192.168.11.22 と入力します。
 192.168.11.22 - 192.168.11.22 と入力します。
- *10: 「セキュリティープロトコル」「ESP 暗号化アルゴリズム」「ESP 認証アルゴリズム」「AH 認証アルゴリズム」の各設定の組み合わせによっては、設定できないことがあります。
 PSWCで設定している場合、組合せ禁止警告のメッセージが表示されます。
 PSWCでエラーを確認した場合、メッセージが表示されます。
- *11: 「Discovery User Name」は「Read User Name」または「Write User Name」と同じ文字列では設定できません。
- *12: ESP AH設定でのトンネルモードはサポートしていません。

第9章 セキュリティ設定

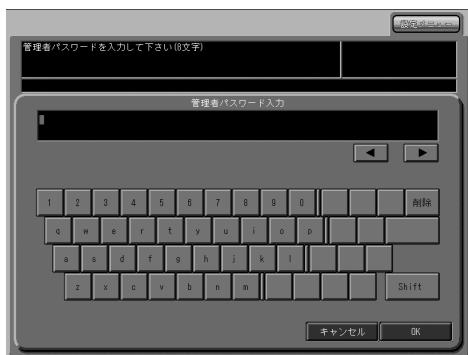
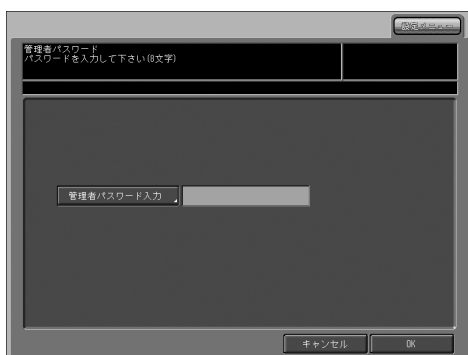
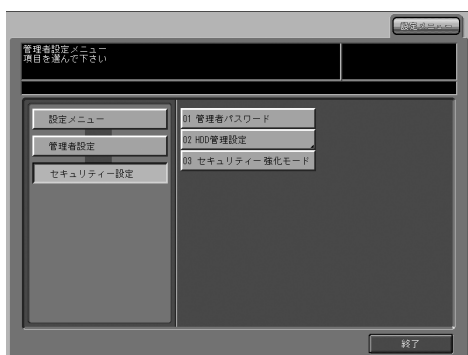
設定メニュー画面の06 管理者設定を設定する
セキュリティ設定の設定方法を説明します。

06管理者設定>07セキュリティ設定	9-2
■ 01管理者パスワード.....	9-2
■ 02HDD管理設定>01フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
■ 02HDD管理設定>02 HDD保存データ自動削除期間設定.....	9-5
■ 02HDD管理設定>03 HDDロックパスワード変更	9-6
■ 02HDD管理設定>04一時データ上書き削除	9-7
■ 02 HDD管理設定>05全データ上書き削除	9-8
■ 03セキュリティ強化モード	9-9

06管理者設定>07セキュリティー設定

■ 01 管理者パスワード

新しい管理者パスワードを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔01 管理者パスワード〕を順に押します。
2. 〔管理者パスワード入力〕を押して、管理者パスワード入力画面を表示させます。
3. 新しいパスワードを入力します。
4. 〔OK〕を押します。
5. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、セキュリティー設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD管理設定>01フォルダー・ボックス詳細／削除

個人、共有または機密フォルダーに画像を保存するとき、ユーザーは任意のフォルダーやボックスを作ることができます。管理者はユーザーが作ったフォルダーやボックスの名前／パスワード／No.／作成日時を閲覧し、必要に応じてそのフォルダーやボックスを削除することができます。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD 管理設定〕、〔01 フォルダ・ボックス詳細／削除〕を順に押します。フォルダ・ボックス詳細／削除画面が表示されます。
2. フォルダやボックスの詳細情報を閲覧します。
 - (1) 〔個人フォルダー〕、〔共有フォルダー〕または〔機密フォルダー〕を押して、閲覧したいフォルダ／ボックスが入っているフォルダの種類を選択します。
 - (2) 閲覧したいフォルダボタンを押して反転させます。
 ボックスの情報を閲覧する場合は、閲覧したいボックスが入っているフォルダボタンを押し、そのボックスボタンを押して反転させます。
 閲覧したいフォルダやボックスボタンが表示されていない場合は、右側の〔▲〕〔▼〕を押して表示させます。
 - (3) 画面上部に閲覧したいフォルダ名／ボックス名が表示されているのを確認します。
 - (4) 〔詳細〕を押します。詳細情報が表示されます。
 - (5) 〔前画面〕を押します。フォルダ・ボックス詳細／削除画面にもどります。
3. フォルダやボックスの詳細情報を削除します。
 - (1) 3項の(1)、(2)の手順に従って削除したいフォルダまたはボックスを選択します。
 - (2) 画面上部に削除指定フォルダ／ボックス名が表示されているのを確認します。
 - (3) 〔削除〕を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。
 - (4) 削除する場合は〔はい〕、削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
 確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>02 HDD 保存データ自動削除期間設定

保存期間 12 時間（12 時間／1 日間／2 日間／3 日間／7 日間／30 日間）が経過すると、HDD に保存した画像を自動的に削除するように設定します。初期設定では「削除しない」になっています。



手順

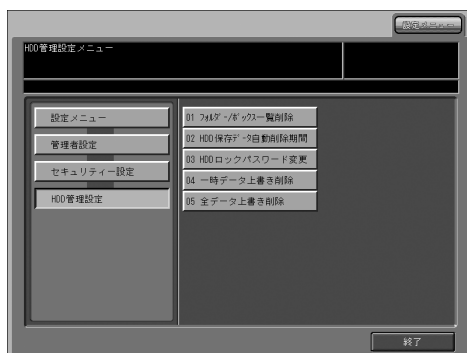
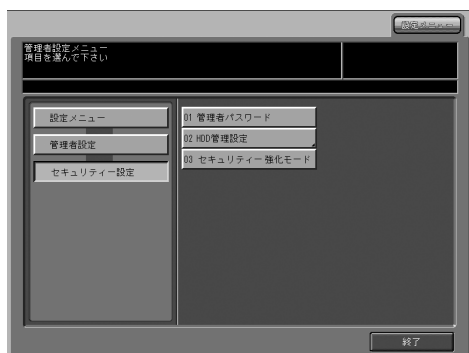
1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD 管理設定〕、〔02 HDD 保存データ自動削除期間設定〕を順に押します。
2. 任意の自動削除期間ボタンを押して反転させます。
自動削除期間を設定しない場合は〔削除しない〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>03 HDD ロックパスワード変更

HDDロックパスワードを変更します。

ひとこと

セキュリティー強化モードがオンに設定されていないと、HDDロックパスワード変更は、できません。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD管理設定〕〔03 HDDロックパスワード変更〕を順に押します。
2. 〔現パスワード〕を押して、パスワード入力画面を表示させます。現パスワードを入力して〔OK〕を押します。
3. 〔新パスワード〕を押して、パスワード入力画面を表示させます。新パスワードを入力して〔OK〕を押します。
〔確認入力〕を押して、同様に新パスワードを入力して〔OK〕を押します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>04一時データ上書き削除

HDDやDRAMに一時的に保存するドキュメントデータを再利用できないように消去するかしないかを選択します。消去する場合、そのレベルを2つのうちから1つ選択します。

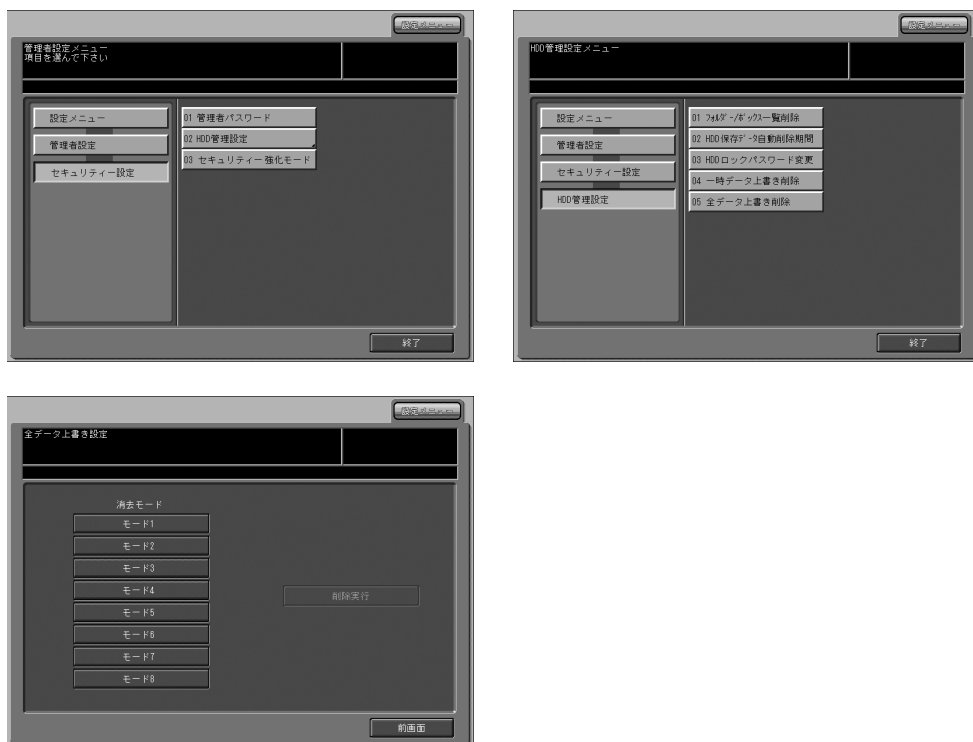


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティ設定〕、〔02 HDD管理設定〕、〔04一時データ上書き削除〕を順に押します。
2. 設定の有無の〔しない〕または〔する〕を押して選択します。
消去モードは2種類あります。〔する〕を選択したとき、選択した〔モード1〕または〔モード2〕が機能します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、セキュリティ設定メニュー画面にもどります。

■ 02 HDD管理設定>05全データ上書き削除

HDDに保存されているドキュメントデータを全て消去します。そのとき、消去レベルを8つのうちから1つを選択します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティ設定〕、〔02 HDD管理設定〕、〔05全データ上書き削除〕を順に押します。
2. 消去モードを選択し、〔削除実行〕を押します。
3. 〔前画面〕を押します。HDD管理設定メニュー画面にもどります。

■ 03 セキュリティー強化モード

セキュリティ強化モードのオン/オフを設定します。

ひとこと

セキュリティ強化モードをオンにするためには、サービスによって機械にCE 認証パスワードおよび管理者パスワードが設定されている必要があります。

セキュリティ強化モードにすると、さまざまなセキュリティ機能設定が連動して切換えられ、スキャンされたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザーの操作には制限がかかり、パブリックユーザーの使用を禁止したり、ボックス操作が制限されたりします。

セキュリティ強化モードをオンにするには、あらかじめ必要な機能設定や強制的に切換えられる機能設定があります。セキュリティ強化モードをオンにする前に、各セキュリティ機能の設定を確認しておく必要があります。



必ず守ってください

セキュリティ強化モードに適合しない機能設定がある場合、セキュリティ強化モードを〔ON〕にすることができません。



詳しく説明します

- セキュリティー強化モードを適用するには、必要な条件があります。詳しくは、サービスにお問い合わせください。
- セキュリティー強化モードを〔ON〕にすると、必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

< 必要な設定 >

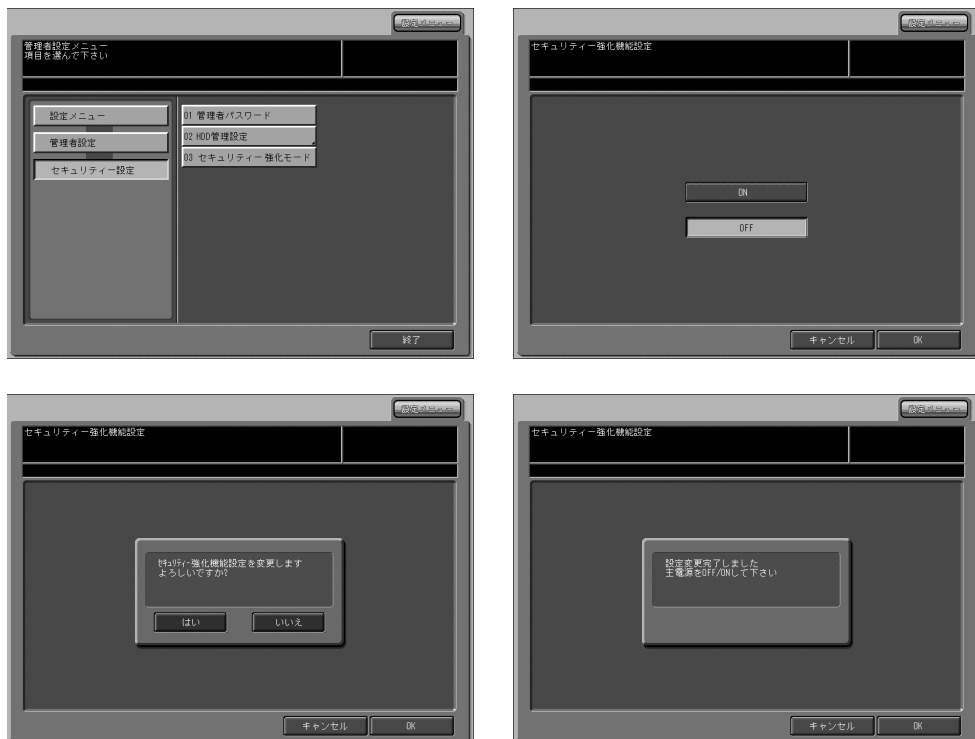
セキュリティ強化モードをオンにするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証/部門管理	〔あり〕を選択します。
OpenAPI設定/SSL使用	ボタンが表示された状態にします。
セキュリティ設定/管理者パスワード	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
セキュリティ設定/HDD 管理設定/HDDロックパスワード	HDDロックパスワードを設定します。
セキュリティ設定/セキュリティ詳細/認証操作禁止機能	5分以上に設定します。



詳しく説明します

SSL 使用はPageScope Web Connectionで証明書が登録済の場合に表示されます。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティ設定〕、〔03 セキュリティ強化モード〕を順に押します。
2. セキュリティ強化モードにする場合は〔ON〕、しない場合は〔OFF〕を押して反転させます。
3. 画面右下の〔OK〕を押します。設定確認のポップアップ画面が表示されます。
4. 設定を確定するため、〔はい〕を押します。機械電源をオフ/オンします。
確定しない場合は〔いいえ〕を押します。画面右下の〔キャンセル〕を押してセキュリティ設定メニュー画面にもどします。

Web Utilities で設定できる管理者設定やリモートパネル設定、画像データや設定データの管理のしかた、本体の出力履歴の表示方法について説明します。

Web Utilities について	10-2
部門管理データの編集	10-3
■ 部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3
■ 登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定	10-11
ネットワークスキャナーの設定	10-14
設定データを転送する	10-19
ボックスの編集	10-25
ジョブ履歴を表示する	10-29
■ ジョブ履歴機能をオン/オフする	10-29
■ ジョブ履歴一覧を表示する	10-31

Web Utilitiesについて

本機がネットワークでPCとつながっているとき、PCのブラウザを使って下記の項目の操作ができます。

1 部門管理データ編集

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定をPC上で行います。

2 リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

ブラウザを使って本機を操作したり、本機の状態を監視します。

3 ネットワークスキャナー設定

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録をPC上で行います。

4 設定データのインポート/エクスポート

ブラウザを使って本機にある設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

5 ボックス編集

ブラウザを使って、本体のHDDに作成保存されたボックスやファイルの名前を変更したり、ファイルの先頭ページのサムネイルを表示します。

6 ジョブ履歴一覧

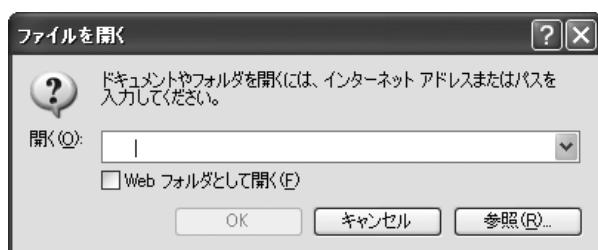
ブラウザを使って、本体の出力履歴を表示します。

対応ブラウザについては、p. 11-2をごらんください。

下記の手順に従って、ブラウザで本機のWeb Utilitiesのメインページ画面を表示します。

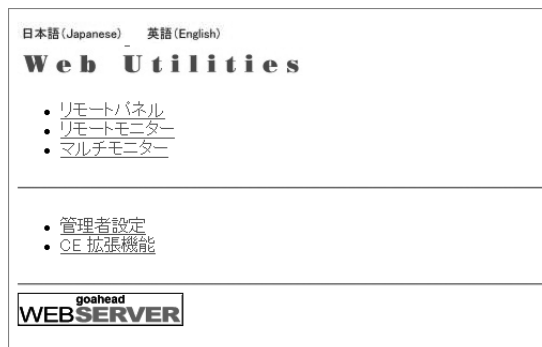
1 本機とネットワークでつながっている PC を起動させます。

2 ブラウザを開き、ファイルメニューの「開く」を選択します。



3 http://本機のIPアドレスまたはホスト名を入力して、「OK」キーをクリックします。

本機のWeb Utilitiesのメインページ画面が表示されます。



詳しく説明します

ネットワーク接続に関しては、ネットワーク管理者にお尋ねください。

詳しく説明します

本機のIP アドレスやホスト名は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

詳しく説明します

改良のためWeb Utilities 画面の構成を予告なく変更することがあります。

■ 部門管理データをブラウザで新規登録する

ブラウザを使って下記管理者設定の部門管理設定をPCから行います。

- **部門管理データ登録**
パスワード、名前、リミット値を新規登録します。
- **登録済み部門管理データの編集**
部門管理データ（パスワード、名前、リミット値）を変更/削除したり、枚数カウントをリセットします。

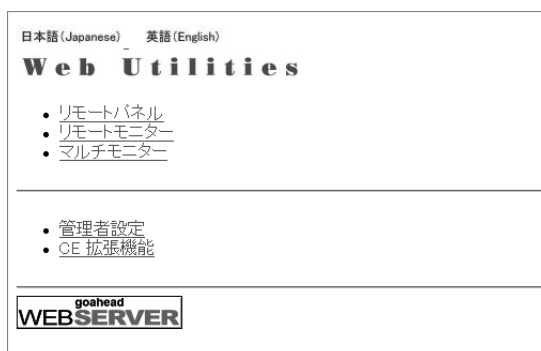


- 本機能は本機が以下の設定になっている場合のみ利用可能です。
- 認証データの振り分けが1,000件全て部門認証に割り当てられている。
 - 部門認証を「あり」に設定している。
 - ユーザー認証データが1件も登録されていない。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

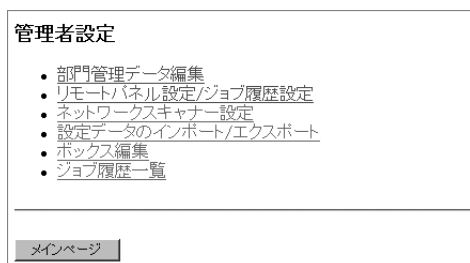
2 [管理者設定] をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して[OK] をクリックします。
管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 [部門管理データ編集] をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。



- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

5 「部門管理データ追加」をクリックします。

部門管理データ編集

・ 部門管理データ追加
・ 部門管理データ一覧

管理者設定メニュー

メインページ

部門管理データ登録画面が表示されます。

6 新規に部門管理データを入力します。

部門名： 最大8文字（半角英数字のみ）
パスワード： 最大8文字（半角英数字のみ）
リミット値： 0～99,999,999（半角数字のみ）

部門管理データ登録

※ 欄は自動で入力されます

部門名		(最大8文字 (ABC, abc, 123, 3のみ使用可))
パスワード		(最大8文字 (ABC, abc, 123, 3のみ使用可))
リミット値	0	(最大99999999)

* 0以外の欄は必須入力です

登録 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ



- 入力を最初からやり直すときは、「リセット」をクリックします。
- 新規登録を中止するときは、「戻る」をクリックします。



- 部門名を重複させるとエラーメッセージが表示されて登録できません。本機の認証方式で部門名の入力が「なし」に設定されている場合、部門名の省略および重複は可能です。
- 名前で使用できない文字を使うとエラーメッセージが表示されて登録できません。
- 登録件数が1,000件を越えるとエラーメッセージが表示されて登録できません。
- 本機動作中はエラーメッセージが表示されて登録できません。本機がアイドル状態になってから「登録」をクリックしてください。

7 「登録」ボタンをクリックします。

部門管理データ登録

※ 欄は自動で入力されます

部門名	CSO	(最大8文字 (ABC, abc, 123, 3のみ使用可))
パスワード	csed	(最大8文字 (ABC, abc, 123, 3のみ使用可))
リミット値	11111111	(最大99999999)

* 0以外の欄は必須入力です

登録 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

登録終了画面が表示されます。新規データは本機に即時登録され有効になります。

8 「戻る」をクリックします。

以下のように登録しました

部門名	CSO
パスワード	csed
リミット値	11111111

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

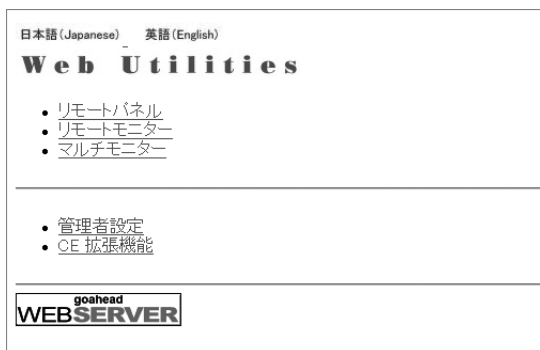
メインページ

部門管理データ編集画面にもどります。

■ 登録済み部門管理データをブラウザで編集する

手順

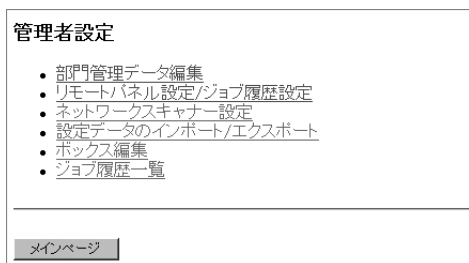
- 1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。
- 2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

- 3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。
管理者設定メニュー画面が表示されます。

- 4 「部門管理データ編集」をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。

- 5 「部門管理データ一覧」をクリックします。



部門管理データ一覧画面が表示されます。



詳しく説明します

Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。



詳しく説明します

- ・ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- ・パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ・ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。



詳しく説明します

部門管理データ一覧画面に記述されている「その他ユーザーカウント」は、本体設定で「未登録のユーザーや部門出力」が有効になっているときのみ表示されます。カウントリセット以外の編集はできません。

6 部門名、パスワード、リミット値を変更します。

- (1) 部門管理データ一覧画面の変更したいデータの〔Number〕をクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー		プリン
			大サイズ	トータル	大サ
☐	3	cso1	0	0	
☐	4	cso2	0	0	
☐	8	cso3	0	0	
☐	9	cso4	0	0	
☐	24	CSO	0	0	
☐	----	その他ユーザーカウント	0	1	

☒ コピー/プリンタのカウンtrリセット
☐ スキャナ のカウンtrリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウンtrは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

- (2) 部門管理データ編集画面が表示されます。
- (3) 部門名、パスワード、リミット値を変更します。変更入力方法は新規登録と同じです。p. 10-4 をご覧ください。
- (4) 〔登録〕をクリックします。

部門管理データ登録

Number	番号は自動的に割り当てます	
部門名	CSO	最大8文字 [ABC..abc..123..]のみ
*パスワード	csoED	最大8文字 [ABC..abc..123..]のみ
*リミット値	11111111	最大99999999

登録 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

詳しく説明します

もとのデータにもどしたいときは〔リセット〕をクリックします。変更を中止するときは、〔戻る〕をクリックします。

詳しく説明します

〔登録〕をクリックしたときにエラーメッセージが表示されたときは、p. 10-4の「詳しく説明します」をご参照ください。

- (5) 変更終了画面が表示されます。変更されたデータは本機に即時登録され有効になります。
- (6) 〔戻る〕をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

7 枚数カウントをリセットします

- (1) 部門管理データ一覧画面の枚数カウントをリセットしたいデータ項目（複数選択可）のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、カウントリセットしたいモードのラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー		プリン
			大サイズ	トータル	大サイズ
☐	3	cso1	0	0	
☐	4	cso2	0	0	
☐	8	cso3	0	0	
☐	9	cso4	0	0	
☐	24	CSO	0	0	
☐	----	その他ユーザーカウント	0		1

☒ コピー/プリンタのカウントリセット
☐ スキャナのカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (2) 「決定」をクリックします。
 (3) カウントリセット確認画面が表示されます。
 (4) 「決定」をクリックします。

部門管理データ一覧

これらのデータをカウントリセットします (コピー/プリンタ)

Number	部門名
3	cso1

決定

戻る

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ



選択したデータのカウントリセットしないときは、「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- (5) カウントリセット終了画面が表示されます。選択したデータのカウン트가即時リセットされます。

部門管理データ一覧

設定を更新しました

[戻る](#)

[部門管理データ編集メニュー](#)

[管理者設定メニュー](#)

[メインページ](#)



本機動作中はエラーメッセージが表示されてリセットできません。本機がアイドリング状態になるのを待ってから「決定」をクリックしてください。

- (6) 「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

8 部門管理データを削除します

- (1) 部門管理データ一覧画面の削除したいデータ項目（複数選択可）のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、「削除（その他ユーザーカウン트는削除できません）」のラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー		プリンタサイズ
			大サイズ	トータル	
☐	3	cs01	0	0	
☐	4	cs02	0	0	
☐	8	cs03	0	0	
☐	9	cs04	0	0	
☐	24	CS0	0	0	
☐	----	その他ユーザーカウン	0	1	

☒ コピー/プリンタのカウントリセット
☐ スキャナのカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウンは削除できません)

[決定](#) [リセット](#)

- (2) 「決定」をクリックします。
 (3) 削除確認画面が表示されます。

部門管理データ一覧

これらのデータを削除します

Number	部門名
3	cs01

[決定](#)

[戻る](#)

[部門管理データ編集メニュー](#)

[管理者設定メニュー](#)

[メインページ](#)



選択したデータの削除を中止するときは、「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- (4) [決定] をクリックします。削除終了画面が表示されます。選択したデータが即時削除されます。

部門管理データ一覧

データを削除しました

[戻る](#)

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (5) [戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

9 部門管理データ一覧をファイルに保存します。

- (1) [この表をファイルに保存] をクリックします。

部門管理データ一覧

選択 全て選択	Number	部門名	コピー		プリンタ		スキャナ	
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル
☐	3	cso1	0	0	0	0	0	0
☐	4	cso2	0	0	0	0	0	0
☐	5	cso3	0	0	0	0	0	0
☐	6	cso4	0	0	0	0	0	0
☐	24	CSO	0	0	0	0	0	0
☐	----	その他ユーザーカウント	0	1	0	0	0	0

☒ コピー・プリンタ のカウントリセット
☐ スキャナ のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (2) [このファイルをディスクに保存] のラジオボタンをクリックして選択し、[OK] をクリックします。

部門管理データ一覧

選択 全て選択	Number	部門名	コピー		プリンタ		スキャナ	
			大サイズ	トータル	大サイズ	トータル	大サイズ	トータル
☐	3	cso2	0	0	0	0	0	0
☐	4	cso3	0	0	0	0	0	0
☐	5	cso4	0	0	0	0	0	0
☐	24	CSO	0	0	0	0	0	0
☐	----	その他	0	1	0	0	0	0

☒ コピー・プリンタ のカウントリセット
☐ スキャナ のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (3) 保存先指定ダイアログで、設定ファイルの保存先を指定し、[保存] をクリックします。

ファイルのダウンロード

ファイル名: vcount.csv
 ファイルの種類: Microsoft Excel CSV ファイル
 宛先元: 10.11.32.51

ファイルを開くか、ファイルをエディタに保存するか選択してください。

開く(O) 保存(S) キャンセル 詳細情報(I)

☒ この種類のファイルでは常に警告する(O)



詳しく説明します

部門管理データ一覧のファイルは、CSV形式で保存されます。本機動作中はファイルの保存はできません。本体がアイドリングの状態になってから再度行ってください。このとき、ブラウザの「戻る」ボタンをクリックして部門管理データ一覧画面にもどってください。

例：部門管理データ一覧保存ファイル

NUMBER	PASSWORD	NAME	COPYLARGECOUNT	COPYCOUNT	PRINTLARGECOUNT
4	2	cso2	0	0	0
8	3	cso3	0	0	0
9	4	cso4	0	0	0
24	csoED	CSO	0	0	0
1001		UNKNOWN	0	1	0

PRINTCOUNT	SCANLARGECOUNT	SCANCOUNT	LIMIT
0	0	0	50
0	0	0	50
0	0	0	10
0	0	0	11111111
0	0	0	0

「その他ユーザーカウンtr」は最後尾にNAMEをUNKNOWNとして保存されます。

リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定

PCのブラウザ画面から本機の操作をしたり、本体の状態を監視することができます。

リモートパネルの機能

- 本体タッチパネルに表示されるあらゆる画面をブラウザ上に表示します。
- PCのマウスによってタッチパネルや操作パネルの操作を代用します。
- パスワード等の入力をPCのキーボードから入力できます。

リモートモニターの機能

- ブラウザの自動リロードを使って、本機のタッチパネルの画面、ジョブの状況、本機の状態を監視します。
- リモートパネルを別ウィンドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1つのブラウザ上に最大 10 台の機械のリモートモニターを並べて表示し、監視することができます。
- リモートモニターとリモートパネルを同じブラウザ上に表示します。



- ブラウザの設定で JavaScript を有効にします。
- PC と本体はネットワークで繋がれ、TCP/IP で通信できる環境にします。
- セキュリティー強化モードをオフにします。

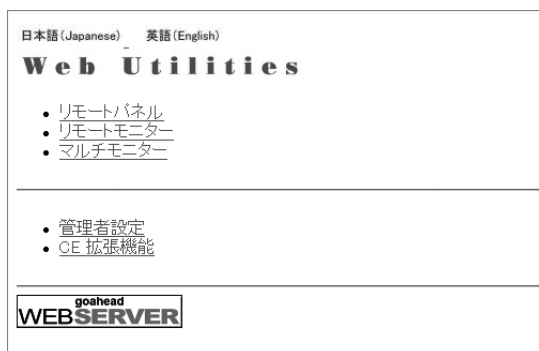
手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 [管理者設定] をクリックします。



Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定画面が表示されます。

4 〔リモートパネル設定/ジョブ履歴設定〕をクリックします。

管理者設定

- 部門管理データ編集
- リモートパネル設定/ジョブ履歴設定
- ネットワークスキャナー設定
- 設定データのインポート/エクスポート
- ボックス編集
- ジョブ履歴一覧

メインページ

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 リモートパネルの設定をします。

リモートパネルを使用するPCのIPアドレスを設定します。

最大3つまで設定することができます。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1	0/11.2.251	0/192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 2		0/192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 3		0/192.168.0.100

このPCのIPアドレス [0/11.2.251]

リモートモニターのユーザー設定パネル 1	0/505196161
リモートモニターのユーザー設定パネル 2	0/11.22.26
リモートモニターの更新間隔	0/5秒

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	0/11.22.26	0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		0/192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		0/192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部・下部画面表示	

ジョブ履歴 HDD最大保存件数(要再起動) 500,000 0.00% (0 / 500,000) currently used

登録 リセット

管理者設定メニュー

メインページ

詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名をパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

詳しく説明します

これ以外の設定をしないときは、画面下の〔登録〕をクリックし、〔管理者設定メニュー画面〕をクリックします。

6 リモートモニターの設定をします。

リモートモニターのユーザー設定ラベルを入力し、リモートモニターの更新時間を選択します。



これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックし、「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

7 マルチモニターの設定をします。

マルチモニターに表示させる機械のIPアドレスを入力します。最大10台までの登録ができます。



これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックし、「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

8 「登録」をクリックします。

新規データは本機に即時登録されます。

9 「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

管理者設定メニュー画面にもどります。

ネットワークスキャナーの設定

ブラウザを使って管理者設定の一部であるネットワークスキャナー設定をします。ネットワークスキャナーの詳細は、サービスにお問い合わせください。



本体でネットワークスキャナー機能を使用していないこと

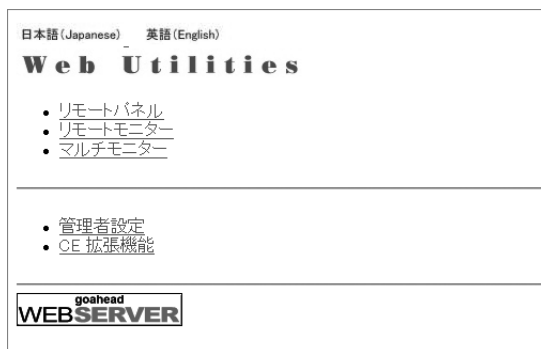
手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。



Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。

2 「管理者設定」をクリックします。



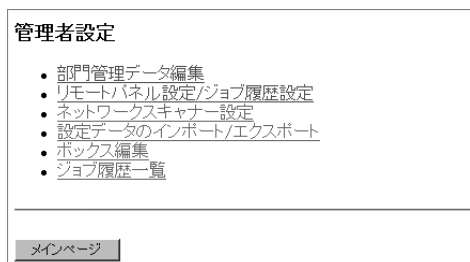
パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。



- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

4 「ネットワークスキャナー設定」をクリックします。



ネットワークスキャナー設定画面が表示されます。

- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

5 E-Mail、HDD、FTP、SMBを登録します。 任意に入力します。

ネットワークスキャナー 設定

E-Mail登録

登録名		(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字		(最大 24文字[ひらがな 12文字])
アドレス		(最大 250文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

HDD登録

登録名		(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字		(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ボックスNo.		(数字9桁[000000001~999999998])
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

FTP登録

プロファイル名		(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字		(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス		(最大 63文字)
ポート番号	21	
ファイルパス		(最大 96文字)
ログイン名		(最大 47文字)
☐ Anonymous		
パスワード		(最大 24文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

SMB登録

プロファイル名		(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字		(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス		(最大 63文字)
ファイルパス		(最大 96文字)
ログイン名		(最大 47文字)
パスワード		(最大 14文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	



設定値の詳細については、ネットワークスキャナー編を参照してください。



- 入力できる漢字および記号には制限があり、操作部で表示できないものは登録できません。操作部で表示できる漢字は、第1水準SJISコードのJ8740～J879Fを除いたJ8140～J9872です。
- HDDのボックスNo.は、9ケタで登録されます。たとえば「1」と入力すると、「000000001」と登録されます。
- 「常用」のチェックボックスにチェックを入れると、常用に登録されます。



文字制限を違反した場合や必須項目が未入力の場合は下記のように「～が不正です」と表示されます。[戻る]をクリックして入力し直してください。

6 「登録」をクリックします。

登録内容が表示されます。

以下のように登録しました。

登録名	OSO Training G
機番文字	OSO
Eメール	training@onicamino.jp
常用登録	する

[戻る](#)

「戻る」をクリックします。
ネットワークスキャナー設定画面にもどります。

ネットワークスキャナー 設定

E-Mail 登録

登録名		(最大 24文字(日本語 12文字))
機番文字		(最大 24文字(英数字 12文字))
Eメール		(最大 250文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

HDD 登録

登録名		(最大 24文字(日本語 12文字))
機番文字		(最大 24文字(英数字 12文字))
ボックスNo.		(数字9桁(000000001-999999999))
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

FTP 登録

プロファイル名		(最大 24文字(日本語 12文字))
機番文字		(最大 24文字(英数字 12文字))
ホストアドレス		(最大 63文字)
ポート番号	21	
ファイルパス		(最大 96文字)
ログイン名		(最大 47文字)
☐ Anonymous		
パスワード		(最大 24文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

SMB 登録

プロファイル名		(最大 24文字(日本語 12文字))
機番文字		(最大 24文字(英数字 12文字))
ホストアドレス		(最大 63文字)
ファイルパス		(最大 96文字)
ログイン名		(最大 47文字)
パスワード		(最大 14文字)
常用登録	☐ (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

[管理者設定メニュー](#)

[メインページ](#)

7 登録内容を一覧表示します。

一覧表示させたい項目の〔一覧表示〕をクリックします。
選択した登録一覧が表示されます。

E-Mail登録一覧

全て: 5

削除	登録名	特殊文字	アドレス
☐	CSO Training G	CSO	training@konicaminolta.jp
☐	Sample	s	training1@konicaminolta.jp
☐	TrainingG	t	aaa
☐	Training G	T	training@konicaminolta.jp
☐	通信	れん	training1@konicaminolta.jp

〔戻る〕ボタンをクリックします。
ネットワークスキャナー設定画面にもどります。

8 登録内容を変更します。

手順7に従って、変更したい項目の登録一覧を表示させます。

E-Mail登録一覧

全て: 5

削除	登録名	特殊文字	アドレス
☐	CSO Training G	CSO	training@konicaminolta.jp
☐	Sample	s	training1@konicaminolta.jp
☐	TrainingG	t	aaa
☐	Training G	T	training@konicaminolta.jp
☐	通信	れん	training1@konicaminolta.jp

登録名（FTP、SMBはプロファイル名）をクリックします。
ネットワークスキャナー設定の編集画面が表示されます。
変更入力し、〔登録〕をクリックします。

E-Mailデータ編集

登録名	CSO Training G	(最大 24文字(日本語 12文字))
特殊文字	CSO	(最大 24文字(ひらがな 12文字))
アドレス	training@konicaminolta.jp	(最大 250文字)
常用登録	☒ (チェックすると常用に登録されます)	

設定データを転送する

ブラウザを使って設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

設定データはPCのアプリケーションソフトを使って編集できます。

設定データには下記のものがあります。

部門管理データ（最大1,000件）

4つのスキャン送信先データ（4つ合計で500件まで登録可能）

- E-mailデータ
- HDD（box No.）データ
- FTP（FTP server address）データ
- SMBデータ



- 設定データはPCに転送してバックアップとして保存することができます。
- 本機が複数台ある場合、設定データによって設定を共通化できます。
- 設定データは一括処理しやすい形式になっているので、設定を効率的に編集し本機に反映させることができます。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。



- 部門管理データに関しては p. 7-7 をごらんください。
- スキャン転送先データに関しては、p. 5-77 をごらんください。
- PC に転送される設定データは上記4種類ごとに1つの設定データとして転送されます。部門管理データや4つのスキャン送信先データを1件ごとに編集する場合は、p. 10-3 をごらんください。



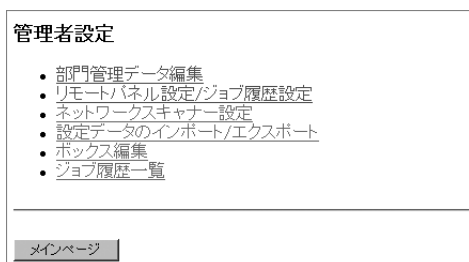
詳しく説明します

Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2 をごらんください。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 〔設定データのインポート/エクスポート〕をクリックします。



設定データのインポート/エクスポート設定画面が表示されます。

5 設定データをエクスポートします。

エクスポートしたい設定データをプルダウンメニューから選択します。

〔エクスポート実行〕をクリックします。



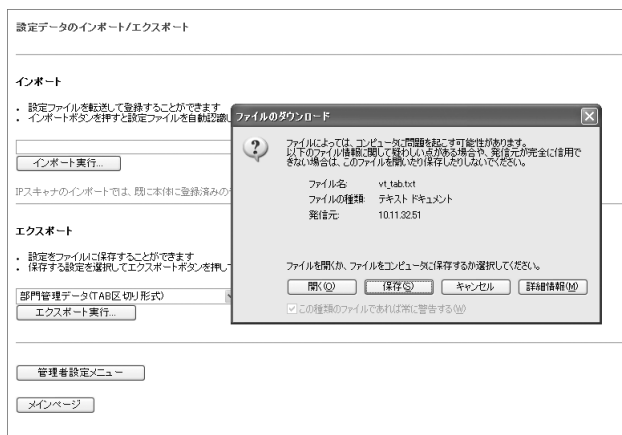
詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

詳しく説明します

転送する設定データ形式はTAB区切り形式で、そのほかの設定はできません。

保存ダイアログボックスが表示されます。
保存ダイアログボックスの「保存」のラジオボックスをクリックして選択します。



詳しく説明します

設定データの名前は下記のように自動発生します。このときファイル名を変更することができます。任意のファイルを指定して保存します。

- evt_tab.txt：部門管理データ
- ip_email.txt：スキャナー転送先データのE-Mailデータ
- ip_hdd.txt：スキャナー転送先データのHDDデータ
- ip_ftp.txt：スキャナー転送先データのFTPデータ
- ip_smb.txt：スキャナー転送先データのSMBデータ

保存先指定ダイアログボックスで設定データの保存先を指定し、「保存」をクリックします。



詳しく説明します

本機動作中は設定データをPCに転送しようとしてもエラーメッセージが表示されてできません。本機がアイドリングの状態になってから行ってください。

保存完了のダイアログボックスが表示されます。「閉じる」をクリックします。

6 設定データを編集します。

PCに転送された設定データはPCのテキスト編集や表計算のアプリケーションソフトで編集できます。また、設定データを書式に沿って新規に作成できます。詳しくはp. 10-23～p. 10-24をごらんください。

7 設定データをインポートします。

〔参照...〕ボタンをクリックしてPCにある設定ファイルを選択し、〔インポート実行〕をクリックします。

設定データのインポート/エクスポート

インポート

- ・設定ファイルを転送して登録することができます
- ・インポートボタンを押すと設定ファイルを自動認識して一括登録を行います

IPスキャナのインポートでは、既に本機に登録済みのデータおよびグループはクリアされます

エクスポート

- ・設定をファイルに保存することができます
- ・保存する設定を選択してエクスポートボタンを押してください

部門管理データ(TAB区切り形式)



常に本機に設定データが転送されないエラーメッセージが表示され、本機に転送できません。処置方法は、p. 10-2 をご覧ください。

転送結果が表示されます。

設定データのインポート/エクスポート

2 件、部門管理データを登録しました。

[戻る](#)

[メインページ](#)



このとき、ブラウザの〔更新〕をクリックしないでください。〔戻る〕をクリックします。設定データのインポート / エクスポート設定画面にもどります。



インポート時のエラーメッセージとその処置

- ・「本体が動作中のため転送できませんでした」
本機がアイドリングの状態になってから本機に転送してください。
- ・「データを識別できませんでした」
本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。
- ・「データサイズが大きすぎます」
本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。また、設定データサイズが100,000バイトを越えていないか確認してください。越えている場合は転送できません。
- ・「登録できませんでした」
設定データの記述に間違いがないか確認してください。詳しくはp. 10-3～p. 10-4 をご覧ください。また、登録件数が一杯になっていないか確認してください。それぞれの設定データの最大登録件数は4つのスキャナー送信先データ合わせて500件です。

設定ファイル作成／編集の共通ルール

- 設定データはテキスト形式で保存します。
- 設定データの先頭にTagをつけます。(例：#EKC_TAB)
- 1行は300バイト以下にします。
- 設定データサイズは100,000バイト以下にします。
- 「#」で始まる行はコメント行となります。

例：部門管理データの設定データ

```
#IP_EMAIL
#GROUP_NAME
NAME ADDRESS KANA DAILY USE 管理職 一般
田中部長 tanaka@k たなか 1 1
鈴木課長 suzuki@k すずき 1 1
高橋主任 takahashi@k たかはし 1
渡辺係長 watanabe@k わたなべ 1
金子係長 kaneko@k かねこ 1 1
```

設定データ作成／編集の個別ルール

部門管理データの設定データ

設定データの先頭に「#EKC_TAB」を記述します。

最大1,000件です。

1行に「PASSWORD」、「NAME」、「LIMIT」をタブ区切りします。

「PASSWORD」は半角英数字で最大8文字で記述します。

「NAME」は半角英数字で最大8文字で記述します。

「LIMIT」は0～99999999までの数字で記述します。

E-mailデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_EMAIL」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24byteです。

「ADDRESS」は最大250 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

HDDデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_HDD」を記述します。

1行に「NAME」、「NUMBER」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「NUMBER」は1～99999999までの9ケタの数字のみで記述します。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

FTPデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_FTP」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「ADDRESS」は最大63 byteです。

「PORT」は1～65535までの5ケタの数字で記述します。

「FILEPATH」は最大96 byteです。

「LOGINNAME」は最大47 byteです。

「PASSWORD」は最大24 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

SMBデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_SMB」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「ADDRESS」は最大63 byteです。

「FILEPATH」は最大96 byteです。

「LOGINNAME」は最大47 byteです。

「PASSWORD」は最大14 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

ボックスの編集

ブラウザを使って、本体のHDDに作成保存されたボックスやファイルの名前を変更したり、ファイルの先頭ページのサムネイルを表示します。



本機能は本機が以下の設定になっている場合のみ利用可能です。

- 本体で保存画面または読み出し画面が表示されていない。
- 本体にHDDが接続されている。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。

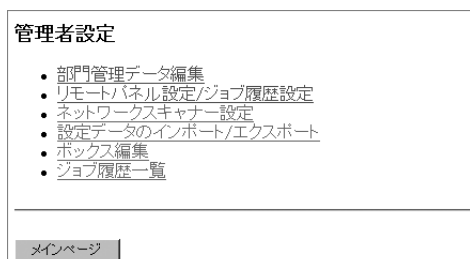


パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 「ボックス編集」をクリックします。



ボックス編集画面が表示されます。

5 任意のユーザー名をクリックします。

ボックス編集

ユーザー名(7)	ボックス名(0)	ファイル名(0)
[0]共有フォルダ		
[1]user1		
[2]user2		
[3]user3		
[4]xyz		
[7]abc		
[15]test		

管理者設定メニュー

メインページ

選択したユーザー名の先頭に「*」が表示されます。
ユーザー名の先頭に「L」が表示されている場合は、パスワードがかかっているため、選択することができません。



画面上部の「ユーザー名」右に表示された数字は、登録されているユーザー数です。

6 任意のボックス名をクリックします。

ボックス編集

ユーザー名(7)	ボックス名(4)	ファイル名(0)
[2]user2		
[0]共有フォルダ	[1]abcde	
[1]user1	[2]test1	
[2]user2	[3]box06	
[3]user3	[4]box13	
[4]xyz		
[7]abc		
[15]test		

管理者設定メニュー

メインページ

選択したボックス名の先頭に「*」が表示されます。
ボックス名の先頭に「L」が表示されている場合は、パスワードがかかっているため、選択することができません。
ボックス名を変更する場合は、手順7に進みます。
ファイル名を変更したり、サムネイルを確認する場合は、手順8に進みます。



画面上部の「ボックス名」右に表示された数字は、登録されているボックス数です。

7 ボックス名を変更します。

手順6に従って、変更したいボックス名をクリックすると、画面上部にテキストボックスが表示されます。

(1)新しいボックス名を入力します。

ボックス名:最大20文字

ボックス編集

ユーザー名(7)	ボックス名(4)	ファイル名(3)
2]user2	1]labode (Max20) 変更	1]file12006/02/09(13:07:35)
0]共有フォルダ		2]file2006/02/09(13:07:56)
1]user1		3]file32006/02/09(13:08:14)
2]user2	1]labode	
3]user3	2]test1	
4]jcz	3]box06	
5]labc	4]box13	
6]test		

管理書設定メニュー

メインページ

(2)テキストボックス右にある「変更」をクリックします。
新しい名前は本機に即時登録され有効になります。

8 任意のファイル名をクリックし、サムネイルを表示します。

ボックス編集

ユーザー名(7)	ボックス名(4)	ファイル名(3)
2]user2	1]labode (Max20) 変更	1]file12006/02/09(13:07:35)
0]共有フォルダ		2]file2006/02/09(13:07:56)
1]user1		3]file32006/02/09(13:08:14)
2]user2	1]labode	
3]user3	2]test1	
4]jcz	3]box06	
5]labc	4]box13	
6]test		

管理書設定メニュー

メインページ

選択したファイル名の先頭に「*」が表示され、画面上部にファイルの先頭ページのサムネイルが表示されます。

ボックス編集

ユーザー名(7)	ボックス名(4)	ファイル名(3)
2]user2	1]labode (Max20) 変更	1]file1 (Max20) 変更
0]共有フォルダ		
1]user1		
2]user2	1]labode	
3]user3	2]test1	
4]jcz	3]box06	
5]labc	4]box13	
6]test		

管理書設定メニュー

メインページ

ABC

1]file12006/02/09(13:07:35)
2]file2006/02/09(13:07:56)
3]file32006/02/09(13:08:14)

ファイル名を変更する場合は、次の手順に進みます。

詳しく説明します

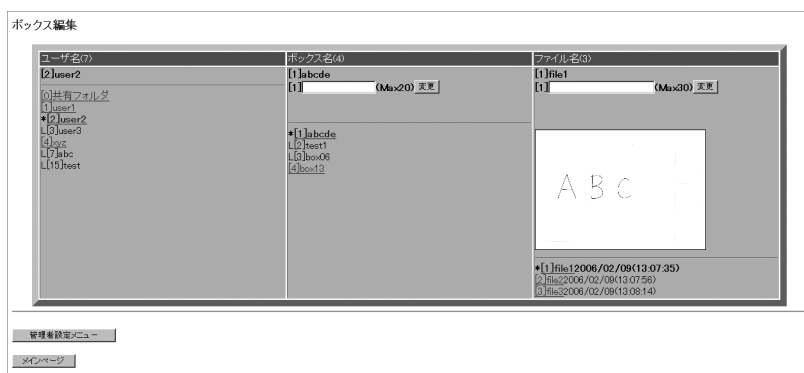
- 画面上部の「ファイル名」右に表示された数字は、登録されているファイル数です。
- ファイル一覧は保存された日付順に表示されます。
- 表示できるサムネイルは、ファイルの先頭ページのみです。任意のページのサムネイルを表示することはできません。

9 ファイル名を変更します。

手順8に従って、変更したいファイル名をクリックすると、画面上部にテキストボックスが表示されます。

(1)新しいファイル名を入力します。

ファイル名:最大30文字



(2)テキストボックス右にある「変更」をクリックします。

新しい名前は本機に即時登録され有効になります。

詳しく説明します

ファイル名を変更する場合、「この名前はすでに使われています」というメッセージが表示されることがあります。別の名前で登録するか、サービスにお問い合わせください。

10 「管理者設定メニュー」をクリックします。

管理者設定メニュー画面にもどります。

ジョブ履歴を表示する

ブラウザを使って本体の出力履歴を表示します。
ジョブ履歴は本体操作部画面にも表示できますが、本体の電源をオフにすると消去されます。Web Utilitiesで表示されるジョブ履歴はHDDに保存されるため、電源をオフにしても履歴が消去されず、過去の履歴を参照することができます。

■ ジョブ履歴機能をオン/オフする

ジョブ履歴機能は初期設定ではオフになっています。下記の手順に従ってオン/オフしてください。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 〔管理者設定〕をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。



- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 「リモートパネル設定/ジョブ履歴設定」をクリックします。

管理者設定

- 部門管理データ編集
- リモートパネル設定/ジョブ履歴設定
- ネットワークスキャナー設定
- 設定データのインポート/エクスポート
- ボックス編集
- ジョブ履歴一覧

メインページ

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 ジョブ履歴に関する設定をします。

ジョブ履歴をオンにするため、100,000/500,000/1,000,000 から任意の最大保存件数を選択します。ジョブ履歴をオフにするときは「0」を選択します。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1: 0.11.2.251 (e.g. 192.168.0.100)

アクセスを許可するIPアドレス 2: (e.g. 192.168.0.100)

アクセスを許可するIPアドレス 3: (e.g. 192.168.0.100)

このPCのIPアドレス (0.11.2.251)

リモートモニターのユーザー設定レベル 1: 40/500196161

リモートモニターのユーザー設定レベル 2: 0.11.32.36

リモートモニターの更新間隔: [5分]

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1: 0.11.32.36 (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10: (e.g. 192.168.0.100)

マルチモニターの表示形式: [上向き子画面表示]

ジョブ履歴 HDD最大保存件数(要再起動): 500,000 (0.00% (0 / 500000) currently used)

[登録] [リセット]

管理者設定メニュー

メインページ



最大保存件数を変更すると履歴データがリセットされる場合があります。ご注意ください。

6 変更した設定を有効にします。

「登録」をクリックし、主電源スイッチをオフ/オンします。



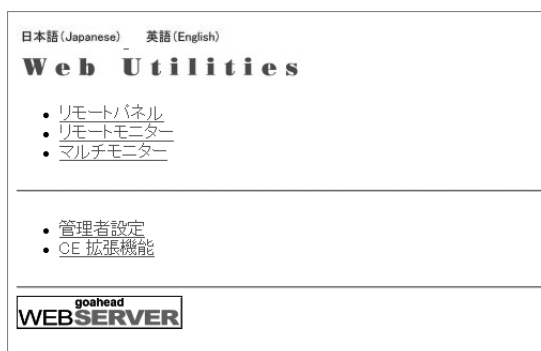
主電源スイッチをオフ/オンする場合は、主電源をオフにして、必ず 10 秒以上経過してからオンにしてください。間隔を空けないと、正常に機能しないことがあります。

■ ジョブ履歴一覧を表示する

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。



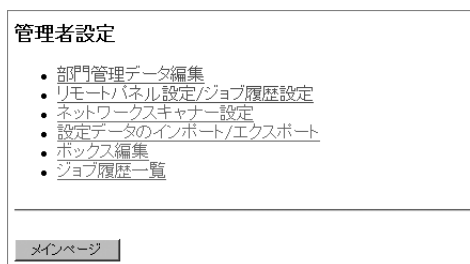
パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。

詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 「ジョブ履歴一覧」をクリックします。



ジョブ履歴一覧画面が表示されます。

5 ジョブ履歴一覧でジョブ履歴を確認します。

履歴番号 (No.)、ジョブ番号 (JobId)、モード、ジョブ生成日時 (Date) が表示されます。

Job History List			
634 - 733 (Total 833) / Previous / Next			
No.	JobId	Mode	Date
733	6	Copy	07/11/20 (10:30:46)
732	5	Copy	07/11/20 (10:29:34)
731	4	Copy	07/11/20 (10:28:33)
730	3	Copy	07/11/20 (10:27:39)
729	2	HDD load	07/11/20 (10:26:01)
728	1	HDD load	07/11/20 (10:24:07)
727	3	Print	07/11/19 (14:48:37)
726	1	Copy	07/11/19 (14:46:17)
725	10	HDD load	07/11/16 (19:08:23)
724	9	Copy	07/11/16 (19:08:20)
723	8	HDD load	07/11/16 (19:05:25)
722	7	Copy	07/11/16 (19:05:18)
721	4	Copy	07/11/16 (19:04:08)
720	5	HDD load	07/11/16 (19:04:06)
719	3	Copy	07/11/16 (19:00:49)
718	2	HDD save	07/11/16 (18:59:25)
717	1	Copy	07/11/16 (18:23:15)
716	1	Copy	07/11/16 (14:20:52)
715	5	Print	07/11/15 (15:32:02)
714	3	Print	07/11/15 (15:27:18)
713	2	HDD load	07/11/15 (15:19:43)
712	1	HDD load	07/11/15 (15:17:43)
711	2	HDD load	07/11/13 (11:00:46)
710	6	HDD load	07/11/13 (10:57:09)
709	5	Print	07/11/13 (10:56:42)
708	4	HDD load	07/11/13 (10:56:11)
707	3	Copy	07/11/13 (10:55:49)
706	2	Copy	07/11/13 (10:55:28)
705	1	Copy	07/11/13 (10:55:10)
704	9	Print	07/11/13 (10:35:20)
703	8	Print	07/11/13 (10:34:36)



ジョブ履歴一覧の表示項目を変更することができます。詳しくは、サービスにお問い合わせください。

下記表示をクリックすると表示が切り替わります。

[Job History List] : 直近の 100 件のジョブ履歴を表示します。

[Previous] : 前の100件のジョブ履歴を表示します。

[Next] : 次の100件のジョブ履歴を表示します。

第1章

PageScope Web Connection と、その管理者モードの操作方法について説明します。

PageScope Web Connectionについて ...	11-2	〔スキャナ〕 タブ	11-29
■ システム環境	11-2	■ E-mail件名	11-29
■ Webブラウザの設定	11-3	■ E-mail本文	11-30
アクセスのしかた	11-4	■ スキャン設定	11-32
管理者モード画面の構成	11-6	〔ネットワーク〕 タブ	11-33
■ カウンター	11-7	■ TCP/IP設定>TCP/IP設定	11-33
■ ROMバージョン	11-7	■ TCP/IP設定>IPフィルタリング	11-34
〔メンテナンス〕 タブ	11-7	■ TCP/IP設定>IPsec設定	11-35
■ インポート/エクスポート	11-8	■ 時刻補正設定	11-37
■ 状態通知設定	11-9	■ E-mail設定>E-mail受信 (POP)	11-38
■ 本体登録	11-10	■ E-mail設定>E-mail送信 (SMTP)	11-39
■ サポート情報	11-11	■ LDAP設定>LDAP設定	11-40
■ 初期化>ネットワーク設定クリア	11-12	■ LDAP設定>LDAPサーバー登録	11-41
〔セキュリティ〕 タブ	11-13	■ IPP設定	11-43
■ 認証設定	11-13	■ FTP設定>FTP送信設定	11-44
■ ユーザー登録	11-13	■ FTP設定>FTPサーバー設定	11-45
■ 部門登録	11-15	■ SNMP設定	11-45
■ SSL/TLS設定>SSL/TLS設定	11-17	■ SMB設定>WINS設定	11-46
■ SSL/TLS設定>証明書無効時処理	11-22	■ SMB設定>クライアント設定	11-47
■ 自動ログアウト	11-23	■ SMB設定>プリント設定	11-48
■ 管理者パスワード設定	11-23	■ Webサービス設定>Webサービス設定	11-49
〔ボックス〕 タブ	11-24	■ Webサービス設定>プリント設定	11-50
〔プリンター設定〕 タブ	11-25	■ Webサービス設定>スキャン設定	11-51
■ デフォルト設定	11-25	■ Bonjour設定	11-52
■ ジョブスプール設定	11-27	■ NetWare設定>NetWare設定	11-53
■ インターフェース設定	11-28	■ NetWare設定>NetWare状態	11-54
■ ポート別出力設定	11-28	■ AppleTalk設定	11-55
		■ OpenAPI設定	11-56
		■ TCP Socket設定	11-56
		■ JSP設定	11-57

PageScope Web Connectionについて

PageScope Web Connection は、bizhub PRO 950 用イメージコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用のユーティリティ・プログラムです。このユーティリティは、Web ブラウザを通して、bizhub PRO 950 のプリンター、スキャナー、ネットワークのステータスを表示したり、プリンターのデフォルト設定やネットワークの設定を変更することができます。

詳しく説明します

- セキュリティ強化モードが設定されている場合、本機能は使用できません。
- 本体の PSWC 設定が「使用する」になっていないと本機能は使用できません。詳細は、設定メニュー画面＞06 管理者設定＞04 ネットワーク設定＞02 コントローラー NIC 設定をごらんください。

■ システム環境

PageScope Web Connection の機能を十分に発揮するため、操作するパソコンは以下の要件を満たす必要があります。

OS	Web ブラウザ
Windows 2000、XP、Server2003	Microsoft Internet Explorer 6（推奨） Microsoft Internet Explorer 5.x ただし、MSXML3 のインストールが必要（*1） Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降
Windows Vista	Microsoft Internet Explorer 7 以降（推奨）
Macintosh Mac OS 9.x, X	Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降
Linux	Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降

（*1）Microsoft ダウンロードセンターで MSXML3.0 を取得して、PC にインストールしてください。

詳しく説明します

PageScope Web Connection の表示方法は、Flash 形式 / HTML 形式から選択できます。Flash 形式でご覧いただくには、Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

■ Webブラウザの設定

1. JavaScript

JavaScriptは有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔セキュリティ〕タブの〔レベルのカスタマイズ〕で〔スクリプト〕の〔アクティブスクリプト〕を有効に設定してください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕－〔詳細〕－〔スクリプトとプラグイン〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔コンテンツ〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください。

2. Cookie

Cookieは有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔プライバシー〕タブの〔設定〕で、プライバシー設定を〔高〕以下にしてください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕-〔プライバシーとセキュリティ〕-〔Cookie〕で〔プライバシー設定に基づいてCookieを有効にする〕または〔すべてのCookieを有効にする〕に設定してください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔コンテンツ〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください

3. キャッシュ

キャッシュについて、ブラウザで以下の設定を確認してください。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔全般〕タブの〔設定〕で〔保存しているページの新しいバージョンの確認〕を〔ページを表示するごとに確認する〕に設定してください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕－〔詳細〕－〔キャッシュ〕で〔キャッシュにあるページとネットワーク上のページ比較：〕を〔ページにアクセスするたび〕に設定してください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔コンテンツ〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください

4. KONICA MINOLTA PageScope Web Connection ロゴマーク

KONICA MINOLTA ロゴマークをクリックすると、弊社のホームページへジャンプします。

<http://www.konicaminolta.jp>

PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、About 画面（バージョン情報と Copyright 表記）へジャンプします。

About 画面のPageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると以下のWebへジャンプします。

<http://www.pagescope.com>

アクセスのしかた

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザで直接アクセスすることができます。

手順

1. Webブラウザを起動します。
2. URL フィールドに、以下のようにイメージコントローラーのIP アドレスを入力して、〔Enter〕キーを押します。
http://< イメージコントローラーのIP アドレス>/
(例) イメージコントローラーのIP アドレスが192.168.0.10 の場合:
http://192.168.0.10/
3. PageScope Web Connection の画面が表示されます。
4. トップ画面のログイン項目の〔管理者〕をクリックして〔ログイン〕をクリックします。



詳しく説明します

- 表示言語を選択できます。言語項目のプルダウンメニューから任意の言語を選択してください。
- 表示方法をFlash形式/HTML形式から選択できます。ログインする前に希望する表示形式をクリックして選択してください。

詳しく説明します

このマニュアルでは、「日本語 (Japanese) 」 「Flash」を選択した状態を記載しています。

5. 管理者パスワードを入力します。

詳しく説明します

- 管理者モードのデータ安全性を確保するため、SSLの設定を行ってください。SSL設定は管理者モードの「ネットワーク」タブで行うことができます。詳しくは、p. 11-33をごらんください。
- 管理者パスワードは本機で設定済みのパスワードを入力します。

6. 6つのタブをクリックして各設定をします。

トータルカウンター	
トータル	164011
両面トータル	6681
原稿枚数	14358
使用用紙枚数	155096

コピーカウンター	
トータル	14051
大サイズ	1721

印刷カウンター	
トータル	149960
大サイズ	616

スキャンカウンター	
トータル	14358
大サイズ	68

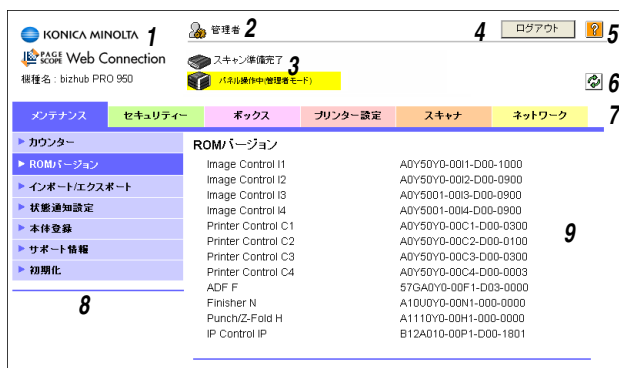
7. ログアウトする場合は「ログアウト」をクリックします。
トップ画面にもどります。

詳しく説明します

PageScope Web Connection は、インターネットのWeb ページと同様に操作することができます。Web ページのリンクをクリックしてリンク先へジャンプすることができます。

管理者モード画面の構成

管理者モード画面は、管理者パスワードを入力することでログインできる画面です。
管理者モード画面は以下のように構成されています。



1. KONICA MINOLTA Page Scope Web Connectionロゴマーク
KONICA MINOLTA ロゴマークをクリックすると、弊社のホームページヘジャンプします。
<http://www.konicaminolta.jp>
PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、About画面（バージョン情報とCopyright表記）ヘジャンプします。
About画面のPageScope Web Connectionロゴマークをクリックすると以下のWebヘジャンプします。
<http://www.pagescope.com>
2. 管理者モード
表示画面が管理者モード画面であることを表しています。
3. ステータス表示
本体のプリンター部分とスキャン部分の状態をアイコンとテキストで表示しています。
4. [ログアウト]
管理者モードからログアウトするときクリックします。
5. ヘルプ
オンラインマニュアルのURLが設定されている場合、それが表示されます。詳しくは、p. 11-11をごらんください。
6. 更新
画面表示を更新するときにクリックします。
7. タブ
タブ項目のカテゴリーを選択します。
 - ・メンテナンス
 - ・セキュリティ
 - ・ボックス
 - ・プリンター設定
 - ・スキャナ
 - ・ネットワーク各タブの詳細については、以降のセクションをごらんください。
8. メニュー
表示される情報または設定の項目を選択します。タブの選択により表示されるメニューは異なります。
各メニューの詳細については、以降のセクションをごらんください。
9. 情報・設定の表示
タブ、メニューで選択された項目の内容が表示されます。

〔メンテナンス〕タブ

〔メンテナンス〕タブでは、本体のメンテナンスに関する情報の表示や設定を行います。

■ カウンター

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔カウンター〕をクリックすると表示されます。

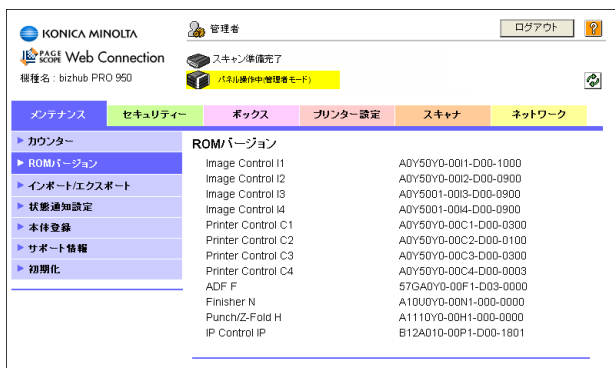


メンテナンス		セキュリティ	ボックス	プリンター設定	スキャナ	ネットワーク
▶ カウンター	トータルカウンター					
▶ ROMバージョン	トータル 164011					
▶ インポート/エクスポート	両面トータル 6681					
▶ 状態通知設定	原稿枚数 14358					
▶ 本体登録	使用用紙枚数 155096					
▶ サポート情報	コピーカウンター					
▶ 初期化	トータル 14051					
	大サイズ 1721					
	印刷カウンター					
	トータル 149960					
	大サイズ 616					
	スキャンカウンター					
	トータル 14358					
	大サイズ 68					

- ・トータルカウンター
全カウント、両面全カウント、原稿枚数、使用用紙枚数が表示されます。
- ・コピーカウンター
コピー全カウント、大サイズのコピーカウントが表示されます。
- ・印刷カウンター
プリント全カウント、大サイズのプリントカウントが表示されます。
- ・スキャンカウンター
スキャン読取り全カウント、大サイズのスキャン読取りカウントが表示されます。

■ ROMバージョン

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔ROMバージョン〕をクリックすると表示されます。



メンテナンス		セキュリティ	ボックス	プリンター設定	スキャナ	ネットワーク
▶ カウンター	ROMバージョン					
▶ ROMバージョン	Image Control I1 A0Y50YD-0011-D00-1000					
▶ インポート/エクスポート	Image Control I2 A0Y50YD-0012-D00-0900					
▶ 状態通知設定	Image Control I3 A0Y5001-0013-D00-0900					
▶ 本体登録	Image Control I4 A0Y5001-0014-D00-0900					
▶ サポート情報	Printer Control C1 A0Y50YD-00C1-D00-0300					
▶ 初期化	Printer Control C2 A0Y50YD-00C2-D00-0100					
	Printer Control C3 A0Y50YD-00C3-D00-0300					
	Printer Control C4 A0Y50YD-00C4-D00-0003					
	ADF F 57GA0YD-00F1-D03-0000					
	Finisher N A10U0YD-00N1-000-0000					
	Punch/Z-Fold H A1110YD-00H1-000-0000					
	IP Control IP B12A010-00P1-D00-1801					

本体のイメージコントローラー、プリンターコントローラー、ADF、フィニッシャー、パンチキット、Z折りユニット、ポストインサーターのROMバージョンが表示されます。

■ インポート/エクスポート

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔インポート/エクスポート〕をクリックすると表示されます。



ここでは、PCにある設定ファイルを本体に転送（インポート）したり、本体に設定されている設定ファイルをPCに転送（エクスポート）します。

インポート

- (1) デバイス設定またはユーザー登録情報の項目からPCから転送するファイルを1つ選択し、〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔インポート〕をクリックします。
- (3) 〔参照〕をクリックし、PC内のファイルを選択します。
- (4) 〔OK〕をクリックします。PCから設定ファイルが本体に転送されます。

エクスポート

- (1) 表示されている3つの項目から本体からPCに転送するファイルを1つ選択し、〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔エクスポート〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。ファイルのダウンロード画面が表示されます。
- (4) 〔ダウンロード〕をクリックします。
- (5) 〔保存〕をクリックし、保存場所を指定します。ダウンロード完了の画面が表示されます。
- (6) 〔閉じる〕をクリックします。本体からdatファイルが転送されます。
- (7) 〔戻る〕を押します。Import/Export画面が表示されます。

■ 状態通知設定

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔状態通知設定〕をクリックすると表示されます。

通知先	ステータス	編集	削除
IPアドレス1		編集	削除
IPアドレス2		編集	削除
IPアドレス3		編集	削除
IPアドレス4		編集	削除
IPアドレス5		編集	削除
IPXアドレス		編集	削除
E-mail宛先		編集	削除

本体およびオプションに警告が発生したときに、設定した通知先に通知を行うための設定を行います。

チェックボックスにチェックを入れた警告が設定した通知先に通知されます。

編集

通知先を設定し、通知内容を選択します。

(1) 任意の通知先項目の〔編集〕をクリックします。

(2) 通知先および通知内容を設定します。

通知先: IPアドレス1

通知先設定: 無効

通知先アドレス: [1.0.0.0]

ポート番号: 162 (1-65535)

コミュニティ名: public

警告:

- ☐ トレイ紙補給
- ☐ ジャム発生
- ☐ PMコール
- ☐ ステータス交換
- ☐ トナー補給
- ☐ フィニッシャー搭載オーバー
- ☐ サービスコール
- ☐ バンチくず除去
- ☐ 断裁廃除

OK キャンセル

(3) [OK] をクリックします。

削除

設定した通知先およびその通知内容を削除します。

- (1) 削除する通知先項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) 削除確認画面のOK〕をクリックします。

- (3) 〔OK〕をクリックします。

■ 本体登録

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔本体登録〕をクリックすると表示されます。

本体の装置名、設置場所、管理者の情報を入力します。

この情報は、パブリックユーザーに開示する〔情報表示〕タブのメニュー〔装置情報〕 > 〔▼構成要素〕に表示されます。

- 装置名
本体の名称を入力します。半角英数字記号で255字まで入力できます。
- 設置場所
本体の設置場所を入力します。半角英数字記号で255字まで入力できます。
- 管理者名
本体の管理者名を入力します。半角英数字記号で20字まで入力できます。
- 内線番号
本体管理者の内線番号を入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。
- 管理者アドレス
本体管理者のメールアドレスを入力します。半角英数字記号で250字まで入力できます。
- 〔OK〕
設定が完了します。
- 〔キャンセル〕
入力した情報が設定されず削除されます。

■ サポート情報

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔サポート情報〕をクリックすると表示されます。

本体のサポート情報を入力します。

この情報は、パブリックユーザーに開示する〔情報表示〕タブのメニュー〔装置情報〕＞〔サポート情報〕に表示されます。

- **問い合わせ先**
本体に関する問い合わせ先を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- **問い合わせ情報**
サポート先のURL、電話番号などを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **製品情報ホームページ**
製品情報のWebサイトのURLを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **製品元ホームページ**
製品元(会社)のホームページのURLが表示されます。(変更可能) 半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **消耗品連絡先**
消耗品の発注先を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **オンラインマニュアルURL**
オンラインマニュアルのURLを入力します。英数字記号で、最大127文字まで入力できます。以下の2つの方法があります。
 1. インターネットを使って弊社ホームページのマニュアルを参照する場合
http://www.pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/pro950/help.htmlを入力して設定してください。
 2. LANを使ってマニュアルを参照する場合
http://(PCのIPアドレス)/pswc_help/wc_help.htmlを入力して設定してください。

管理者が、予め、LAN内のサーバー上で、オンラインマニュアルを公開できるよう設定しておく必要があります。
PCはMicrosoftのIISや他のWebサーバーが稼働しているもので、"/pswc_help/"フォルダーをアクセスできるようにWebサーバーの設定をしてください。なお、Webサーバーへは、CDインストーラでインストールした"pswc_help"フォルダーごとコピーしてください。
- **〔OK〕**
設定が完了します。
- **〔キャンセル〕**
入力した情報が設定されず削除されます。

■ 初期化＞ネットワーク設定クリア

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔初期化〕をクリックすると表示されます。



ネットワーク設定を工場出荷時の初期値にもどします。

〔クリア〕をクリックし、〔OK〕をクリックします。

主電源スイッチを入れなおしてください。

〔クリア〕をクリックし、〔キャンセル〕をクリックすると、初期値にはもどりません。

〔セキュリティ〕タブ

〔セキュリティ〕タブでは、本体のセキュリティに関する情報の表示や設定を行います。

■ 認証設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔認証設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection
機種名: bizhub PRO 950
管理者
ログアウト
スキャン準備完了
パスポート管理モード

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

認証設定

ユーザー認証 本体装置認証
部門管理 管理する
部門管理認証方式 部門名+パスワード
ユーザー認証/部門認証の連動 連動する
ユーザーカウンタ割当て数 500 (0-1000)

OK キャンセル

ユーザー認証/部門管理に関する設定を行います。

- **ユーザー認証**
本体にユーザー認証を行うかどうかを選択します。〔本体装置認証〕を選択するとユーザーは、本体を使用するときユーザー認証が必要になります。
- **部門管理**
本体に部門認証を行うかどうかを選択します。〔管理する〕を選択するとユーザーは、本体を使用するとき部門認証が必要になります。
- **部門管理認証方式**
部門管理をする場合、認証方式を部門名+パスワードかパスワードのみかを選択します。
- **ユーザー認証/部門認証の連動**
ユーザー認証と部門認証を連動させるかどうかを選択します。
- **ユーザーカウンタ割当て数**
ユーザー認証の数を設定します。1000ある認証の数をユーザー認証と部門認証で振り分けるため、ここで設定した残りの数が部門認証の数になります。
- **〔OK〕**
設定が完了します。
- **〔キャンセル〕**
入力した情報が設定されず削除されます。

■ ユーザー登録

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔ユーザー登録〕をクリックすると表示されます。

〔認証設定〕でユーザー認証の〔本体装置認証〕を選択しなければ表示されません。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection
機種名: bizhub PRO 950
管理者
ログアウト
スキャン準備完了
パスポート管理モード

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

認証設定

ユーザー登録

新規登録

番号から検索 1-50 Go

No.	ユーザー名	編集	削除
1	test1	編集	削除
2	test2	編集	削除
3	test3	編集	削除
4	test4	編集	削除
5	test5	編集	削除

ユーザー認証のためのユーザー登録および削除を行います。

ユーザー登録

- (1) 新規登録する場合は〔新規登録〕、登録済みのデータを編集する場合はユーザー名項目の〔編集〕をクリックします。「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択し、〔Go〕をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- (2) 登録No.を入力します。0 - 1000の範囲で入力できます。編集の場合は入力できません。

- (3) ユーザー名を入力します。半角英数字記号で64字（全角32字）まで入力できます。
- (4) ユーザーパスワードを入力します。半角英数字記号で64字まで入力できます。ユーザーパスワードを再入力します。
- (5) ユーザーに所属部門を設定します。〔部門一覧より選択〕をクリックします。
- (6) 部門一覧から任意の部門名のラジオボタンをクリックし、〔OK〕を押します。

選択	No.	部門名
☐	1	bumon1
☐	2	bumon2

- (7) 登録ユーザーが使用できる機能を選択します。
- (8) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (9) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

ユーザー削除

- (1) ユーザー名項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) ユーザー削除画面の〔OK〕をクリックします。削除しない場合は〔キャンセル〕をクリックします。

- (3) 〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ 部門登録

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔部門登録〕をクリックすると表示されます。〔認証設定〕で部門管理の〔管理する〕を選択しなければ表示されません。

No.	部門名	編集	削除
1	test	編集	削除

部門管理のための部門登録および削除を行います。

部門登録

- (1) 新規登録する場合は〔新規登録〕、登録済みのデータを編集する場合は、部門名項目の〔編集〕をクリックします。「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択し、〔Go〕をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- (2) 登録No.を入力します。0 - 1000の範囲で入力できます。編集の場合は入力できません。

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。〔認証設定〕で部門認証方式を〔パスワード〕のみを選択した場合は入力できません。
- (4) パスワードを入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。パスワードを再入力します。
- (5) 登録部門のトータル枚数制限をする場合は、プルダウンメニューで〔有効〕を選択し、1 - 99999999の範囲で枚数を入力します。
- (6) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (7) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

部門削除

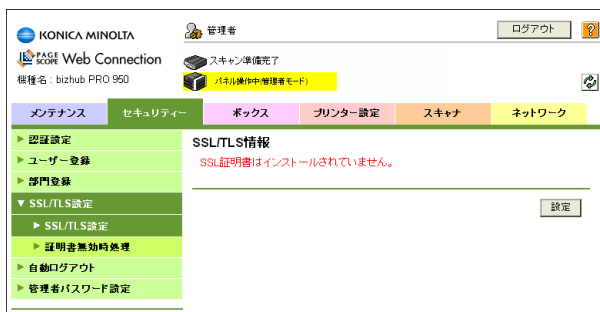
- (1) 部門名項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) 部門名削除画面の〔OK〕をクリックします。削除しない場合は〔キャンセル〕をクリックします。

- (3) 〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ SSL/TLS 設定 > SSL/TLS 設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔SSL/TLS 設定〕をクリックすると表示されます。

SSL 証明書がインストールされていない場合



SSL 証明書がインストールされている場合

SSL/TLS の設定情報が表示されます。



〔設定〕をクリックしてSSL/TLSを設定します。(以降のページをのぞいてください)

証明書を自己で作成する

SSL 証明書を自己作成して、SSL の設定を行います。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書を自己で作成する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 組織名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 950
管理者
ログアウト
スキャン準備完了
パネル操作や管理モード

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

認証設定
 ユーザー登録
 部門登録
 SSL/TLS設定
 証明書無効時処理
 自動ログアウト
 管理者パスワード設定

証明書を自己で作成する

コモンネーム 10.12.24.96
 組織名
 部門名
 市区町村名
 都道府県名
 国別記号
 管理者アドレス

有効開始の日付 2008/11/4 8:47:50
 有効期間 (1-3650)

暗号強度 DES, RC4-40, RC4-128, 3DES-168, AES-256

SSL/TLS使用モード 管理者モードとユーザーモード

OK キャンセル

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- (4) 市区町村名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (5) 都道府県名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (6) 国別記号を入力します。半角英数字記号で2字まで入力できます。
- (7) 管理者アドレスを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (8) 有効開始日は入力変更できません。
- (9) 有効期間を入力します。1 - 3650の範囲で入力します。
- (10) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。
- (11) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。
- (12) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (13) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書の発行要求をする

認証局へ送る証明発行の要求データを作成します。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書の発行要求をする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 組織名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection スキャン準備完了 (15分以内で管理モード)

機種名: bizhub PRO 950

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

認証設定 ユーザー登録 部門登録 SSL/TLS設定 SSL/TLS設定 証明書無効時処理 自動ログアウト 管理者パスワード設定

証明書の発行要求をする

共通名 10.12.24.96

組織名

部門名

市区町村名

都道府県名

国別記号

管理者アドレス picasso-m_5@typhoon.bmd.konic

OK キャンセル

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- (4) 市区町村名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (5) 都道府県名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (6) 国別記号を入力します。半角英数字記号で2字まで入力できます。
- (7) 管理者アドレスを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (8) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (9) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。証明書要求データ画面が表示されます。
- (10) 証明書要求データ画面の〔保存〕をクリックすると、PCにPEM形式のテキストデータで証明書のデータが保存されます。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection スキャン準備完了 (15分以内で管理モード)

機種名: bizhub PRO 950

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

認証設定 ユーザー登録 部門登録 SSL/TLS設定 SSL/TLS設定 証明書無効時処理 自動ログアウト 管理者パスワード設定

証明書要求データ

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIICFzCCAYACAgIAwgdYXZALBgNVBAYTAkQ
MjDQcwYDVQOEwRZDNDMDQwYDVOCkEwR0ZDNMS
YwJAYDVQOLExLT05JGQEGTUOTDxU
QSBiawpdWgUJFjPIK1MDEVNBGMGA1UECmMM
MDA1MEFBNjR0OEwRZDNDMDQwYDVQOL
EwR0ZDNDNDMwEwYDVQOEwRZDNDMDQwYDVQOL
EwMTcwNQYJKoZIhvcNAQkBFilwaWNh
c3NlLW11NUJ0eXB0b29uLmJlZC5r25pY2FtaW5v
-----
```

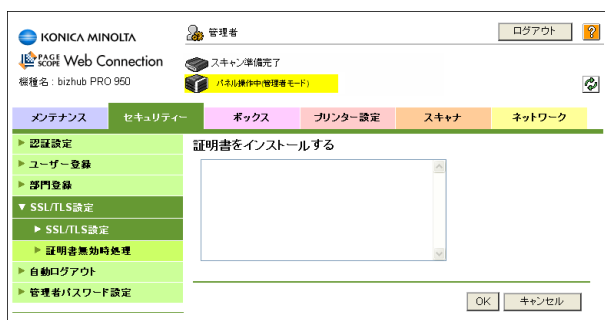
保存 OK

- (11) 〔OK〕をクリックすると、SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書をインストールする

外部の認証局で発行された証明書をインストールします。

- (1) SSL/TLS設定の「証明書をインストールする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 外部の認証局から送付されてきたPEMテキスト形式のCSR(Certificate Signing Request)を「証明書をインストールする」の項目に貼り付けてインストールします。
証明書インストール画面の〔OK〕をクリックします。



暗号強度 / SSL使用モード選択画面が表示されます。

- (3) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。

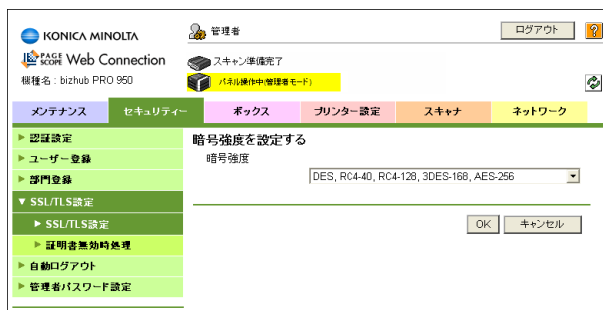


- (4) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。
- (5) 〔インストール〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (6) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

暗号の強度を変更する

インストール済みのSSL証明書の強度を変更します。

- (1) SSL/TLS 設定の「暗号の強度を変更する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。

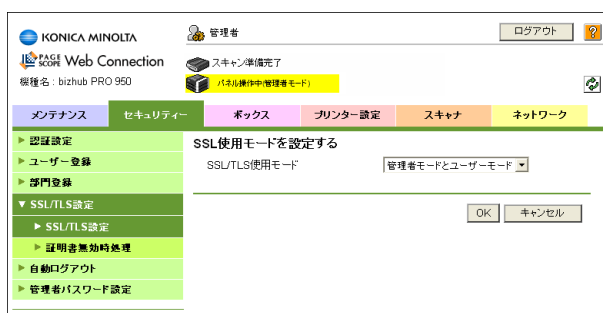


- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

SSL使用モードを変更する

インストール済みのSSL証明書の使用モードを変更します。

- (1) SSL/TLSのSSL証明書の「SSL使用モードを変更する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書を破棄する

インストールされているSSL 証明書を破棄します。

- (1) SSL/TLS設定の「証明書を破棄する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、破棄されません。



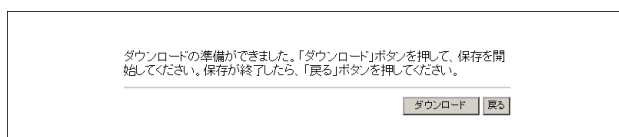
本体電源入れ直しの指示画面が表示されます。

- (3) 本体の電源を入れ直して〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面にもどります。

証明書をダウンロードする

インストールされているSSL 証明書をダウンロードします。

- (1) SSL/TLS設定の「証明書をダウンロードする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。ダウンロードの準備ができると、準備完了画面が表示されます。
- (2) 〔ダウンロード〕をクリックします。ダウンロードしない場合は〔戻る〕をクリックします。



■ SSL/TLS設定＞証明書無効時処理

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔証明書無効時処理〕をクリックすると表示されます。



設定されている証明書が無効の場合、そのときのジョブをどのようにするかを選択します。

- (1) 「証明書無効時処理」のプルダウンメニューから〔継続〕または〔ジョブを削除〕を選択します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると設定されません。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

■ 自動ログアウト

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔自動ログアウト〕をクリックすると表示されます。

パブリックモード、管理者モード、それぞれのログアウト時間を設定します。

- (1) 「管理者モードログアウト時間」のプルダウンメニューから任意のログアウト時間を選択します。
(1分/2分/3分/4分/5分/6分/7分/8分/9分/10分/20分/30分/40分/50分/60分)
- (2) 「ユーザーモードログアウト時間」のプルダウンメニューから任意のログアウト時間を選択します。
(1分/2分/3分/4分/5分/6分/7分/8分/9分/10分/20分/30分/40分/50分/60分)
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ 管理者パスワード設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔管理者パスワード設定〕をクリックすると表示されます。

管理者パスワードを設定します。

- (1) 「管理者パスワード」に新しいパスワードを入力します。半角英数字記号で8字入力します。すでにパスワードが設定されていても、入力欄は空欄になっています。
- (2) 「管理者パスワードの再入力」に新しいパスワードを再入力します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

〔ボックス〕タブ

〔ボックス〕タブでは、HDDのボックス保存に関する設定をします。管理者モード画面の〔ボックス〕タブの設定内容は、パブリックユーザーモード画面の〔ボックス〕タブをクリックして行う設定と同じです。

ユーザーズガイド プリンター編をご覧ください。

パブリックユーザーモード画面

KONICA MINOLTA
iAS Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

パブリック
ログアウト

情報表示 ジョブ確認 **ボックス** ダイレクトプリント

▶ ボックス操作

フォルダログイン
フォルダ名
フォルダパスワード
OK

フォルダー一覧
新規作成 ページ(50件ずつ表示) 1 Go

フォルダ名	フォルダタイプ
Public	共有
test1	個人
test2	個人
test3	個人
test4	個人

管理者モード画面

KONICA MINOLTA
iAS Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

管理者
ログアウト

メンテナンス セキュリティ **ボックス** プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▶ ボックス操作

フォルダログイン
フォルダ名
フォルダパスワード
OK

フォルダー一覧
新規作成 ページ(50件ずつ表示) 1 Go

フォルダ名	フォルダタイプ
Public	共有
test1	個人
test2	個人
test3	個人
test4	個人

〔プリンター設定〕タブ

〔プリンター設定〕タブでは、本機イメージコントローラーのプリンターに関する設定を行います。

■ デフォルト設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔デフォルト設定〕をクリックすると表示されます。

設定番号	デフォルト設定	基本設定	PCL設定	PS設定	TIFF設定
1	α	編集	編集	編集	編集
2	○	編集	編集	編集	編集
3	○	編集	編集	編集	編集
4	○	編集	編集	編集	編集
5	○	編集	編集	編集	編集
6	○	編集	編集	編集	編集

下記の4つの設定を1セットにして設定します。6セットまで設定ができ、「ポート別出力設定」で、各ポートに対し6セットの中から1つを選択します。なお、プリント時にドライバーからの指示もなく「ポート別出力設定」で設定されているポート以外のポートが使用される場合、「デフォルト設定」ラジオボタンで選択した設定内容がプリントに反映されません。

- 基本設定
プリント出力の基本的な設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞01 基本設定と同じ内容です。
- PCL設定
PCLプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞02 PCL設定と同じ内容です。
- PS設定
PostScriptプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞03 PS設定と同じ内容です。
- TIFF設定
TIFFプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞04 TIFF設定と同じ内容です。

基本設定

- (1) 基本設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) それぞれの項目にプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力が必要な欄はカーソルをおいて入力します。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

管理者 ログアウト

スキャン準備完了
(バス接続中(管理モード))

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

デフォルト設定
ジョブスプール設定
インターフェース設定
ポート別出力設定

プリンター設定

設定番号 1

PDL設定 自動

給紙トレイ 自動

排紙トレイ 自動

両面印刷 しない

とじ方向 左開き

ステープル しない

パンチ しない

紙折り/断裁 しない

仕分け しない

出力設定 フェイスダウン

排紙順 正順

印刷回数 1 (1-9999)

ソート する

用紙サイズ A4

画像の向き ポートレート

- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

PCL設定

- (1) PCL設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) それぞれの項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力が必要な欄はカーソルをおいて入力します。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

管理者 ログアウト

スキャン準備完了
(バス接続中(管理モード))

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

デフォルト設定
ジョブスプール設定
インターフェース設定
ポート別出力設定

PCL設定

設定番号 1

シンボルセット Roman-8

タイプフェイス Courier

レジデントフォント (90-999)

ダウンロードフォント

フォントサイズ 12.00 ポイント (4.00-999.75)

プロポーショナルフォント 10.00 ピッチ (0.44-99.99)

固定幅フォント 64 (5-128)

ラインページ しない

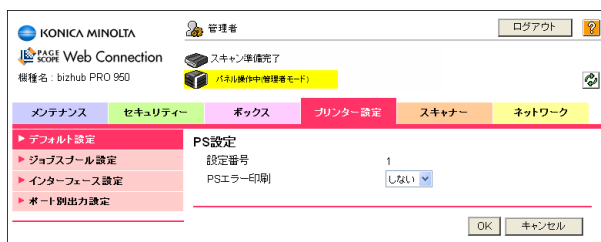
CRLFマッピング

OK キャンセル

- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

PS 設定

- (1) PS 設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) 「PSエラー印刷」のプルダウンメニューから〔する〕、〔しない〕を選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

TIFF 設定

- (1) TIFF 設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) それぞれの項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ ジョブスプール設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔ジョブスプール設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞04 スプール設定と同じ内容です。



プリントジョブのスプール機能を設定します。

- (1) 「ジョブスプール設定」のプルダウンメニューから〔自動〕、〔する〕、〔しない〕のいずれか1つを選択します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ インターフェース設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔インターフェース設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞05 I/F タイムアウトと同じ内容です。

ネットワークタイムアウト、およびUSBタイムアウトの時間を設定します。

- (1) 「ネットワークタイムアウト」の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10－3600（秒）です。
- (2) 「USBタイムアウト」の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10－1000（秒）です。
- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ ポート別出力設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔ポート別出力設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞03 ポート別出力設定と同じ内容です。

No.	RAWポート番号	有効/無効	設定番号
1	9100	有効	1
2	9101	有効	2
3	9102	有効	6
4	9103	無効	5
5	9104	有効	4
6	9116	有効	3

6つのRAWポート番号に〔デフォルト設定〕で設定したプリンター設定を割り当てます。

- (1) 「設定番号」のプルダウンメニューから任意のデフォルト設定番号を選択します。
- (2) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

〔スキャナ〕タブ

〔スキャナ〕タブでは、本機のスキャンに関する設定を行います。

■ E-mail 件名

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔E-mail 件名〕をクリックすると表示されます。設定内容は第8章 04ネットワーク設定＞02コントローラNIC設定＞09 E-mail 設定＞＜E-mail 件名登録＞と同じ内容です。

E-mailの件名を編集・削除します。

編集

- (1) 編集するE-mail件名項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔編集〕をクリックします。
- (3) 「E-mail 件名」の入力欄に新しい件名を入力します。半角英数字記号で64字（全角32字）まで入力できます。

- (4) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (5) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

削除

- (1) 削除するE-mail件名項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔削除〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection

機種名: bizhub PRO 950 スキャン準備完了 (パネル操作や管理モード)

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 **スキャナ** ネットワーク

☒ E-mail件名
☐ E-mail本文
☐ スキャン設定

E-mail件名削除

登録No. 1

E-mail件名 Subject1

削除してよろしいですか?

OK キャンセル

- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ E-mail本文

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔E-mail本文〕をクリックすると表示されます。設定内容は第8章 04ネットワーク設定>02コントローラーNIC設定>09 E-mail 設定><E-mail 本文登録>と同じ内容です。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection

機種名: bizhub PRO 950 スキャン準備完了 (パネル操作や管理モード)

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 **スキャナ** ネットワーク

☒ E-mail件名
☒ **E-mail本文**
☐ スキャン設定

E-mail本文一覧

No.	E-mail本文	編集	削除
1	用紙補給してください	編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除

OK キャンセル

E-mailの本文を編集・削除します。

編集

- (1) 編集するE-mail本文項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔編集〕をクリックします。
- (3) 「E-mail本文」の入力欄に新しい件名を入力します。半角英数字記号で256字（全角128字）まで入力できます。

- (4) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (5) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

削除

- (1) 削除するE-mail本文項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔削除〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。

- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ スキャン設定

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔スキャン設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞07 スキャン設定と同じ内容です。

スキャンデータが自動的に削除されるまでの時間とファイル名を設定します。

- (1) 「ボックス内ドキュメント削除時間」のプルダウンメニューからボックスに保存されたデータが自動的に削除されるまでの時間を選択します。
- (2) 「ファイル名」の入力欄にファイル名を入力します。半角英数字記号で11字まで入力できます。
(「"」「¥」「/」「*」「|」「:」「<」「>」「?」「.」「,」は入力不可)
実際のデータには、このファイル名に日付、時刻、拡張子、分割番号が付加されます。
- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

〔ネットワーク〕 タブ

〔ネットワーク〕 タブでは本機イメージコントローラー NICの設定を行います。

■ TCP/IP 設定 > TCP/IP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔TCP/IP 設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 950
管理者
ログアウト

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

▼ TCP/IP 設定

- ▶ TCP/IP 設定
- ▶ IPフィルタリング
- ▶ IPsec 設定
- ▶ 時刻補正設定
- ▶ E-mail 設定
- ▶ LDAP 設定
- ▶ IPP 設定
- ▶ FTP 設定
- ▶ SNMP 設定
- ▶ SMB 設定
- ▶ Webサービス設定
- ▶ Bonjour 設定
- ▶ NetWare 設定
- ▶ AppleTalk 設定
- ▶ OpenAPI 設定
- ▶ TCP Socket 設定
- ▶ JSP 設定

TCP/IP 設定
*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。

TCP/IP 設定* 有効
ネットワーク速度 自動設定
IP 確定方法* 直接指定
☐ DHCP*
☐ BootIP*
☐ ARP/PING*
☐ AutoIP*

IP アドレス 10.12.24.206
サブネットマスク 255.255.240.0
デフォルトゲートウェイ 10.12.16.1

IPv6 設定 有効
IPv6 自動設定* 有効
IPv6 リンクローカルアドレス
fe80:0000:0000:0000:0250:aaff:fe21:ff24
IPv6 グローバルアドレス
fe0d:0000:0000:0001:0250:aaff:fe21:ff24
IPv6 グローバルアドレスプレフィックスレンジ
64
IPv6 ゲートウェイアドレス
0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000
RAW ポート番号
ポート1 9100 (1-65535)

TCP/IP の設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルを置いて入力します。
各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-4～p. 8-6およびp. 8-14をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず削除されます。
- (3) *印がついた項目の設定を変更したときは、本体の電源を入れ直します。
- (4) IP アドレス、IP 確定方法を変更した場合は、下記の画面が表示されます。

IP アドレスが変更されました。
新しい IP アドレスにアクセスしなおしてください。

- (5) 新たに設定した IP アドレスにアクセスします。

■ TCP/IP 設定 > IP フィルタリング

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IP フィルタリング〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

PAGE SCORE Web Connection スキャン準備完了

機種名: bizhub PRO 950 (パナソニック連携モード)

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

▼ TCP/IP 設定

- ▶ TCP/IP 設定
- ▶ IP フィルタリング
- ▶ IPsec 設定
- ▶ 時刻補正設定
- ▶ E-mail 設定
- ▶ LDAP 設定
- ▶ IPP 設定
- ▶ FTP 設定
- ▶ SNMP 設定
- ▶ SMB 設定
- ▶ Web サービス 設定
- ▶ Bonjour 設定
- ▶ NetWare 設定
- ▶ AppleTalk 設定
- ▶ OpenAPI 設定
- ▶ TCP Socket 設定
- ▶ JSP 設定

IP フィルタリング

許可設定 無効

範囲1	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	-	0.0.0.0

拒否設定 無効

範囲1	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	-	0.0.0.0

OK キャンセル

TCP/IP の IP フィルタリングの設定を行います。

- (1) アクセス許可をする場合は、「許可設定」のプルダウンメニューから〔有効〕を選択します。
- (2) 「範囲」の入力欄に許可するアドレスの範囲を入力します。範囲を5つまで設定できます。
1つのIPアドレスのみ許可する方法は3つあります。
(例) 192.168.11.22 を1つだけ許可する場合、
192.168.11.22 — 0.0.0.0
0.0.0.0 — 192.168.11.22
192.168.11.22 — 192.168.11.22
- (3) アクセス拒否する場合は、「拒否設定」のプルダウンメニューから〔有効〕を選択します。
- (4) 「範囲」の入力欄に拒否するアドレスの範囲を入力します。範囲を5つまで設定できます。
1つのIPアドレスのみ拒否する方法は、許可する方法と同じです。
- (5) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (6) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ TCP/IP 設定 > IPsec 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IPsec 設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'IPsec 設定' (IPsec Settings) screen. On the left is a sidebar with a tree view containing: TCP/IP 設定, TCP/IP 設定, IPフィルタリング, IPsec 設定 (selected), 時刻補正設定, E-mail 設定, LDAP 設定, IPP 設定, FTP 設定, SNMP 設定, SMB 設定, Webサービス設定, Bonjour 設定, NetWare 設定, AppleTalk 設定, OpenAPI 設定, TCP Socket 設定, and JSP 設定. The main content area is titled 'IPsec 設定' and includes:

- 'IPsec 設定' status set to '禁止' (Prohibit).
- 'IKE 設定' (IKE Settings) with '鍵有効時間' (Key Validity Time) set to 28800 seconds and 'Diffie-Hellman グループ' (Diffie-Hellman Group) set to 'グループ2' (Group 2).
- A table for Diffie-Hellman groups with 4 rows, each having 'No.', '設定済み' (Set), '編集' (Edit), and '削除' (Delete) columns.
- 'IPsec SA 設定' (IPsec SA Settings) with '確立後の破棄時間' (Time to Destroy After Establishment) set to 3600 seconds.
- A table for IPsec SAs with 8 rows, each having 'No.', '設定済み' (Set), '編集' (Edit), and '削除' (Delete) columns.
- '通信相手先登録' (Communication Partner Registration) with a table of 5 rows, each having 'No.', '設定済み' (Set), '編集' (Edit), and '削除' (Delete) columns.

TCP/IPのIPsec設定を行います。

IPsec 設定

プルダウンメニューから〔禁止〕または〔許可〕を選択します。

IKE 設定

- (1) 「鍵有効時間」の入力欄に時間を入力します。80－604800（秒）の範囲で入力します。
- (2) 「Diffie-Hellman グループ」のプルダウンメニューから〔グループ1〕または〔グループ2〕を選択します。
- (3) 暗号化アルゴリズムと認証アルゴリズムの設定を編集する場合は、項目の〔編集〕をクリックします。設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」（アスタリスク）が表示されています。
- (4) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-5をごらんください。

The screenshot shows the 'IKE 設定' (IKE Settings) dialog box. It has a title bar 'IKE 設定'. Inside, there are two rows: '暗号化アルゴリズム' (Encryption Algorithm) and '認証アルゴリズム' (Authentication Algorithm). Each row has a dropdown menu currently showing '無効' (None). Below these is a horizontal line, and at the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- (5) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (6) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。

- (7) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると削除はキャンセルされます。

IKE削除	
No.	1
暗号化アルゴリズム	DES_CBC
認証アルゴリズム	MD5
削除してよろしいですか?	
OK キャンセル	

SA設定

- (1) 「確立後の破棄時間」の入力欄に時間を入力します。120 - 604800 (秒)の範囲で入力します。
 (2) セキュリティープロトコル、ESP 暗号化アルゴリズム、ESP 認証アルゴリズム、AH 認証アルゴリズムの編集をする場合は、項目の〔編集〕をクリックします。設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」(アスタリスク)が表示されています。
 (3) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルを置いて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-6をごらんください。



詳しく説明します

4つの項目の選択の組み合わせによっては設定できないことがあります。

SA設定	
No.	1
セキュリティプロトコル	無効
ESP暗号化アルゴリズム	無効
ESP認証アルゴリズム	無効
AH認証アルゴリズム	無効
OK キャンセル	

- (4) 〔OK〕をクリックします。
 〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
 (5) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。
 (6) 〔OK〕をクリックします。
 〔キャンセル〕をクリックすると削除はキャンセルされます。

SA削除	
No.	1
セキュリティプロトコル	ESP_AH
ESP暗号化アルゴリズム	3DES_CBC
ESP認証アルゴリズム	MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1
削除してよろしいですか?	
OK キャンセル	

通信相手先登録

- (1) Perfect Forward Security、IPアドレス、Pre-Shared Key文字列、カプセル化モードを編集する場合は、項目の〔編集〕をクリックします。
 設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」(アスタリスク)が表示されています。
 (2) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-6をごらんください。

- (3) 入力欄に任意の名前や情報を入力します。

- (4) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。

- (5) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。

- (6) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると削除はキャンセルされます。

- (7) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。

- (8) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ 時刻補正設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔時刻補正設定〕をクリックすると表示されます。

NTPサーバーの設定を行います。

- 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-14をごらんください。
- 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ E-mail 設定 > E-mail 受信 (POP)

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔E-mail受信 (POP)〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'E-mail受信(POP)' settings page. On the left is a sidebar menu with options like TCP/IP, Bonjour, and various protocols. The main area contains fields for POP server address, login name, password, and port. There are also checkboxes for SSL/TLS and a 'Host name input check' option. At the bottom right are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

E-mail受信(POP)	
POPサーバアドレス	☐ ホスト名入力時はチェックをONにする 0.0.0.0
ログイン名	user
☐ パスワードを変更する	
パスワード	
APPOP認証	無効
接続タイムアウト	30 秒
ポート番号	110 (1-65535)
☐ SSL/TLS使用	
ポート番号(SSL/TLS)	995 (1-65535)

OK キャンセル

POPによるメール受信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-10をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ E-mail 設定 > E-mail 送信 (SMTP)

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔E-mail 送信 (SMTP)〕をクリックすると表示されます。

SMTP によるメール送信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-10をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ LDAP設定 > LDAP設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔LDAP設定〕をクリックすると表示されます。



LDAPサーバーを使用するかしないかの選択を行います。

- (1) 「LDAP使用設定」のプルダウンメニューから〔使用する〕または〔使用しない〕を選択します。
- (2) 「OK」をクリックします。
「キャンセル」をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の「OK」をクリックします。

■LDAP設定>LDAPサーバー登録

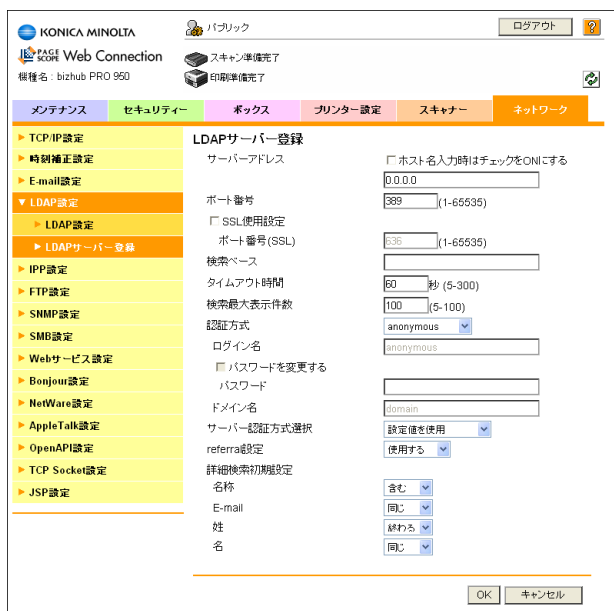
この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔LDAPサーバー登録〕をクリックすると表示されます。



LDAPサーバーの登録および接続確認を行います。

LDAPサーバー登録

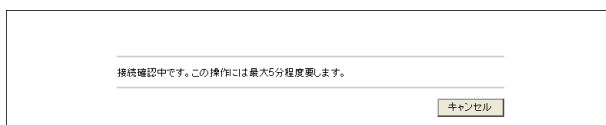
- (1) 〔編集〕をクリックします。
- (2) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-13をごらんください。



- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

接続確認

- (1) 〔接続確認〕をクリックします。
- (2) 接続確認画面が表示されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、接続確認はキャンセルされます。



- (3) 接続結果が表示されます。



異常メッセージとその原因

メッセージ	原因
LDAP接続確認に失敗しました	接続確認に失敗した。
DNSサーバーでの名前解決にエラーが発生しました	DNSサーバーが名前解決できなかった。
サーバーに接続できませんでした	LDAPサーバーと接続できなかった。
LDAPバージョンが異なっています	LDAPサーバーのLDAPバージョンが異なっている。
認証方式が一致しません	SASL 認証機構をLDAPサーバーがサポートしていなかった。またはSASL 認証機構を本体がサポートしていなかった。
認証に失敗しました	LDAPサーバーでの認証が不正だった。
接続確認でタイムアウトが発生しました	LDAP 接続確認でタイムアウトが発生した。

- (4) 〔OK〕をクリックします。

■ IPP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IPP 設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot displays the 'IPP 設定' (IPP Settings) window within the 'PagesScope Web Connection' application. The top navigation bar includes 'メンテナンス' (Maintenance), 'セキュリティ' (Security), 'ボックス' (Boxes), 'プリンター設定' (Printer Settings), 'スキャナー' (Scanner), and 'ネットワーク' (Network). The 'ネットワーク' tab is selected, and the 'IPP 設定' sub-tab is active. The left sidebar lists various settings categories, with 'IPP 設定' highlighted. The main content area shows the following settings:

- IPP**: A dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- IPP設定ジョブ許可**: A dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- プリンター名**: A text field containing 'printer'.
- プリンター設置場所**: A text field containing 'bbb'.
- プリンター情報**: A text field containing 'ccc'.
- プリンターURI**: A text field containing 'URI/TestData00'.
- オペレーションサポート情報**: A section with several checkboxes:
 - ☐ 印刷ジョブ
 - ☒ 有効ジョブ
 - ☐ キャンセルジョブ
 - ☒ ジョブ属性取得
 - ☐ ジョブ取得
 - ☐ プリンター属性取得
- IPF認証設定**: A section with a dropdown menu set to 'requesting-user-name' and a text field containing 'UserName'.
- 認証方式**: A section with a checkbox for 'パスワードを変更する' (Change password) and a text field containing 'password'.
- realm**: A text field containing 'Realm'.

At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

IPPに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-7をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ FTP設定＞FTP送信設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔FTP送信設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'KONICA MINOLTA Web Connection' interface. The top navigation bar includes 'メンテナンス', 'セキュリティ', 'ボックス', 'プリンター設定', 'スキャナ', and 'ネットワーク'. The 'ネットワーク' tab is active, and the 'FTP送信設定' option is selected in the left sidebar. The main content area is titled 'FTP送信設定' and contains the following settings:

- FTP送信設定:** A dropdown menu set to '有効' (Enabled).
- プロキシサーバーアドレス:** A checkbox labeled 'プロキシサーバーアドレスを入力時はチェックをONにする' (Check when entering proxy server address) is unchecked. The address field contains '0.0.0.0'.
- プロキシサーバーポート番号:** A text field containing '21' with '(1-65535)' as a hint.
- PASVモード:** A dropdown menu set to '無効' (Disabled).
- 接続タイムアウト:** A text field containing '60' with '秒(5-300)' (seconds (5-300)) as a hint.
- ポート番号:** A text field containing '21' with '(1-65535)' as a hint.

At the bottom right of the settings area are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

FTP送信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-7をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ FTP設定＞FTPサーバー設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔FTPサーバー設定〕をクリックすると表示されます。

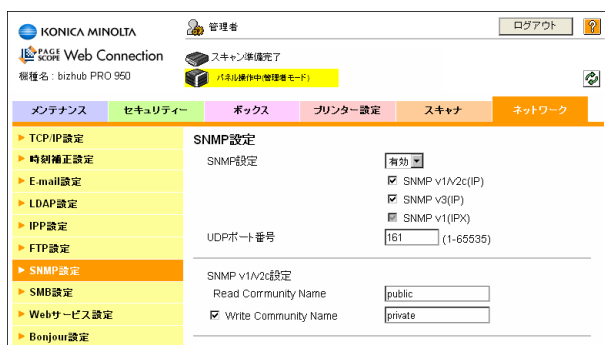


FTPサーバーの設定を有効にするかしないかの選択を行います。

- (1) 「FTPサーバー設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ SNMP設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔SNMP設定〕をクリックすると表示されます。



SNMPに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-8をごらんください。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ SMB設定＞WINS設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔WINS設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'WINS設定' (WINS Settings) screen within the 'ネットワーク' (Network) tab of the Konica Minolta Web Connection interface. The interface includes a top header with the logo, user information, and a navigation bar with tabs: メンテナンス, セキュリティ, ボックス, プリンター設定, スキャナ, and ネットワーク. The left sidebar lists various network settings, with 'SMB設定' expanded to show 'WINS設定'. The main content area for 'WINS設定' contains the following fields:

設定項目	設定値
WINS設定	許可
WINS自動取得設定	許可
WINSサーバアドレス1	0.0.0.0
WINSサーバアドレス2	0.0.0.0
ノードタイプ設定	Hノード

At the bottom right of the settings area are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

WINSに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-9をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ SMB設定>クライアント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔クライアント設定〕をクリックすると表示されます。



SMBクライアント機能に関する設定を行います。

- (1) 「SMB送信設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 「NTLM設定」のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。
- (3) 「OK」をクリックします。
 「キャンセル」をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の「OK」をクリックします。

■ SMB設定>プリント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔プリント設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the Konica Minolta Web Connection interface. At the top, it displays 'KONICA MINOLTA', 'PAGE WEB Connection', and '機種名: bizhub PRO 950'. There are tabs for 'メンテナンス', 'セキュリティ', 'ボックス', 'プリンター設定', 'スキャナ', and 'ネットワーク'. The 'ネットワーク' tab is selected, and within it, the 'プリント設定' (Print Settings) option is chosen. The left sidebar lists various network settings, with 'SMB設定' (SMB Settings) expanded to show 'WINS設定', 'クライアント設定', 'プリント設定', 'Webサービス設定', 'Bonjour設定', 'NetWare設定', 'AppleTalk設定', 'OpenAPI設定', 'TCP Socket設定', and 'JSP設定'. The main area is titled 'プリント設定' and contains a note: '*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。' (Please turn the main power of the device back on when changing settings). Below this, there are fields for 'プリント設定' (Print Settings) with a dropdown menu set to '有効' (Enabled). Other fields include 'NetBIOS名*' (KMBT21FF24), 'プリントサービス名*' (PRO_950), and 'ワークグループ*' (WORKGROUP). At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

SMBプリント機能に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-9をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Webサービス設定 > Webサービス設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔Webサービス設定〕をクリックすると表示されます。



Webサービスの共通設定に関する設定を行います。

- (1) 「Friendly Name*」の入力欄に任意の名前を入力します。半角英数字記号を62字まで入力できます。
- (2) 「SSL 設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。(SSL 証明書がインストールされていない場合は、この項目は表示されません。)
- (3) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Webサービス設定>プリント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔プリント設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト ?

Web Connection

機種名: bizhub PRO 950

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナ ネットワーク

プリント設定

*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください

プリント機能 無効

プリンター名* KMBT21FF24

プリンター設置場所*

プリンター情報*

OK キャンセル

Webサービスのプリント機能に関する設定を行います。

- (1) 「プリント設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Webサービス設定>スキャン設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔スキャン設定〕をクリックすると表示されます。

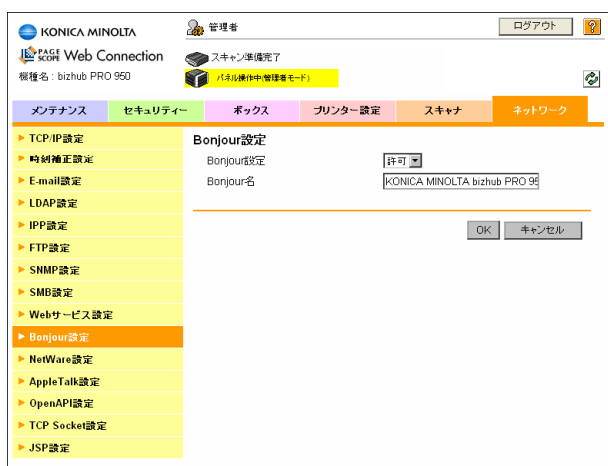
The screenshot shows the 'Web Connection' interface for a Konica Minolta device. The top navigation bar includes 'メンテナンス', 'セキュリティ', 'ボックス', 'プリンター設定', 'スキャナ', and 'ネットワーク'. The 'スキャナ' (Scanner) tab is active. On the left, a sidebar menu lists various settings, with 'Webサービス設定' (Web Services Settings) expanded and 'スキャン設定' (Scan Settings) selected. The main content area is titled 'スキャン設定' and includes a note: '*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください*'. Below this, there are four fields: 'スキャン機能' (Scan Function) with a dropdown menu set to '有効', 'スキャナー名*' (Scanner Name) with the value 'KMBT21FF24', 'スキャナー設置場所*' (Scanner Location) which is empty, and 'スキャナー情報*' (Scanner Information) with the value 'KONICA MINOLTA bizhub PRO 95'. At the bottom right of the form are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

Webサービスのスキャン機能に関する設定を行います。

- (1) 「スキャン設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Bonjour 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔Bonjour 設定〕をクリックすると表示されます。



Bonjourの設定を行います。

- (1) 「Bonjour」のプルダウンメニューから〔許可〕または〔禁止〕を選択します。
- (2) 「Bonjour名」の入力欄に任意の名前を入力します。半角英数字記号を63字まで入力できます。
- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ NetWare 設定 > NetWare 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔NetWare 設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

NetWare 設定
*設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。

IP設定* 有効
イーサネットフレームタイプ* 自動検出
NetWareプリントモード* 黒効
PServer設定
プリントサーバー名* name
☐ パスワードを変更する
プリントサーバーパスワード*
ポーリング間隔* 1 秒(1-65535)
Bindery/NDS設定* NDS
Bindery
ファイルサーバー名* server
NDS
NDSコンテキスト名* context
NDSツリー名* tree
Nprinter/Rprinter設定
プリントサーバー名* name
プリンター番号* 255 (0-255,255:自動)

OK キャンセル

NetWare 設定に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-6をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (4) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ NetWare 設定 > NetWare 状態

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔NetWare 状態〕をクリックすると表示されます。

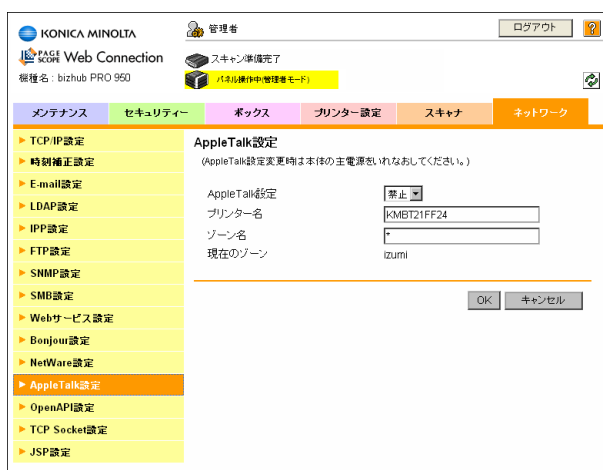


NetWare 接続の状態を表示します。

- **サーバー名**
NetWare 接続で検出されたサーバー名を表示します。
- **キュー名**
検出されたキュー名を表示します。

■ AppleTalk 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔AppleTalk 設定〕をクリックすると表示されます。



AppleTalkの設定を行います。

- (1) 「AppleTalk 設定」のプルダウンメニューから〔許可〕または〔禁止〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章ネットワーク設定のp. 8-10をごらんください。
- (3) [OK] をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の[OK] をクリックします。
- (5) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ OpenAPI 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔OpenAPI 設定〕をクリックすると表示されます。

拡張アプリケーションI/F (OpenAPI)の設定を行います。

- (1) 「ポート番号」の入力欄に任意の番号を入力します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ TCP Socket 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔TCP Socket 設定〕をクリックすると表示されます。

TCP Socketの設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-11をごらんください。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ JSP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔JSP 設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA バックアップ ログアウト

PAGESCOPE Web Connection

機種名: bizhub PRO 950

スキャン準備完了

印刷準備完了

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

TCP/IP設定
 時刻補正設定
 E-mail設定
 LDAP設定
 IPP設定
 FTP設定
 SNMP設定
 SMB設定
 Webサービス設定
 Bonjour設定
 NetWare設定
 AppleTalk設定
 OpenAPI設定
 TCP Socket設定
JSP設定

JSP設定

(JSP設定変更時は本体の主電源をいれなおしてください)

JSP設定 有効

ポート番号 30081 (30081-30090)

☐ SSL/TLS使用

ポート番号(SSL/TLS) 30082 (30081-30090)

ユーザーID kameit

☐ パスワードを変更する

パスワード

OK キャンセル

Tomcatサーバに接続するための初期設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-13をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の[OK] をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

付 録

文字入力のしかた

文字を入力できる項目のボタンに軽く触れると文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、かな漢字、カタカナの3種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字種によります。



それぞれの文字入力画面については次のページを参照してください。

- 「文字入力画面（英記号）」(p. 付録-2)
- 「文字入力画面（かな漢字）」(p. 付録-3)
- 「文字入力画面（カタカナ）」(p. 付録-4)

文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



英記号

文字入力画面（英記号）に切り替わります。

かな漢字

文字入力画面（かな漢字）に切り替わります。

カタカナ

文字入力画面（カタカナ）に切り替わります。



カーソル位置が移動します。

削除

カーソルのひとつ前の文字を削除します。

OK

入力した文字を確定し、文字入力画面が閉じます。

キャンセル

入力した文字を解除し、文字入力画面が閉じます。

文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、**Shift** キーで大文字、小文字を切り替えます。
- かな漢字は、**変換** / **無変換** でひらがな、漢字の入力を切り替えます。
- カタカナは、**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。

2 **OK** を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

■ 文字入力画面（英記号）

アルファベット、記号を入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

■ 文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、**変換** または **無変換** で確定されるまで反転表示されます。



変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、**OK**を押します。変換候補が6以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。



全角

文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

半角

文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

「デバイス」項目でインポート/エクスポートができる設定項目一覧

[1] メンテナンス

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
状態通知設定		通知先設定
		通知先アドレス
		ポート番号
		コミュニティ名
		警告
		トレイ紙補給
		ジャム発生
		PMコール
		ステープル針交換
		トナー補給
		フィニッシャー積載オーバー
		サービスコール
		パンチくず除去
		断裁くず除去
本体登録		装置名
		設置場所
		管理者名
		内線番号
		管理者アドレス
サポート情報		問い合わせ先
		問い合わせ情報
		製品情報ホームページ
		製品元ホームページ
		消耗品連絡先
		オンラインマニュアルURL

[2] セキュリティ

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
認証設定		ユーザー認証
		部門管理
		部門管理認証方式
		ユーザー認証/部門認証の連動
		ユーザーカウンター割当て数
SSL/TLS設定	証明書無効時処理	証明書無効時処理
自動ログアウト		管理者モードログアウト時間
		ユーザーモードログアウト時間

[3] プリンター設定

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
デフォルト設定	デフォルト設定	デフォルト設定ラジオボタン
		PDL設定
	基本設定	給紙トレイ
		排紙トレイ
		両面印刷
		とじ方向
		ステープル
		パンチ
		紙折り/断裁
		仕分け
		出力設定
		排紙順
		印刷部数
		ソート
		用紙サイズ
		画像の向き
		バナーオプション
		バナーページトレイ
		用紙サイズ変換
		集約/リビート
		小冊子
		無線とじ
		印字位置
		ふちなし印刷
	PCL設定	シンボルセット
		レジデントフォント
		ダウンロードフォント
		フォントサイズ
		プロポーショナルフォント
		固定幅フォント
		ライン/ページ
		CR/LFマッピング
	PS設定	PSエラー印刷
	TIFF設定	自動用紙選択
		画像位置
ジョブスプール設定		ジョブスプール設定
インターフェース設定		ネットワークタイムアウト
		USBタイムアウト
ポート別出力設定		設定番号

[4] ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
TCP/IP設定	TCP/IP設定	TCP/IP設定
		ネットワーク速度
		IP確定方法
		DHCP
		BootP
		ARP/PING
		AutoIP
		IPアドレス
		サブネットマスク
		デフォルトゲートウェイ
		IPv6設定
		IPv6自動設定
		IPv6グローバルアドレス
		IPv6グローバルアドレスプレフィックスレンジ
		IPv6ゲートウェイアドレス
		RAWポート番号 ポート1～6
		Dynamic DNS設定
		ホスト名
		DNSドメイン名設定
		DNSドメイン名自動取得
		DNSデフォルトドメイン名
		DNS検索ドメイン名1～3
		DNSサーバー設定
		DNSサーバー自動取得
		優先DNSサーバー
		代替DNSサーバー1～2
		SLP
		LPD
	IPフィルタリング	アクセス許可アドレス設定
		開始アドレス1 ～終了アドレス1
		開始アドレス2 ～終了アドレス2
		開始アドレス3 ～終了アドレス3
		開始アドレス4 ～終了アドレス4
		開始アドレス5 ～終了アドレス5
		アクセス拒否アドレス設定
		開始アドレス1 ～終了アドレス1
		開始アドレス2 ～終了アドレス2
		開始アドレス3 ～終了アドレス3
		開始アドレス4 ～終了アドレス4
		開始アドレス5 ～終了アドレス5
	IPSec設定	IPsec設定
		IKE設定
		鍵有効時間
		Diffie-Hellman グループ
		暗号化アルゴリズム
		認証アルゴリズム
		IPsec SA設定
		確立後の破棄時間
		セキュリティプロトコル
		ESP暗号化アルゴリズム
		ESP認証アルゴリズム
		AH認証アルゴリズム
		通信相手先登録
		Perfect Forward Secrecy
		IPアドレス
		Pre-Shared Key文字列
		カプセル化モード
時刻補正設定		時刻補正設定
		NTPサーバーアドレス
		ポート番号

E-mail設定	E-mail受信(POP)	POPサーバーアドレス
		ログイン名
		パスワード
		APOP認証
		接続タイムアウト
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
	E-mail送信(SMTP)	E-mail送信設定
		SMTPサーバーアドレス
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		接続タイムアウト
		最大メールサイズ
		サーバー容量
		認証設定
		POP before SMTP
		POP before SMTP時間
		SMTP認証
ユーザーID		
パスワード		
realm		
バイナリー分割		
分割メールサイズ		
LDAP設定	LDAP設定	
	LDAPサーバー登録	
	サーバーアドレス	
	ポート番号	
	SSL使用設定	
	ポート番号(SSL)	
	検索ベース	
	タイムアウト時間	
	検索最大表示件数	
	認証方式	
	ログイン名	
	パスワード	
	ドメイン名	
	サーバー認証方式選択	
	referral設定	
	詳細検索初期設定	
	名称	
	E-mail	
	姓	
	名	
IPP設定	IPP	
	IPP設定ジョブ許可	
	プリンター名	
	プリンター設置場所	
	プリンター情報	
	オペレーションサポート情報	
	印刷ジョブ	
	有効ジョブ	
	キャンセルジョブ	
	ジョブ属性取得	
	ジョブ取得	
	プリンター属性取得	
	IPP認証設定	
	認証方式	
	ユーザー名	
	パスワード	
realm		
FTP設定	FTP送信設定	FTP送信設定
		プロキシサーバーアドレス
		プロキシサーバーポート番号
		PASVモード
		接続タイムアウト
		ポート番号
	FTPサーバー設定	FTPサーバー設定

SNMP設定		SNMP設定
		SNMP v1/v2c(IP)
		SNMP v3(IP)
		SNMP v1(IPX)
		UDPポート番号
		SNMP v1/v2c設定
		Read Community Name
		Write Community Name
		SNMP v3設定
		Context Name
		Discovery User Name
		Read User Name
		Security Level
		auth-password
		priv-password
		Write User Name
		Security Level
		auth-password
		priv-password
		TRAP許可設定
		認証失敗時のTRAP設定
SMB設定	WINS設定	WINS設定
		WINS自動取得設定
		WINSサーバーアドレス1~2
		ノードタイプ設定
	クライアント設定	SMB送信設定
		NTLM設定
	プリント設定	プリント設定
		NetBIOS名
		プリントサービス名
		ワークグループ
Webサービス設定	Webサービス設定	Friendly Name
		SSL設定
	プリント設定	プリント機能
		プリンター名
		プリンター設置場所
		プリンター情報
	スキャン設定	スキャン機能
		スキャナー名
		スキャナー設置場所
		スキャナー情報
Bonjour設定		Bonjour設定
		Bonjour名
NetWare設定	NetWare設定	IPX設定
		イーサネットフレームタイプ
		NetWareプリントモード
		PServer設定
		プリントサーバー名
		プリントサーバーパスワード
		ポーリング間隔
		Bindery/NDS設定
		ファイルサーバー名
		NDSコンテキスト名
		NDSツリー名
		Nprinter/Rprinter設定
		プリントサーバー名
		プリンター番号
AppleTalk設定		AppleTalk設定
		プリンター名
		ゾーン名
OpenAPI設定		ポート番号
		SSL/TLS使用
TCP Socket設定		ポート番号(SSL/TLS)
		TCP Socket設定
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		TCP Socket(ASCII Mode)
		ポート番号(ASCII Mode)

JSP設定		JSP設定
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		ユーザーID
		パスワード

「カウンター」でエクスポートができる設定項目一覧

・カウンターを選択してエクスポート可能な項目

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
メンテナンス - カウンター		トータルカウンター
		両面トータルカウンター
		原稿枚数カウンター
		使用用紙枚数カウンター
		コピートータルカウンター
		コピートータルカウンター大サイズ
		プリンターカウンタートータル
		プリンターカウンター大サイズ
		スキャンカウンタートータル
		スキャンカウンター 大サイズ

「ユーザー登録」でインポート/エクスポートができる設定項目一覧

[1] セキュリティ

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
ユーザー登録		登録No.
		ユーザー名
		ユーザーパスワード
		所属部門
		機能制限
部門登録		登録No.
		部門名
		パスワード
		上限設定



KONICA MINOLTA



Adobe® PostScript®

3016.102

リュウミンL-KL™ 中ゴシックBBB™

Type 1 Fonts

Total Type 1 Fonts: 0

Type 2 Fonts

Albertus ‡
Albertus Italic ‡
Albertus Light ‡
AntiqueOlive Bold §
AntiqueOlive Compact §
AntiqueOlive Italic §
AntiqueOlive Roman §
Arial ‡
Arial Bold ‡
Arial Bold Italic ‡
Arial Italic ‡
ITC AvantGarde Gothic Book *
ITC AvantGarde Gothic Book Oblique *
ITC AvantGarde Gothic Demi *
ITC AvantGarde Gothic Demi Oblique *
Bodoni
Bodoni Bold
Bodoni Bold Italic
Bodoni Italic
Bodoni Poster
Bodoni Poster Compressed
ITC Bookman Demi *
ITC Bookman Demi Italic *
ITC Bookman Light *
ITC Bookman Light Italic *
Carta *
Clarendon ‡
Clarendon Bold ‡
Clarendon Light ‡
CooperBlack
CooperBlack Italic
Copperplate Gothic 33BC
Copperplate Gothic 32BC

Coronet **
Courier
Courier Bold
Courier Bold Oblique
Courier Oblique
Eurostile **
Eurostile Bold **
Eurostile Bold Extended Two **
Eurostile Extended Two **
GillSans ‡
GillSans Bold ‡
GillSans Condensed Bold ‡
GillSans Bold Italic ‡
GillSans Condensed ‡
GillSans Extra Bold ‡
GillSans Italic ‡
GillSans Light ‡
GillSans Light Italic ‡
Goudy Oldstyle
Goudy Bold
Goudy Bold Italic
Goudy ExtraBold
Goudy Oldstyle Italic
Helvetica ‡
Helvetica Bold ‡
Helvetica Bold Oblique ‡
Helvetica Condensed ‡
Helvetica Condensed Bold ‡
Helvetica Condensed Bold Oblique ‡
Helvetica Condensed Oblique ‡
Helvetica Narrow ‡
Helvetica Narrow Bold ‡
Helvetica Narrow Bold Oblique ‡
Helvetica Narrow Oblique ‡
Helvetica Oblique ‡
HoeflerText Ornaments ◻
Joanna ‡
Joanna Bold ‡

Joanna Bold Italic ‡
Joanna Italic ‡
LetterGothic
LetterGothic Bold
LetterGothic Bold Slanted
LetterGothic Slanted
ITC Lubalin Graph Book *
ITC Lubalin Graph Book Oblique *
ITC Lubalin Graph Demi *
ITC Lubalin Graph Demi Oblique *
Marigold *
ITC Mona Lisa Recut *
New Century Schoolbook Bold ‡
New Century Schoolbook Bold Italic ‡
New Century Schoolbook Italic ‡
New Century Schoolbook Roman ‡
NewYork ◻
Optima ‡
Optima Bold ‡
Optima Bold Italic ‡
Optima Italic ‡
Oxford *
Palatino Bold ‡
Palatino Bold Italic ‡
Palatino Italic ‡
Palatino Roman ‡
Stempel Garamond Bold ‡
Stempel Garamond Bold Italic ‡
Stempel Garamond Italic ‡
Stempel Garamond Roman ‡
ITC Symbol *
Tekton *
Times Bold ‡
Times Bold Italic ‡
Times Italic ‡
Times Roman ‡
Times New Roman ‡
Times New Roman Bold ‡

Times New Roman Bold Italic ‡
Times New Roman Italic ‡
Univers ‡
Univers Bold ‡
Univers Bold Oblique ‡
Univers Oblique ‡
Univers Light ‡
Univers Light Oblique ‡
UniversCondensed ‡
UniversCondensed Bold ‡
UniversCondensed Bold Oblique ‡
UniversCondensed Oblique ‡
UniversExtended ‡
UniversExtended Bold ‡
UniversExtended Bold Oblique ‡
UniversExtended Oblique ‡
ITC ZapfChancery Mediumitalic *
ITC ZapfDingbats *

Total Type 2 Fonts: 127

Type 14 Fonts

Total Type 14 Fonts: 0

Type 42 Fonts

Apple Chancery ◻
Chicago ◻
Geneva ◻
HoeflerText Black ◻
HoeflerText Black Italic ◻
HoeflerText Italic ◻
HoeflerText ◻
Monaco ◻
Wingdings *

Total Type 42 Fonts: 9



Adobe

Adobe (アドビ), Adobeロゴ, PostScript (ポストスクリプト)および PostScriptロゴは
Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の各国での登録商標または商標です。
リュウミンL-KL、中ゴシックBBBは株式会社モリサワの商標です。

* registered trademark of Adobe Systems Incorporated

‡ trademark of AlphaOmega Typography

◻ trademark of Apple Computer, Inc.

** registered trademark of Ludlow Type Foundry

* registered trademark of International Typeface Corporation

‡ trademark of Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries

§ registered trademark of Marcel Olive

* trademark of Microsoft Corporation

‡ trademark of The Monotype Corporation

** trademark of Nebiolo



KONICA MINOLTA

pcl font list

PCL Internal Fonts

<u>Font</u>	<u>Pitch/Point</u>	<u>Orient</u>	<u>Escape Sequence</u>	<u>Font#</u>	<u>FontID</u>
Courier	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	I-0	
CG Times	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4101T	I-1	
CG Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4101T	I-2	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4101T	I-3	
CG Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4101T	I-4	
CG Omega	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4113T	I-5	
CG Omega Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4113T	I-6	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4113T	I-7	
CG Omega Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4113T	I-8	
<i>Coronet</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4116T	I-9	
Clarendon Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4140T	I-10	
Univers Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4148T	I-11	
Univers Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4148T	I-12	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4148T	I-13	
Univers Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4148T	I-14	
Univers Med. Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b4148T	I-15	
Univers Bold Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4148T	I-16	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b4148T	I-17	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b4148T	I-18	
Antique Olive	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4168T	I-19	
Antique Olive Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4168T	I-20	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4168T	I-21	
Garamond Antiqua	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4197T	I-22	
Garamond Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4197T	I-23	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4197T	I-24	
Garamond Kursiv Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4197T	I-25	
<i>Marigold</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4297T	I-26	
Albertus Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s1b4362T	I-27	
Albertus Extra Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s4b4362T	I-28	
Arial	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b16602T	I-29	
Arial Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b16602T	I-30	
<i>Arial Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b16602T	I-31	



KONICA MINOLTA

pcl font list

Arial Bold Italic	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b16602T	I-32
Times New Roman	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b16901T	I-33
Times New Roman Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s3b16901T	I-34
<i>Times New Roman Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b16901T	I-35
<i>Times New Roman Bold It.</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b16901T	I-36
Helvetica	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b24580T	I-37
Helvetica Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s3b24580T	I-38
<i>Helvetica Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b24580T	I-39
<i>Helvetica Bold Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b24580T	I-40
Helvetica Narrow	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v4s0b24580T	I-41
Helvetica Narrow Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v4s3b24580T	I-42
<i>Helvetica Narrow Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v5s0b24580T	I-43
<i>Helvetica Narrow Bold Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v5s3b24580T	I-44
Palatino Roman	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b24591T	I-45
Palatino Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s3b24591T	I-46
<i>Palatino Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b24591T	I-47
<i>Palatino Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b24591T	I-48
ITC Avant Garde Gothic Book	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b24607T	I-49
ITC Avant Garde Gothic Demi	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s2b24607T	I-50
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b24607T	I-51
<i>ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s2b24607T	I-52
ITC Bookman Light	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s-3b24623T	I-53
ITC Bookman Demi	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s2b24623T	I-54
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s-3b24623T	I-55
<i>ITC Bookman Demi Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s2b24623T	I-56
New Century Schoolbook Roman	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b24703T	I-57
New Century Schoolbook Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s3b24703T	I-58
<i>New Century Schoolbook Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b24703T	I-59
<i>New Century Schoolbook Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b24703T	I-60
Times Roman	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s0b25093T	I-61
Times Bold	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v0s3b25093T	I-62
<i>Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s0b25093T	I-63
<i>Times Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc> (01X<esc> (slp12v1s3b25093T	I-64



PCLXL Only Internal Fonts

付録-16

abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨
abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨

[illegible]

[illegible]

PostScript® Fonts

ITC Lubalin Graph Book Oblique*

ITC Lubalin Graph Demi*

ITC Lubalin Graph Demi Oblique*

Marigold*

ITC Mona Lisa Recut*

Monaco□

New Century Schoolbook Bold†

New Century Schoolbook Bold Italic†

New Century Schoolbook Italic†

New Century Schoolbook Roman†

NewYork□

Optima†

Optima Bold†

Optima Bold Italic†

Optima Italic†

Oxford*

Palatino Bold†

Palatino Bold Italic†

Palatino Italic†

Palatino Roman†

Stempel Garamond Bold†

Stempel Garamond Bold Italic†

Stempel Garamond Italic†

Stempel Garamond Roman†

ITC Symbol*

Tekton*

Times Bold†

Times Bold Italic†

Times Italic†

Times Roman†

Times New Roman†

Times New Roman Bold†

Times New Roman Bold Italic†

Times New Roman Italic†

Univers†

Univers Bold†

Univers Bold Oblique†

Univers Oblique†

Univers Light†

Univers Light Oblique†

UniversCondensed†

UniversCondensed Bold†

UniversCondensed Bold Oblique†

UniversCondensed Oblique†

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

ABCDEFGabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"

[illegible]

付録-20

用語	内容
10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernetの規格における仕様の一種。 銅でできた線材を2本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は10Base-Tが10Mbps、100Base-TX が100Mbps、 1000Base-Tは1000Mbpsである。
APOP	Authenticated Post Office Protocolの略。通常のPOPが電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 DHCPサーバーでDHCPクライアント用にIPアドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name Systemの略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応するIPアドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくいIPアドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
FTP	File Transfer Protocolの略。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocolの略。Webサーバーとクライアント(Webブラウザなど)がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocolの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPアドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号(アドレス)。192.168.1.10のように最大3桁の数字4つで表される。コンピュータを始めとしてインターネットに接続した機器には、全てIPアドレスが割り振られる。
Java	Sun Microsystems社が開発したプログラミング言語。 ハードウェアやOSに依存せずに動作する。 ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、JavaVirtual Machine (Java VM) と呼ばれる動作環境が必要である。
LAN	Local Area Networkの略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocolの略。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。 WindowsNT系、UNIX系におけるネットワーク経由印刷の1種。 TCP/IPを使って、Windows、UNIXからの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
NDS	Novell Directory Serviceの略。 ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワークOS。 通信プロトコルにNetWare IPX/SPXを使用している。

用語	内容
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の1つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の1つ(拡張子は.pdf)。PostScriptをベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Readerという無料ソフトを使用して閲覧できる。
ping	Packet INternet Groperの略。TCP/IPネットワーク環境で相手の機器との通信状況を確認するのに利用するコマンドのこと。
POP	Post Office Protocolの略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在はPOPのバージョン3であるPOP3が主に使われている。
Proxy Server	Internetとの接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
Pserver	Netware環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
SMB	Server Message Blockの略。主にWindows間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocolの略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略。TCP/IPを使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Securityの略。Webサーバーとブラウザ間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。 個々のネットワーク機器を識別するために、IPアドレスを使用する。
TIFF	Tagged Image File Formatの略。 画像データを保存するファイル形式の1つ(拡張子は.tif)。データの型を表す「タグ」によって、1つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
ウェブブラウザ	Webページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorerや、Netscape Navigatorなどがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源をOFFしても、データが保持される。
プリンタードライバー	コンピュータとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピュータ内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使うことはできない。
メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源をOFFした時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

索 引

アルファベット

ADF 自動サイズ選択	5-43
ADF 自動倍率	5-43
ADF 枠消し設定	5-57
APS 解除時のトレイ指定	5-43
ATS 許可	5-26
E-Mail 送信先の変更／削除	5-78
FTP 送信先の変更／削除	5-79
HDD 送信先の変更／削除	5-78
HDD 保存データ自動削除期間設定	9-5
HDD ロックパスワード変更	9-6
I/F タイムアウト	4-13
IP アドレス	8-2
JOB 終了時スタンブ	5-43
PCL 設定	4-7
PS 設定	4-7、4-10
SMB 送信先の変更／削除	5-80
TIFF 設定	4-7、4-10
Web Utilities 設定	10-1
E-mail データ	10-19
E-mail データの設定データ	10-23
FTP データの設定データ	10-24
FTP (FTP server address) データ	10-19
HDD データの設定データ	10-23
HDD (box No.) データ	10-19
SMB データ	10-19
SMB データの設定データ	10-24
Web Utilities について	10-2
設定データ作成／編集の個別ルール	10-23
設定データを転送する	10-19
設定ファイル作成／編集の共通ルール	10-23
登録済み部門管理データの編集	10-3
登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
ネットワークスキャナーの設定をする	10-14
部門管理データ登録	10-3
部門管理データの設定データ	10-23
部門管理データ編集をする	10-3
部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3

数字・記号

1SHOT メッセージ表示時間	5-18
1 枚送り自動設定	5-75

あ行

宛先登録変更	5-54
宛先編集／削除	5-77
色紙	2-7、5-27
インデックス紙	2-15
ウィークリータイマー使用設定	6-3
ウィークリータイマーの基本条件	6-2
薄文字	5-30
エキスパート調整	5-56、5-57、5-58
オートシャットオフ	5-49
オートリセット設定	5-20
オートローパワー	5-49
オフセット	5-65

か行

回線速度設定	8-2
解像度	5-46
各種リセット設定	5-41
画像濃度選択	5-33
環境設定	5-14
監査ログレポート	5-52
管理者登録	5-64
管理者パスワード	9-2
管理者／本体登録	5-64
管理リストプリント	5-51
キー応答時間	5-21
キーカウンター	5-42
機能設定	5-25
基本設定	4-7、4-8
給紙トレイ	5-25
給紙トレイ自動選択	5-25
グループの削除	5-80
ゲートウェイアドレス	8-2
原稿外消去	5-58
原稿外消去する	5-56
原稿画質の濃度シフト	5-30
原稿ガラス 1 枚排紙方法	5-74
原稿ガラス最小サイズ設定	5-59
原稿ガラス自動サイズ選択	5-43
原稿ガラス自動倍率	5-43
原稿ガラス等倍を除き消去	5-56
原稿サイズ検知	5-59
原稿／出力のとじ方向合わせ	5-43
原稿セット／とじ方向	5-43
原稿濃度	5-58
原稿読取り領域設定	5-56
言語設定	5-14
現在時刻	5-50
コピーカード挿入イニシャル	5-42
コピー自動予約	5-43
コピー設定	5-39
コピー／プリンター設定	5-65
コピー予約の操作性	5-71
個別機能切替え	5-28、5-43
個別機能切替え設定	5-46

さ行

サイズ	2-3
サイズ設定	5-59
サブネットマスク	8-2
サマータイム	5-50
時間外使用パスワード設定	6-8
時差設定	5-50
システム連携	5-76
自動画像回転	5-69
自動サイズ／自動倍率時のみ	5-56
自動選択の有無	5-25
自動用紙種類	5-27
写真	5-30
写真モード濃度選択	5-32

シャドウ部 (最高濃度)	5-33
使用管理リスト	5-51
消去方法	5-58
小冊子時のページ印刷位置	5-67
上質紙	2-3
初期設定	5-39
ジョブオフセット動作	5-65
スキャン機能選択 (E-Mail)	5-54
スキャン機能選択 (FTP)	5-54
スキャン機能選択 (HDD)	5-54
スキャン機能選択 (SMB)	5-54
スキャン設定	4-15、5-45
スキャン送信先登録	5-77
ステーブルオートリセット	5-43
スプール設定	4-12
セキュリティ強化モード	9-9
セキュリティ設定	9-2
設定濃度	5-31
設定番号	4-7
設定メニュー画面	5-2
設定メモリーリスト	5-51
設定メモリーロック／削除設定	5-54
全カウントをリセットする	7-9、7-12

た行

タイマー予約時刻設定	6-4
タッチ音	5-16
タッチパネル	5-48
タッチパネル調整	5-48
単位系設定	5-15
チャート調整	2-3
坪量	2-2、2-4、2-7、5-27
定形サイズ	2-12
停止時ブザー設定	5-17
デフォルト解像度設定	5-46
デフォルト画面設定	5-19
デフォルト送信先設定	5-45
動作日設定	6-6
登録オーバーレイ変更	5-54
登録濃度 1	5-31
登録濃度 2	5-31
登録濃度設定	5-31
登録倍率設定	5-34
登録倍率変更	5-54
とじしろ量	5-29
トレイ引抜きによる読み込み禁止	5-72
トレイ優先順位	5-25

な行

中とじ／重ね中折り時小冊子	5-43
認証設定	7-3
認証方式	7-3
ネットワーク設定	8-2
濃度サンプル	5-31
濃度設定	5-30、5-32、5-33

は行

パスワード入力タイミング	7-3
パワーセーブ機能選択	5-49
パワーセーブ設定	5-49
パンチ穴	2-7、5-27
表裏調整	2-2、2-8
昼休み OFF する	6-7
昼休みオフ機能設定	6-7
ファイルフォーム	5-46
ファイルフォーム設定 (E-Mail)	5-46
ファイルフォーム設定 (FTP)	5-46
ファイルフォーム設定 (HDD)	5-46
ファイルフォーム設定 (SMB)	5-46
ファンクションキー設定	5-23
フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
フォントパターンリスト	5-52
ブザー ON/OFF、音量設定	5-16
ブザー設定	5-16
普通紙	2-3
不定形サイズ	2-13
部門管理	7-7
部門管理設定	7-5
部門データを削除する	7-9
部門データを追加する	7-8
部門データを変更する	7-8
部門認証	7-3
部門振分け数	7-3
部門名入力	7-3
部門名のカウントをリセットする	7-9
プリンター設定	4-7
プリント前定着予備回転設定	5-68
フルオート	5-39
フルオート時のフィニッシャーモード	5-41
ポート別出力設定	4-11
本体 NIC 設定	8-2

ま行

マルチモニター	10-11
未印字挿入紙	2-3
未登録ユーザー／部門出力設定	7-13
文字	5-30
文字／写真	5-30

や行

ユーザー管理リスト	5-51
ユーザー紙	2-3
ユーザー登録を削除する	7-12
ユーザー登録を追加する	7-12
ユーザー認証設定	7-10
ユーザー認証／部門管理	7-2
ユーザーパスワード変更	5-22
ユーザー発信	5-76
ユーザー名のカウントをリセットする	7-12
ユーザ登録を変更する	7-11
ユーザ認証	7-3
ユーザ認証／部門認証連動	7-3

用紙種類	2-2、2-6、5-27
用紙条件	2-5、2-11
用紙設定	2-2
用紙名称	2-2、2-6
曜日別一括設定	6-5

ら行

ラフ紙	2-3
リセット機能任意設定	5-41
リセット時の原稿ガラス／ ADF 状態保持 ..	5-43
リセット設定	5-39
リセットボタン設定	5-41
リモートパネル	10-11
リモートモニター	10-11
レポートタイプ	4-6
連続運転	6-7
連続プリント (コピー)	5-73
連続プリント (プリンター)	5-66
連量	2-4

わ行

ワイド紙	2-14
割込み停止方法	5-70



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

A0Y5956111

2009 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2009. 8